

FUSŌ GOBUSSHIN RON

- *YOMIKUDASHI* -

『扶桑護佛神論』

0 : 1 才

フサウゴブツシンロン ジョ
扶桑護佛神論ノ序

ムカシ スウメイケウダイシ カク サンジフサイ ヒロ ロコク モト アマネ
昔、嵩明教大師、西湖に隠ルルコト三十載。廣ク魯誥ヲ索メ、普ク

ジクテン サグ ホケウヘン ヒカン サンジフヘン チョジュツ シヤクケウ
竺典ヲ探ル。『輔教編』オヨビ『非韓』ノ三十篇ニ着述ス。釋教ノ

テンツイ ホリ フヨク
スデニ顛墜セムト欲スル¹ヲ扶翼ス。

ヨ ナンモク ノガ リンシ ケミ ヤウ シンダウ
余ヲシテ²南牧ニ遁レ、(0 : 1 ウ) 林氏ヲ閱³ス。陽ニハ神道ヲ

ア イン シンバフ オサ アラハ ブツダウ ヒラ ジャセツ
揚ゲ、陰ニハ神法ヲ抑フ。顯ニ佛道ヲ關キ、邪説トナス。シカウシテ

ダマ シノ ロン コヒネガ シンブツ イ ヒト
黙ルヲ忍ビズ、コノ論ヲナス。冀ハクハ、神佛ニ意アルノ人ハコレヲ

ヨ トナ ゼ ヒ タウダイ ミヤウキャウ
読ミ、コレヲ誦フルコトヲ。ナニガ是カ、ナニガ非カ、當臺ノ明鏡、

コカン ワキマ ヤス
胡漢ヲ辨ヘ易キノミナル(0 : 2 才) ナリ。シカレバスナハチ、コノ

ニケフ セウホ
二教ニ、アニ、ソレ小補ナカランヤ。

ヂャウキャウヨンヒノトウトシ アンエイヨネン イタ フ
コレトキ貞享四丁卯年<安永四年ニ至リテ、八十九年を経>

クロタキチョウサンソウジダイ
□□黒瀧潮山僧自題

¹ According to Chinese grammar, the word 欲 should have been placed between 已 and 顛, but we see no way to construct the sentence differently.

² The problem here is whether 令 (*wo shite*) is intended to indicate a causative (in that case the verb *nogaru* should be constructed as a causative), or that it serves as a means to put emphasis on Chōon's withdrawal to Nanmoku. We have chosen the latter interpretation.

³ The character used is identical with Mor. XI: 41359, of which the dictionary notes that "its meaning is unclear." In view of the context, the present interpretation seems defensible.

0 : 3ウ

1 : 1才

扶桑護佛神論卷之上

ジャウシウクロタキ シ ノ シャモン テウオンセン
□□□□□上州黒瀧嗣祖沙門潮音撰

リンシ ジンジャカウ ゴノサンミギ ウマヤドクワウシデン イハ ヨ
林氏、『神社考』<五之三右>、「厩戸皇子傳」ニ曰ク、「余、
シャウトクタイシ ニホンギ ノ ヘウシュツ
聖徳太子ノコトヲ考フルニ、『日本紀』ニ載スルトコロヲ標出シ、ス
デニ右ノゴトシ。アルヒトト デントウロク ウンキョ ダウオウ
或問ヒテ曰ク、『傳燈録』ニ雲居ノ道膺の傳ニ曰
ク、「南岳思大和尚、倭国ニ生ジテ王ヲ作ス」。鑑真マタ曰ク、「我
キ ナンガクシコウ ヒロ
聞ク、南岳思公、和国ニ生ジテ佛法ヲ弘ム、ト。聖徳太子ノコト、我、
コレヲ知レリ』。カツマタ曰ク、『世に行ハルルトコロノ太子傳、
ツブサニコノコトヲ載ス。イマダ知ラズ、杲シテシカリヤイナヤ』。

「余、コタ サイセイ セツ フトシ イ
答ヘテ曰ク、『再生ノ（1 : 1ウ）説、浮屠氏ノ言フトコ
ロナリ、ガジュ モツバラ
吾儒ノ專ニ言フトコロニアラザルナリ。シカルトイヘドモ、
ヤウコ エンタク シデン ショウ
羊祐、圓澤ノコト、コレ史傳ノ稱スルトコロニシテ、マタ誣フベカラ
ズヤ。コレニ説アリ。ジンブツ テンチインヤウ カン
人物ノ生スルヤ、ミナ天地陰陽ノ感ズルトコロナ
リ、セイシャ イコ シンヤ セウ タト ヌ カワ
生者ハオノヅカラ息ヒ、死者ハオノヅカラ消ス。譬ヘバ、逝ク川
チウヤ ス イツク カンダン コトシ ハル
ノ晝夜ヲ舍テザルガゴトク、サラニ一息ノ間断ナキナリ。今年ノ春、
キョネン ジュトウ ハナ フクコン
去年ノ春ニアラズ。樹頭ノ花、復根ノ花ニアラズ。

「『易』ニ曰ク、「始メヲ原ネ、終リニ反ヘルユエニ、死生ノ

説ヲ知ル』。コレヨリコレヲ觀レバ、人、死シテフタタビ生スルノ義ナシ。シカルトイヘドモ、聚散遲速、火ノ初メテ滅ヘテ烟氣ナホ鬱セルガゴトキヤ。ユエニ、(1 : 2オ) 鬼神ノ感格アリ、厲灵ノ来出アリ、精爽ノ依託アリ、魂魄ノ流行アリテ、ソノ終リニ太虚ニ由ルニ、之カザルトイフトコロナシ。ナンノ蹤跡ノ遺ルカアランヤ。イハンヤソレ人死シテマタ託胎センヤ。佛氏三世ノ説、今ノ果ハ夙ノ因ナリ、今ノ因ハ後ノ果ナリ、ト。ソノ要ハ⁴、人人ヲシテ善ヲ修シ、惡ヲ止メシムルニ至ルノミ。下愚庸昧コノ意ヲ悟ラズ、恐懼疑惑シテ、ツヒニモツテ實ニ三世アルトナス。コレ必ラズ野狐ノミ。

『ソレ、祖考ヲ祭祀スルガゴトキンバ⁵、ソノ至誠ヲ存ス。スナハチ、洋洋乎トシテ、見ルガゴトク、在ルガゴトシ。譬ヘバ、梅子ヲ植エテ梅樹ヲ得、杏仁ヲ種ヘテ杏樹ヲ得ルガゴトシ(1 : 2ウ)。物ニオイテスデニシカリ、人モマタカクノゴトシ。コレ蓋一氣ノ條理ナリ。ユエニ曰く、「ソノ鬼ニアラズシテ祭レバ、詔フナリ」』、ト。<

イジョウリンシゼンブン
已上林氏全文>

○林氏<已下六ノ七以下、要ヲ取ル>厩戸傳ニオイテハ、再生因果ノコトナキヲ説ク。マタ僧正ガ谷ノ傳ニ至リテハ、スナハチ人ノ死灵、天狗トナルト説く。ソノ人ハ、歴代ノ天子ノナカニハ、

⁴ As the *kaeriten* and *okurigana* have both been crossed out, we ignore them.

⁵ The *kaeriten* '二' evidently is a mistake for '三'. This agrees with the *kaeriten* given in *Jinja-kō* (NSTS vol. 1, p. 521). We have emended accordingly.

サヌキノイン ゴトバノイン ゴダイゴノイン シャモン デンダウ コウボフ ジカク
讃岐院、後鳥羽院、後醍醐院、マタ沙門ノナカニハ、傳教、弘法、自覚、

チショウ カキノモトノソウジャウ ソンイ ジエ カクバン ホフネン ニチレン エイサイ フモン
知證、柿本僧正、尊意、慈恵、覺鑊、法然、日蓮、栄西、普門、

ジフヤ モンカン ソセキ メウキチ イチクワン ショ マエ サイセイイングワ
十野、文観、疎石、妙吉。一卷ノ書ノナカニシテ、前ニハ再生因果ナ

シト謂ヒ、後ニハマタ再生因（1：3オ）果アリト説ク。嗚呼、ナンヂ

ソウメイ チエ ガテウ テンシ ハバカ
聰明ニシテ知恵ナシトハ、コレヲモツテノユエナリ。吾朝ノ天子ヲ憚

ラズ、マダウ オチ イ クニ ウトクカウソウ
魔道ニ墮ルト謂フ。コノ邦ノ有徳高僧ヲ謂ヒテ、コトゴトク魔

道ニ墮ルトス。ダイギヤクムダウ
大逆無道ノ人ナリ。

マエ ヤウコエンタクラ シデンショウ
林氏、前ニハ羊祜圓澤等ノコトヲ謂ヒ、史傳稱スルトコロモマ

タ誣フベカザランヤ。後ニハ人死シテ再生ノ義ナキヲ謂フ。マタコレ

ゼンゴオナジ ロン ハクシキ コトバ
前後同カラザルノ論ナリ。ナンヂ、博識ノ人タリ。シカルニ辞ヲ出ス

サウキ スイキヤウ
コト前後相違シテ酔狂ノ人ノゴトクナルコトナンゾヤ。

ブツシト カツ
林氏マタ曰く、佛氏説クトコロノ三世因果、曾テコレナシトイヘ

ドモ、人ヲシテ善^{ゼン}を修シ^{シウ}惡ヲ止^{アク}メント要^ヤスルノミ」、ト。ソレ釋氏ノミ

三世因果ヲ立ツルニアラズ、ワガクニ
吾國、神（1：3ウ）道ニオイテ^{ツマビラカ}詳ニ

コノ説アリ。

《神道三世ヲ説ク》

ブツ チゴク シン ネノクニ ソノクニ テンダウ
佛ニハ地獄ト謂ヒ、神ニハ根國ト謂ヒ底國ト謂フ。佛ニハ天道

ト謂ヒ、アマガハラ
神ニハ天原ト謂フ。佛ニハ極樂ト謂ヒ、神ニハ常世ト謂フ。

ブツケ エンマダイワウ ソサノヲノミコト イザナミノミコト
佛家ニ閻魔大王ト云フハ神道ニ服狹雄尊⁶、杳來冊尊⁷ナリ。佛家ニハ

⁶ Name transcribed according to the *furigana*. The deity will be *Susanowo no mikoto*. It is an unusual way

ハチシキデン ゼンアク シュジ ウ ゴザウ
 八識田ニ善惡ノ種子ヲ植ウト説く。神道ニ八識田ハ人ノ五臟ノナカニハ
 ヒ サ ツチ
 脾ノ臟ヲ指シテ八識田トスルモノナリ。イハユル脾ハ土ナリ。善惡ノ
 シュジ ヒザウ セイゼンシゴ
 種子ヲ脾臟ニ植ウルガユエナリ。生前死後、植ウルトコロノ種子、善惡
 サウゲン アイムク キセン
 相現シテ相報酬ユルモノナリ。シカレバスナハチ日本ノ神道ニハ、機先
 テンジク ブツバフ ハルカノチ
 ニシテ三世因果ヲ説キ、天竺ノ佛法ニハ、遙後ヤ、(1 : 4オ) マタ
 コノ説ヲナセリ。神道、佛道、三世ノ因果ヲ説クコト、一般ナリ。儒ニ
 イツバン ジュ
 オイテハ、ジャウコ チュウコイワウ ジュシ
 上古ハ、コトゴトク三世ノ因果ヲ知ル。中古以往ノ儒士ハコ
 レヲ知ラズシテ^{パウセツ}妄説ヲ説クモノナリ⁸。

クマノゴワウキシャウモン
 《熊野牛王起請文》

ワガクニ キシャウモン クマノ ゴワウ モチ ケダシ イザナミノミコト
 吾邦ノ起請文、熊野ノ牛王ヲ用キルコトハ、蓋、^{イザナミノミコト} 忝來冊尊、底
 ナチ タキ キタ ミソギ ケガ サ チ チンザ
 根國ヨリ那智ノ瀧ニ来リテ、灌頂シ穢レヲ除リコノ地ニ鎮坐ス。ユエニ、
 イザナミノミコト ネ ゴワウ
 忝來冊尊、ヨク根ノ國ノコトヲ知ル。ユエニ、熊野ノ牛王ヲモッテ
 キシャウガミ イタヅラ モチ
 起請紙トスルモノナリ。徒ニコレヲ用キルニアラズ。マタ熊野ノ
 ビクニ エツ イザナミノミコト ニョタイ
 比丘尼、地獄ノ繪圖ヲ説クコトハ、忝來冊尊ハ女體ニシテステニ根ノ
 イ ゴクク ツ
 國ニ入り、ソノ極苦ヲ知ル。ユエニ、比丘尼コレヲ圖シ、コレヲ説キ、
 (1 : 4ウ) ^{マコト シ} 實ニ誣ヒズ。

to write the name of this deity; certainly the first character is strange, and cannot by any stretch of the imagination be read as *so*. This transcription occurs only in *Taisei-kyō*; see the pericope quoted in *Jinjakō bengi, Honkoku*, note 267. See also *Wa-Kan sansai zue* 44, 14, which quotes "a certain book" that in fact is *Taisei-kyō* 5: 「或書云服狹雄尊猛氣滿胸腹而」.

⁷ No *furigana* are supplied; the use of these characters to write the name of Izanami is typical for *Taisei-kyō*; see fasc. 17, 24, 44, 57, 62. See also *Wa-Kan sansai zue* 44, 14.

⁸ This section is also transcribed and commented upon by Sonehara; see Sonehara Satoshi, "Edo-jidai no shūgō shisō: Chōon Dōkai no shintōsetsu o megutte" (in: Dolce, Lucia & Mitsuhashi Tadashi, eds, *'Shinbutsu shūgō' saikō*, Tokyo: Bensei Shuppan, 2013), pp. 325-326.

ナンヂガ輩^{ハイ}、因果撥無^{ハツム}9ノ人ヲシテ君父ニ親近^{クンブ シンキン}セシムレバ、スナハチ、因果ナキト思^{オモ}フ。ユエニ、陽ニハ君父ニ忠孝^{チュウコウ}シ、陰ニハ弑逆^{シイギャク}ヲナスコト必^{ヒツ}セリ。末濁^{マツダク}10邪見^{ジャケン}ノ世、タダ因果ヲ恐^{オソ}ルルヲモツテ身ヲ修^ミメ、家ヲ齊^{イエ}ヘ天下ヲ治^{トノ}ム。モシコレヲ蔑^{テンカ}スルトキハ、スナハチ、断無^{オサ}ノゲダウ外道トスルモノナリ。ユエニ、佛^{ベツ}ノ曰^{ホトケ}く、寧^{ムシロ}、有^{アル}ノ見^{ケン}ヲ起^{オコ}スコトスミセン須弥山ノゴトクナルトモ、無^{ナキ}ノ見^{カイシ}ヲ起^カスコト芥子ノゴトクスルコト11ナカレ。コレヲ戒^{イマシ}メコレヲ慎^{ツツシ}メ。

林^{リンシ}氏、『神社考』^{ジンジャカウ}ヲ編^{ヘン}シ、ソノ序^{ジョ}ニ、マズ『延喜式』^{エンギシキ}ノ「神名帳」^{ジンミヤウチャウ}ヲ引^ヒキテ曰^{ニホンクニヂユウ}ク、「日本國中、大小神社、三千一百三十二座^{ダイセウ}アリ、」ト。

林（1：5オ）氏^{イルカ}スデニ、入^{コクキ}麻^{モヤ}、『國記』^シヲ燼^シス12コトヲ知^シリテコレヲ言^シフ。シカルトキハ、スナハチ、秦火^{シンクワ}ノ後^{ノチ}、ナンゾ、孔壁^{コウヘキ}ノナカニ『論語』^{ロンゴ}ヲ藏^{ザウ}スルコトアルノコトヲ疑^{カヘツ}ハズ、還^{ウマコ}テ馬子^{クジキ}ノ『舊事紀』^{クジキ}、ヤスマル^{ヤスマル}安丸^{コジキ}ノ『古事紀』^{トネリ}、舍人^{ニホンギ}ノ『日本紀』^{ニホンギ}、延喜ノ「神名帳」ヲ根本トシテ、『神社考』^{ヘン}ヲ編^{イタ}シテ、板^{チリバ}ヲ鏤^ヨメ、世^{ツタ}ニ傳^{オホ}フ。大イニ天下古今ノ学者^{テンカココン}ノ

9 Buddhist term. Transcription according to Mor. V: 12727-72. The meaning is "to push back, to do one's best to ignore." One of the *loci* cited in Morohashi turns the characters around: 「撥無因果、斷滅善根」.

10 The word 末濁 is a contraction of 末法濁世 and signifies "the defiled world (age) during the latter Dharma." Although this term was already used in texts of the late Heian and the Kamakura periods, for instance in Shinran's *Shōzōmatsu wasan* 正像末和讃 (1258), it is not listed in Morohashi.

11 The text seems to contain the *okurigana no* after *kaishi no gotoku suru*, though it is written differently from the other *no* that occur in the text. On the other hand, it also could be 𑖀, the kana for *koto*. We have decided to chose the latter.

12 Mor. VII: 19515 s.v. only gives the noun *moenokori* for this character, but here it is clearly used as a verb. Furthermore, Morohashi explains *moenokori* as "being saved from the fire." Although, according to the account in *Nihon shoki*, the Soga attempted to burn *Kokki*, but they were saved (see Translation, note 43), we have chosen for the reading *moyasu*.

メイラン シャウ
迷乱ヲ生ズルコト、コレナンゾヤ。實ニ「尺モ短トスルトコロアル」
ナルモノカ 幸、ナンヂガ覽ルトコロノ太子『先代舊事紀』ノナカ、
「神社本紀」アリ。コノ先書ヲ用キズシテ、カノ後書ヲ用キテ、左道ノ
説ヲナス。

《大神宮ハ生身ニテ、宗廟ト謂フハ誤リナリ》

イセダイジングウ シヤウジン ソウベウ フタウ
マタ伊勢太神宮、コレヲ宗廟ト謂フ。ソレ、コレヲ廟ト謂フハ、不當ノ
セツ
説ナリ。伊勢（1：5ウ）太神宮ハ生身ノ神ナルガユエニ、太子、
『舊事紀』ニ宗宮ト称スルナリ。

ゴ ゴエフゼンブン リンシ ト タイシ
〈五ノ五葉全文〉林氏マタ曰ク、「アルヒトマタ問ヒテ曰ク¹³、『太子
ノ『未来紀』、天王寺ニアリト、
《太子『未来記』》

イカン』」。ヨ、答ヘテ曰ク、『世俗ノ称スル所、信スベキモノアリ、
ウタガ
疑フベキモノアリ、排スベキモノアリ。太子ノ『未来紀』、ワレ、初
メ、コレヲ疑フ。世、イマダカツテコレヲ見ルモノアラズ。コレモマタ
フトコセツ シンイジュツスウ セイジン
浮屠誇説ノコトノミ。ソレ、讖緯術数ハ、聖人、排スルトコロナリ。太
子、コレヲ作ルトイヘドモ、信ズベカラザルナリ。イハンヤ、コレナキ
ヲヤ。設使、コレアリトモ、マタ、後世、太子ニ託言スルナリ。傳教、
テンダイザス キ ノチ クラキ イタ ヒラ
カツテ『天台座主ノ記』ヲ作ル。〈後〉、位ニ至ルモノハ開キテ見ル

13 We have inserted *iwaku* on the strength of *Jinja-kō*; cf. *Honkoku*, note 26.

ニ、ワガ姓名、^{セイメイ}前定^{ゼンテイ}シテ（1：6オ）アリト云フ。コレ、太子ノ『未来紀』ト同日ノ談ナリ。ヨ、アニ信ゼンヤ』。

「曰ク、『元弘ノナカ、楠^{ゲンコウ}正成^{クスノキマサシゲ}、天王寺ノ僧ヲ請^{ソウ}ジテ、秘府^{シヤウ}ヲ開キテ『未来紀』ヲ見ル。ソノナカニ云ク、「東魚^{トウギョ}、西鳥^{セイテウ}ヲ食フ。西鳥^{トビキタ}、飛來リテ東魚ヲ食ム」、ト。イマナンゾ、コレナシト謂ハンヤ。』

「曰ク、『ソレ、正成ハ謀^{ボウリヤク}畧^シノ士ナリ。トキニ寺ノ側ニ軍^{テラ}シテ^{ソバ}14、和泉河内ヲ掠^{イツミカワチ}メテ、マサニ、六波羅ヲ襲^{ロクハラ}ハントス。コレニオイテ、東魚西鳥ヲモツテ、當時ノ讖^{タウジ}トナシ、人人ヲシテ、信^シジテ疑^{ヒトビト}ハザラシむ。コレ、士ヲ勸^シメ、勇^{スス}ヲ勵^{ユウ}スノ術^{ハゲマ}ナリ。ケダシ、楠氏ガナセルトコロカ。』」〈以上林氏〉

林氏、コノ説、楠氏、士ヲ勸^{リンシ}メ勇^{セツ}ヲ勵^{クスノキシ}スノ術^シトナス。『未来紀』ヲ見ルコトアリト云フコト、（1：6ウ）近世ノ武人、モツテ、信然^{シンゼン}トナス。ナンデガコノ邪説^{ジャセツ}ノ罪^{ツミ}、誅^{チュウ}ヲ許^{ユル}サヌモノナリ。ナンデノ邪解^{ジャゲ}ヲ破^{ヤブ}ランガタメニ、今ココニ『未然本紀』序ヲ記ス。

「天皇三十三年ノ春、正月、山背大兄ノ王、自^{テンワウサンジュウサンネン}一卷ヲ持シ^{ハル}テ前^{ミゼンホンギ}ミテモツテ直^{ジョ}ニ獻^キ上^ジス。天皇、悦^{ヨロコ}ビ觀^{サツ}テコレヲ察シタマフ¹⁵。

文章スコブル幽冥シ。尋^{ブンシャウ}デ、モツテ、コレヲ才^{クラ}卿^{ツイ}ニ給^{サイギヤウ}フ。マタ旨^{タマ}歸^{シキ}迷^{メイギン}吟^シス。

14 For this reading. cf. *Honkoku*, note 31.

15 For this reading see *Honkoku*, note 39.

ヒト ナカトミノカマコ マウ セイクワウ ヌメドノ イ
 「獨り中臣鎌子考へテ白サク、『聖皇、トキニ¹⁶夢殿ニ入りタマ
 フ¹⁷。臣、度、^{オミ タビタビ メ} 徴サレテ入ルコトヲ得タリ¹⁸。神女、東ヨリ來り。
 セイドウ ニシ イタ ト コタ アヒカタ シヤウク キ
 聖童、西ヨリ至ル。問ヒニ答へテ相語ル。イマコノ章句、聞クトコロノ
 オホ
 コト多シ¹⁹。

エト カソ カズイツセン コクジ アラカジ
 『干支、コレヲ筭フルニ、ソノ数一千。コレハ、コノ國事、豫
 メ、マサニアラベキヲ記スルノ未然ノ文カ²⁰。（1：7オ）未然ヲ知ル
 シンジン ワザ ゲン アラハ セイケン オモンパカ
 ハ、神人ノ業ナリ。言、明ナラザレバ²¹、聖賢、慮ルナリ。神人ノ
 レイクワイ ハカ テンウン ジ
 業ハ²² 冥怪ノ測ラザルニアリ。聖賢ノ慮リハ、天運ノ辞スルコトナキニ
 キジン オロカ ヒト アキラ
 アリ。イマダ冥怪ヲ知ラザルハ、鬼神ノ愚ナル人ナリ。天運ヲ明メザ
 クンシ メイシャ テンチュウ ソンジャ クンシ
 ルハ、君子ノ迷者²³ナリ。鬼神ハ、コレ天中ノ尊者ナリ。君子ハ、マタ
 ニンゲン ジャウハイ タト ト クルマ ヒ レイ アグ トリ サ
 人間ノ上輩ナリ。譬へテ取ルニ車ヲ曳キ、例ヲ拳グルニ鳥ヲ指ス²⁴。

『コノ文、コレヲ思フニ、ソノ意、幽玄ニシテ²⁵ 學徒ノ慢ヲ撃チ、
 ダウキヤク マド ト ヨウ タス ジンリン ツネ キヨ チカ
 道客ノ惑ヒヲ解キ、鬼神ノ用ヲ助ケテ²⁶、人倫ノ常ヲ清ム。近クハ、
 サイゲン タ キハマ トオ ダウガク カタヨ メン
 齋元ヲ立テテ究リナク、遠クハ、道學ヲ示スニ偏ラズ²⁷。文ノ面ハ、

16 *Mizen hongji chū*, p. 5a, reads 時ニ as *yoriyori*.
 17 We follow *Mizen hongji chū*, p. 5a, where 入ニフ is read as *iri-tamau*.
 18 Read according to the *okurigana* given in *Mizen hongji chū* p. 5a-b.
 19 *Mizen hongji chū*, p. 5b, reads *ōku kikeru tokoro no koto nari*. This fits the *kaeriten* in ZST, p. 279.
 20 We have inserted the amplified sentence from *Mizen hongji chū*, p. 6a; see *Honkoku*, note 41.
 21 *Mizenhongji chū*, p. 6a, has slightly different *okurigana*, which would produce the reading *arawa narazaru wo iu wa* - "to say things that are not clear."
 22 The *okurigana suru* (> *ji-suru*) are given in *Mizen hongji chū*, p. 6b.
 23 For this compound, see Mor. XI: 38825-34.
 24 The reading given in *Mizen hongji chū*, p. 7a, is slightly different: 「車ヲ曳ニ譬へ取テ鳥ヲ指スニ例ヲ拳テ」.
 25 This phrase is inserted on the basis of the text in *Mizen hongji chū*, p. 7b; cf. *Honkoku*, note 42.
 26 *Mizen hongji chū*, p. 7b, has the *okurigana ku*, thus reading *tasuku*.
 27 Henmui, *Mizen hongji chū*, p. 8a, reads: 「近クハ立ニ齋元無レヲ究リ、遠ハ示ニ道學ノ不レ偏ナラ」. However,

近キ依^エ怙^コナキニ似^ニテ、句^クノ情^{ココロ} 28ハ、孔^{ハナハ}ダ遠^{トホ}キ徳^{トクク}功^{アガ}アリ 29、コレヲ崇^{アガ}メザルベカラズ。

『君子ノ常理^{ジャウリ}ハ、世^ヨ世^ヨニアリテ 30、コレアルコト多^{オホ}カラシ 31。神人ノ奇怪^{キクハイ}ハ代^{ダイ}（1：7ウ）代^{ダイ}ヲ經^ヘテモ、ナクシテ少^{スクナ}シ。奇怪^スヲ弃^{カド}ツ 32。宁ニハ、鬼^{オニ}ヲ信^{シン}ジ神^{カミ}ヲ怖^{オソ}ルル行^{ギヤウ}、希^マレナリ 33。常理^{ジャウリ}ヲ執^トル家^{イヘ}ニハ、人^ニ 34偏^{カタヨ}リ、オノレニ冗^{タカブ}ル思^{オモ}ヒニ逮^{オヨ}ブ。ユエニ、聖^{セイクワウ}皇^{ヒヤクジ}ツネニ百^{ヒヤクジ}事^ジ 35ノ常理^ニヲ行^ニシテ 36、トキニ一^{イチジ}事^{ソナ}ノ奇怪^ヲヲ具^フ。

『タトヘバ、韓^{カラクニ}國^ニニ百^{ヒヤクヂヤウ}丈^{ホリ}ノ堀^{アリテ}千里^{センリ}ノ畿^キヲ守^{マモ}リ 37、愚^{グワウ}王[、]武^ブヲ忘^{ワス}レテ、佞^{ネイシン}臣[、]逆^{ギャク}ヲ含^{フク}ミテ、美^{ビセキ}石^ヲヲモツテ相^{アヒウ}埋^テメテ敵^{フセ}ヲ防^{カタ}グノ堅^キキヲ失^ヨフガゴトシ 38。美^ヨ石[、]好^ヨカラザルニアラズ、敵^ヲヲ防^グノ堀^ヲ斷^ダツハ、コレ好^ヨカラザルナリ。タダ常理^トヲ取^{リテ}、奇怪^スヲ捨^{ツル}ルモ、マタマタカクノゴトシ。ソレ、異^{イコク}國^{ハ、}人^{ジンイキ}域^{ニシテ、}モツパラ常理^{モツテ}ヲ以^{スル}

Ise Bunko bon reads: *Chikaku wa Saigen wo tatete kiwamari naku, tōku wa dōgaku wo shimesu ni katayorazu*. We have preferred the last reading, as it is closer to the reading marks in our manuscript.

28 The reading *kokoro* is indicated by *furigana* in *Mizen hongji chū*, p. 8b.

29 Following edn ZST vol. 4, p. 279, and *Mizen hongji chū*, p. 8a, we have decided to leave out the character 示. A compound 示功 is not attested, and in parallel with the preceding phrase (似無)近依怙, three characters seem preferable to four. See also *Honkoku*, note 44.

30 We have followed the reading in *Mizen hongji chū*, p. 8b.

31 Or *ōku*, if we follow the reading in *Mizen hongji chū*, p. 8b.

32 *Mizen hongji chū*, p. 8b, has the *okurigana ru*, thus suggesting the *ren'yōkei sutsuru*. *Ise Bunko bon* has the most convincing reading: *kikai wo sutsuru no kado ni wa, ...* We will use this reading as the basis of our translation.

33 According to the grammar of the Chinese sentence, 希 functions as a verb ("to make rare"), with 行 as its object. *Mizen hongji chū*, p. 8b, gives the *okurigana nari*.

34 Read according to *Mizen hongji chū*, p. 8b.

35 We have emended on the basis of the variants in ZST, p. 279, and *Mizen hongji chū*, p. 9a.

36 *Mizen hongji chū* has no *okurigana* at this point, so the reading *okonai* would be possible; see *Mizen hongji chū*, p. 9a.

37 *Mizen hongji chū*, p. 9b, has the *okurigana ru*, but as the sentence still continues, this cannot be correct; a *ren'yōkei* is indicated.

38 Our manuscript fails to supply the *kaeriten* 中 and 上 to correspond to the 下 under 如, but edn ZST vol. 4, p. 279, and *Mizen hongji chū*, p. 9b, both have the reading marks: 如下... 失中... 堅上. From 非ニ美石不レ好, onwards, a new sentence begins.

コト39、ナホ^{セイジン}聖人、奇怪^{アト}ノ跡ヲ認ム。イハンヤ、ワガ朝^{シンコク}、神國ニシテ、
モットモ^{レイメウ}靈妙ヲ持ツ。アニ、生民^{セイミン}、奇怪^{ゲフ}ノ業ヲ疎^{オロソカ}ニセンヤ。

『帝^{テイ}、誤^{アヤマ}リテ、人倫ノ常理ニ偏^{カタヨ}リテ、(1 : 8才)鬼神ノ奇怪^{キジン}
ヲ忽^{ユルカセ}ニセバ^{ゾク}40、俗^{ナラ}、習ヒテ神祇ノ灵妙ヲ^{ジンギ}蔑^{ナイガシロ}ニシ^{テンソン}41、天孫ノ寶祚ヲ^{ホウソ}
輕^{カロン}ズ^{シヤシヨク}42。コノトキ、君王、社稷ナキガゴトク、ソノ世^ヨノ臣民^{シンミン}、互^{タガヒ}ニ
家運^{カウン}ヲ亡^{ホロボ}ス^{セイクワウ}43。聖皇、真人ノ聖智ヲモッテ、豫^{アラカジ}メ、ソノ理^{コトワリ}ヲ照シ^{テラ}、
兼^{カネ}テ、コノ文ヲ設^{マウ}ク^{センシン}44。スナハチ、先神ノ術道ヲ發^{ジュツダウ}シテ、モッテ、後皇^{ゴクワウ}
ノ慮界ニ置^{リョカイ}ク。信崇^オセズンバアルベカラズ』。

「天皇問^{テンワウトヒ}テ曰ク、『朕^{イハ}、熟^{ワレ}物上^{ツクヅクコトグサ}45ヲ思フニ、真人^{ミゼン}、未然ノコト
ヲ説^トクコト^{タミ}46、民ヲシテ、豫^{アラカジ}メ、ソノコトヲ知ラシメ、人ヲシテ、兼^{カネ}
テ、ソノ憂^{ウレヒ}ヲ慮^{オモンバカ}ラシメ、モッテ、ソノ惡^{アクジ}戾ヲナクシテ、ソノ災禍ヲ^{サイクワ}
除カント欲スルユエンニアラズヤ。シカルニ、イマ、コノ文ヲ見ルニ、
一事^{イチジ}トイヘドモ、ソノ象^{シヤウ}ヲ知ルコトナシ。シカレドモ^シ47、スナハチ、コ
ノ文、コレヲ置キテ、ナンノ益^{エキ}ゾ』。

39 *Mizen hongī chū*, p. 10a, omits the particle *koto* and supplies the *okurigana suru*, thus reading (*jōri wo*) *motte suru*. This reading avoids the rather awkward *koto*, but destroys the continuity of the two phrases of which this sentence is composed.

40 Emended from *-su* according to the *okurigana* supplied in *Mizen hongī chū*, p. 10b.

41 Read according to the *okurigana* supplied in *Mizen hongī chū*, p. 10b.

42 *Mizen hongī chū*, p. 10b, has the *okurigana n*, which would lead to the reading *karon-zen* instead of *karon-zu*.

43 *Mizen hongī chū*, p. 10b, has the *okurigana san*, which would lead to the reading *horobosan* instead of *horobosu*.

44 *Mizen hongī chū*, p. 11a, has (*mō*)*ke-tamau* instead of *mōku*.

45 The reading *kotogusa* is given in *Mizen hongī chū*, p. 11a. As it seems preferable to *mononoue*, we have chosen to follow this reading.

46 *Mizen hongī chū*, p. 11a, has the *okurigana woba* instead of *koto*.

47 *Mizen hongī chū*, p. 11b, has *okurigana* indicating the reading *shikareba*, which makes better sense.

カマコ ツツシ コタ イハ
「鎌子、慎ミテ答ヘテ言ク⁴⁸、『アルイハ、聖人（1：8ウ）

アラハ
現レテ、ヨク解クベキコトヲ知ラバ、マサニヨク憂^{ウレヒ}ノ因ヲ解クベシ。

ケンジン イ
マタ、賢人、出デテ、解クベカラザルコトヲ知ラバ、ヨロシク憂^{クラ}ノ果ヲ

ク
悔ヒザルベシ。ソノ解クコトヲ得ルハ、コレ萬姓ヲ安^{ヤス}ンジ、ソノ悔ヒザ

イツシン エキ
ルハ、一心ヲ安ズ。モシシカラバ、ソノ益ナキニアラズ。ナホ、ソレ、

ジツゲツ ショク テンレキ ジツ アラハ
益ナキトナサレバ、ナホ、日月ノ蝕、天歴ノ實ヲ見スガゴトカラシ。

シンジン コウネン シル キョマウ
真人、後年ヲ記スコト、虚妄ニアラザルヲモツテ、聖人ノ今日ヲ教フル

クウゲン アラハ サイジン ゲンゴ コトワリ
コト、空言ナラザルコトヲ見ス。アルヒハ、才人ノ言語、理ノモツ

アト シンジン キク
テシカルベクシテ⁴⁹、ソノ跡ヲ得ザルアリ。マタ、真人ノ記句、理ハコ

ウ
レ信ジガタクシテ⁵⁰、ミナ⁵¹、ヨクソノ跡ヲ得ルアリ⁵²。ソノシカルベク

ビゲン
シテ跡ナキハ、コレ美言ノ空言ナリ。コノ信ジガタクシテ跡アルハ、コ

セイゲン シンチ ヒト ニク
レ空言ノ誠言ナリ。真智ノ人ハ、（1：9オ）信ジガタキヲ悪マズ。

モツバ キョチ タノシ イタズラ
専ラ誠言ヲ取ル。虚智ノ人ハ、タダ、シカルベキヲ樂ンデ⁵³、徒ニ

アア セジン ニ アヒダ マヨ フウゾク
空言ヲ取ル。嗟、世人スコブルコノ二ノ間ニ迷ヒテ、風俗ヲシテ⁵⁴、ソ

ヒヤクガク ムナシ ラウ コウ シンキ
ノ百學ヲ空フス⁵⁵。ソレ、タダ、勞シテ、モツテ、功ナシ。神記、益

セイゲン ウタガ アタ
ナキニアラズ。聖言、疑フベカラズ。カナラズ、當ルコトアラン。マ

48 *Mizen hongi chū*, p. 11b, has the *okurigana saku*, thus specifying the reading *mōsaku*.

49 *Mizen hongi chū*, p. 12b, has the *okurigana (be)ki koto*.

50 *Mizen hongi chū*, p. 12b, reads *shin-ji-gataki koto*.

51 *Mizen hongi chū*, p. 12b, omits the character 皆.

52 *Mizen hongi chū*, p. 12b, inserts the *okurigana ru* at this point, reading *uru*, which is correct.

53 *Mizen hongi chū*, p. 13b, reads *kononde* instead of *tanoshinde*.

54 Read according to the *okurigana* in *Taisei-kyō*, edn 1679, 69, frame 4, right.

55 In *Taisei-kyō*, edn 1679, 69, frame 4, right, the *okurigana* are *fu-su*, which indicates the reading *munashū-su* (< *munashiku su*).

サニ、スミヤカニ^{ホウカウ}奉行スベシ。』

「トキニ、^{テンノウサン}天皇讚シテ曰ク⁵⁶、『ナンヂハ、^{セウネン}少年ノ才、^{サイ}百歳ノ智^{ヒャクサイ}ニ長^チレリ⁵⁷。ナンヂハ、コレ、^{ヒジリ}聖カ⁵⁸』。ツイデ、^{カマコ}鎌子ノ言ニ伏シ⁵⁹、^{マサ}信受シテ崇メ^{アガ}奉^{タテマツ}リタマフ⁶⁰。

「春ル二月、^{ニガツ}天皇^{チョク}勅シテ曰ク、『アア、^{キミ}鎌子ノ君、^{セウネン}少年ニシテ^{ヤク}役ニ任^タへ⁶¹ズトイヘドモ、^{タケノウチ}武内ノ臣ガ^{オミ}稚歳ニシテ、^{ワカドシ}力ニ任フルコトヲ^{チカラ}為ルニ^ス循^{シタガ}ヒ、^{オトナ}大人ノ凡タル^{ボン}ヲ^{サシヲ}閣^{セウジ}イテ、^{ヒジリ}小兒ノ聖タルヲ用ケン』。スナハチ、『未然記』ヲ下^{タマハ}ツテ⁶³、命^{メイ}ジテ、コレヲ^{クワイ}會^{クワイ}セシム⁶⁴。

「鎌子、^{セイキヤウ}聖經ヲ給ヒテ甚^{タマ}タ敬^ヒ⁶⁵、（1：9ウ）^{シンジョ}神助ヲ頼ミテ、^{ケツサイ}潔齋ニ入り、^{ジャウシツ}浄室ニ^{コモ}籠ル。一ノ老人アリ、^{ラウジン}直ニ^{タダチ}^{キタ}^ツ⁶⁶来リテ、告ギテ曰ク、

⁵⁶ *Mizen hongji chū*, p. 14a, specifies the reading *notamawaku* instead of *iwaku*.

⁵⁷ In reading the verb 長 as *masareri* and not as *masaru*, we follow *Mizen hongji chū*, p. 14a.

⁵⁸ *Mizen hongji chū*, p. 14a, has the copulum *nari* instead of the question particle *ka*. N.B. *Mizen hongji chū*, p. 14a, inserts the four characters 「蕩蕩トシテ無^レシ名^ヲ」 at this point.

⁵⁹ In reading *fushi*, we follow the *okurigana shi* in *Mizen hongji chū*, p. 14a. It is superior to the reading *fusu* suggested in our manuscript.

⁶⁰ Our manuscript has the *okurigana fu* after 奉崇, which cannot be accommodated. *Mizen hongji chū*, p. 14a, has *tamau*, and also adds the character 之 after the verb, thus reading *kore wo agame-tatematsuri-tamau*. As this reading seems superior, we have substituted it in our text.

⁶¹ How this and the next character 任 are to be read here, is unclear. The reading of the character 任 is specified only once in our manuscript (p. 2:16a: *ta-fu*); otherwise, the *okurigana* are compatible with such readings as *nin-zuru* and *makaseru*. The parallel passage in the Ise Bunko *bon* reads 「不^レ任^レ役...為^レスルニ任^レルコトヲ力^ニ」, while *Taisei-kyō* (edn 1679, 69, frame 4, left) reads 「不^ニ仕役...為^レルニ任^レヘ力^ニ」. These *okurigana* agree with the reading *ta-fu* > *taeru* (-/2), which is one of the attested readings of 任. However, *taeru* cannot mean "to be appointed to (a position)"; in that case, you need *nin-zuru*. At best, *Taeru* means "to stick it out, once you have been appointed." However, none of the *okurigana* conflict with the reading *taeru*, so for the time being we will read the character *taeru*.

⁶² On the basis of the parallel passage in the Ise Bunko *bon* and *Taisei-kyō* (cf. *Honkoku*, note 67), we have inserted the copulum *-taru*, and decided to read 凡 as *bon* instead of as *oyoso*.

⁶³ *Mizen hongji chū*, p. 14b, has the *okurigana shi*, thus reading *kudashi* instead of *tamawatte*.

⁶⁴ *Mizen hongji chū*, p. 14b, reads the three characters 命會之 as *kore o kai-seyo to mei-ji-tamau*.

⁶⁵ We have decided to insert the two characters 甚敬 on the strength of the variant reading in *Mizen hongji chū*, p. 15a; cf. *Honkoku*, note 68.

⁶⁶ We have decided to insert the character 直 on the strength of the variant reading in *Mizen hongji chū*, p. 15a; cf. *Honkoku*, note 69.

『ワレハ、コレ^{コンゾクニョライ}金粟如来ナリ、ナンヂハ、マタ^{ムクボサツ}無垢菩薩ナラン。ワレ、
^{ムカシキタ}昔来リテ、^{タフ}田生^{ミネ}ノ^ス峯ニ住ム。ナンヂ、^{ノチ}後ニ^オ降リテ^{フクデンザン}福田山ニ来ル』 67。コ
ノトキ、鎌子、^{シンガン}タチマチニ^{ヒラ}心眼ヲ開ク。記中ノ^{キチュウ}百年、^{ヒヤクネン}千^{センジ}亘ニ^{カンタツ}貫達スル
ノミ 68。タダ^{ヒソカ}密ニ、^キ天皇ニ聞カス 69。ホカハ 70、更ニ^{バウキヤク}旁客ニ^{カタ}語ラズ。天
皇、コレヲ聴キ、^{キタン}喜嘆、^{ハツ}コモゴモ^{モクシ}發シテ、^ノ黙止シテ、^ノ宣タマハズ」 71。

ケダシ、コノ『未然本紀』、^ワ吾ガ^{クニ}國、^{バンセイ}萬世ノ^{ヂュウホウ}重寶ニテ、^{タレビト}誰人、
コレヲ^{ホウヂュウ}寶重セザランヤ。コノ『未然本紀』ヲ見ルニハ、スナハチ、ヨ
ク^{ココン}古今ノ^{ベンチ}コトヲ^{ガウハツ}辨知スルニ、^{タガ}毫髮、^{タイヘイキ}違ハザルモノナリ。ヨ、『太平記』
ヲ^ヨ讀ミテ、^{クスノキシ}楠氏、^{ミライキ}『未来紀』ヲ見ルトイフコトアルヲモツテ、^{センダイ}『先代
(1 : 10才)

《『大成経』、^{イソノミヤ}磯宮、^{ミワ}三輪、^{テンワウジ}天王寺ニアリ。》

^{クジホンギ}『舊事本紀』、^{ツブサ}詳ニ^シ知ル、^{イソノミヤ}磯宮、^{ミワ}三輪、^{テンワウジ}天王寺ノ^{サンショ}三處ニ^{ヒザイ}秘在スルコトヲ、
コレヲ疑ハザルナリ。

^{リンシ}林氏マタ^イ曰ハク、「^{アルヒトト}或問ヒテ曰ク、

《^{タイシクロコマ}太子^ノ驪駒ニ^{フジ}乗り^{ノボ}富士ニ上ル》

『^{タイシ}太子、^{カヒ}甲斐ノ^{クロコマ}驪駒ニ^{フジ}乗り、^{タケ}富士ノ^{ノボ}嶽ニ上ル。^{トネリ}舍人、^{ツキツカヒマロ}調使麻呂、コレニ

67 *Mizen hongī chū*, p. 15b, has the *okurigana re* instead of *ru*. Perhaps Henmui wants to read *kitaREri*?

68 On the right side of the characters 已而, the kana ノ is clearly visible. Below that, the kana ミ is vaguely visible. Other text versions, however, add the kana ニシテ.

69 *Mizen hongī chū*, p. 16a, reads this character as *mōsu*.

70 As the particle *wa* makes more sense than *ga*, we decided to follow *Mizen hongī chū*, p. 16a, in reading *wa* instead of *ka/ga*, and also inserting *sara ni* at this point; cf. *Honkoku*, note 72.

71 The reading is based on *Mizen hongī chū*, p. 16b, which adds the *furigana* ノ玉ハ to the character 宣.

^{シタガ} 隨フ。^{イカン} 奈何』。ヨ、^{コタ} 答^{イハ}ヘテ曰ク、『^{ミヤコシ} 都氏^{フジヤマキ}ノ富士山記^{トウチョク}ニ太子登陟ノコト
^イヲ云ハズ。^{ソクカン} 俗間ニ傳^{ツタ}フルトコロノ^{エンギ}縁起ニモ、^ノマタコノコトヲ載セズ。コ
^{イブカ}レ、ヨノ訝ルトコロナリ。^ヨ 世ノ太子ヲ^{ホウビ}褒美スルハ、^{マイマイクワコ} 毎毎過誇シテ、ソ
^{ジツ}ノ實ヲ^ケ鑠スコト、^{コレスクナ} 惟少カラズ。今、^{イマ} 富士岩^{フジノイハ}72ニ昇ルト云フハ、^{ノボ} ナホカツ、
^{ウタガ}コレヲ疑フ。シカルヲ太子、^{セイリョウシャ} 青龍車ニ^ガ駕シ、(1 : 10ウ)^{スイコク} 隋國ニ入
^{ナンガク}リテ、^{キウバウ} 南岳ノ^{ホケキヤウ} 舊房ノ^ト法華經ヲ取リテ、^{キョクウ} 虚空ヲ^{シノ}凌ギテ73、^{ニツボン} 日本ニ^{カヘ} 販ルト云
^{イヨイヨ}フヤ、スナハチ、^{イブカ} 愈疑フ、愈訝ル。ヨ、^{シン} アニ信センヤ。^{シヤカフ} 釋迦譜ヲ案
^{ジャウハンワウキユウ}ズルニ、ソノ淨飯王宮ニ^{タクタン} 託誕シテ、^{シツタ} 悉陀太子トナル。十九年中^{シュジュ} 種種ノ
^{シャウスイシンベン}祥瑞神變、^カ 勝^{カン}チテ数フベカラザルナリ。カノ^{エラ} 聖徳太子傳ヲ撰ブモノモ、
^ミマタケダシ^{センボ} 悉陀太^{アヒニ}子ノ譜ヲ見テ羨慕シテ相似セタルノミ、』ト。＜
 已上林氏＞

^{セイクワウホンギ}『聖皇本紀』モ^{カヒ} マタ^{クロコマ} 甲斐ノ^{ダケ} 驪駒ニテ富士ノ^{スイコク} 嶽ニ上ルコト、隋國ニ
^{キタ}入りテ^{イハ} 法花ヲ取リ來ルノコトアリ。シカルニ^{イブカ} 林氏謂ク、コレヲ訝リテ
^{クワコ}、過誇、^ケ 實ヲ鑠スコト、と。林氏ヤウヤク^{セイケン} 聖賢ノ書ヲ^{ジャウダウチリン} 讀ミテ、常道治倫
^{シンチ}ヲ知り、^{ツウカイシンベン} 神至ノ書ヲ讀ミテ通怪神變(1 : 11オ)ヲ知ラズ。ユエニ、
^{ウタガ}コノ疑ヒアリ。スナハチコレ^{イコクホンテウ} 異國本朝古今ノ^{ジュシ} 儒士ノ^{ツウビヤウ} 通病ナリ。實ニコ
^{ツルベナハミジカ}レ^{フカ} 纒索^ク 短クシテ^イ 深サヲ^イ 汲ムベカラズノ謂ハレカ。モシ、太子ノ始末ヲ

72 The compound is not attested elsewhere; both the reading (Fuji-gan or Fuji no iwa?) and the meaning are not quite clear.

73 The *okurigana wo* must be a mistake; no doubt, the *okurigana te* was intended. We have transcribed accordingly.

74 We assume that the character 太 was intended, and have transcribed accordingly.

知ラント欲^{ホリ}セバ、スベカラク『聖皇本紀』^{セイクワウホンギ}ヲ讀ム^ヨベキナリ。太子ハ^{オクリナ}諡
シテ真至太聖皇太子ト曰フトキハ、スナハチ漢土聖賢ノナカニオイテ、
コレニ比^{クラ}ベ並^{ナラ}ブ人ナシ。天竺^{テンジク}ニ悉陀^{ヒツタ}太子ノ出^{シュツシヤウ}生^{ドウルイ}アリ。ケダシソノ同類
ニシテ、シカモ世間ノ政道^{セイダウ}ニオイテ一頭地^{イツトウチ}ヲ出^{イダ}スコトアルカ⁷⁵。

林氏<五ノ四葉>マタ曰ク、「アルヒトマタ問^トヒテ曰ク、『平氏撰^{ヘイシセン}ズル
トコロノ『太子傳曆』^{タイシデンリヤク}ニ載^ノスル⁷⁶、太子カツテ人ヲシテ陵墓^{リョウボ}ヲ造^{ツク}ラシメ
テ告^ツゲテ曰ク、『ココヲ断^タチ、カシコヲ截^キレ、(1:11ウ)繼嗣^{ケイシ}アラ
ント欲^{ホリ}セザルナリ』、ト。ソレ子孫^{シソン}續^ツガザルハ、アニ大咎^{ダイキウ}ト云^イハンヤ。

孔子ノ遺教^{ユウシ}ニ後嗣^{イクウ}ナキモノハ不孝^{コウシ}トナス。ワレ釈迦^{シヤカ}ノ弟子^{デシ}ニシテ、孔子
ノ弟子ニアラズ。コノ言^{ゲン}イカガ』。

「余、答^{ケイネン}ヘテ曰ク、『頃年^{ケン}、邯^ヤ穌^ソ77モノノ書^{シヨ}ヲ見^{ロン}ルニ、論^{ロン}ジテコ
レニ及^{オヨ}ブ。後^{アト}ナキ、不孝^{フカウ}トナサバ、スナハチ伯夷^{ハクイシユクセイ}叔齊^キ子アルコトヲ聞
カズ。夷齊^{イセイ}ハソレ不孝^{フカウ}トナサンヤ。後アルハ孝^{オホ}トナサバ、スナハチ、多
ク妾婦^{シヨウフ}ヲ買^カヒテ色欲^{シキヨク}ヲ恣^{ホシイママ}78ニスルモノ、ソレ孝^{オホ}トナサンヤ。余、惟^{オモ}フ
ニ、ソレ太子^{タイシ}ノ言^{イツベン}ト邯^{トラハ}穌^{チュウセイ}ガ論^{チュウセイ}ト、トモニ一偏^{イツベン}ニ拘^{トラハ}レテ、ソノ中^{チュウセイ}正^{チュウセイ}ヲ

75 This section is also transcribed and commented upon by Sonehara; see his "Edo-jidai no shūgō shisō," pp. 321-322.

76 Notwithstanding the *okurigana* -su in our manuscript, a *rentaikei* is needed here as the substantified form of the verb, not a *shūshikei*.

77 Cf. *Jinjakō bengi* 2:6b-7a, and *Honkoku*, notes 163-165. We stated there that the character 邯 should be 耶. Of course, the reading *ya-so* is, i.e., "the Christians" are, intended, but nevertheless, in *Gobusshin-ron* twice the reading *kan* is specified. In this *yomikudashi* we have consistently rendered the compound as *Yaso*.

78 Substituted for the mistaken character 姿; cf. *Honkoku*, note 79.

ウシナ
失フモノナリ」、』」ト。＜已上林氏＞

『^{セウワウホンギ}聖皇本紀』ニ曰ク、「冬十二月、太子^ガ駕スルヲ^{メイ}命ジ、
^{シナナガリョウシヨ}科長陵^{イタ}処ニ(1:12オ)届ル。シカウシテ、墓^{ハカ}ヲ^{ツク}造ル^{カタチ}状ヲ^ミ覧タマフ、
^{チキ}直ニ^{ハカ}墓ノ^{ウチ}内ニ^イ入り、^{ヨツ}四ヲ^{ノゾ}望ミ^{カナ}命ジテ曰ク、『コノ^タトコロ必ラズ断チ、カ
ノ^キトコロ必ラズ切レ。子孫^{シソ}ノ^{アト}後ヲ^ツ嗣ガザルユエンナリ』、ト。墓^{コウ}ノ^{コウ}工、
命ニ^{シタガ}随ヒテ、^タ絶ツベキモノハ^{オホ}絶チ、切ルベキモノハ切ル。太子、大イ
ニ^{ヨロコ}悦ビテ、^{ユフ}スナハチ、^ガ夕ベニ^{マハ}駕ヲ旋ス。

『^{グンキヤウ}群卿、^{マヲ}啓シテ曰ク、『先皇ノ道ハ^{コウシ}後嗣ノ^{ナガ}永キヲモツテス。嗣^シ
ナキトキハ、^ヒスナハチ、非ナリ。ナンスレゾ、ワガ^{ミササギ}大王陵ヲ断チ、^タ絶ユ
ルコトヲ^{ホリ}欲スルヤ』。

『太子、^{コタ}答ヘテ曰ク、『寡人^{クワジン}シバシバ^{オモンミ}以ルニ^{ジンセイ}人生、^{イノチ}命ヲ^エ得、
^キ氣ヲ^{ギョ}御シ^{スウ}數ニ^{タク}託ス。氣ト^{シユク}數ト、^ヨ宿ニ依ル。吾ガ^{シユクセイ}宿世ノ^ミ身、シバシバ
^{シнтаi}真諦ヲ^{ヲサ}修メ、^{テンチ}天地ニ^{トドマ}逗ラズ。天地ニアルトイヘドモ、^{カシヤク}假借スルノミ。

ユエニ^{コンジャウ}今生、身、ソノ^{タク}數、ソノ^{シャウ}氣、絶法ニ^{テンメイ}託シテ^{ワタクシ}生ス。天命、私ナ
ク、スデニ^{シシ}子嗣ノ(1:12ウ)絶ユルヲ^シ知ル。コレヲ知リテ^{シユクフン}79祝墳ニ
入ラバ、^{オサ}恐ラクハ^{リョウシ}陵師ノ^ナ法ヲ亡クサン^ヒ80。マタイヅクンゾ、非ヲ恐レテ
^{オノレ}己ヲ^{アザム}謾カンヤ。先皇ノ^{キハフ}遺法、^{オホカタ}大方ノコトニアリ、必ラズ一切ニ^{イツサイ}蒙ラ
バ、^{ムナシ}天法マタ^{グンシン}虚カラン』。群臣コレヲ^{ヒセキ}聞キテ^{タンブク}悲惜、歎伏ス」、ト。

79 The repetition of the verb *shiru* is strange, and so is the punctuation. We have decided to follow the punctuation of *Taisei-kyō* and break the sentence before the second *shiru*.

80 For the reading *naku-san* instead of *naku-shi*, see *Honkoku*, note 82.

ケダシ平氏ノ編ズルトコロノ『太子傳』ハ入鹿、國記ヲ焚スノ後、
平氏コレヲ編ズルユエ、^{ビウサクオホ}謬錯多シ。

《太子傳、^{アヤマリオホ}誤多シ。聖皇本紀ハ、正ノ義ナリ》

『聖皇本紀』ハ、聖徳太子崩御ノ後、秦ノ河勝ノ學苻、編ズルトコロノ
書ニシテ、推古天皇、天孫太神ノ託ニ任セテ^{タク マカ イソノミヤ ミワ}磯宮⁸¹・三輪・天王寺ノ
三處ニ^{サンショ シウザウ}収蔵スルノ書ナリ。ユエニ『聖皇本紀』ト平氏ノ^{ショセツ}所説トコトゴト
クモツテ^{サウキ}相違スルモノナリ。平氏太子傳ノ（1：13オ）語ハ、後人ノ
説ニシテ太子ノ^{ジセツ}自説ニアラズ。シカルニ、林氏、太子ト^{ヤ ソ イツバン}耶⁸²穌ト一般ニ
コレヲ^{ロン}論ズ。林氏、^{クワウチヤウゼツ}廣長舌カ。^{ケンカウ}兼好、『徒然草』ニ、「太子ハ子孫ナ
キヲモツテ、^ヨ好キトナス」ヲ論ズ。ユエニ^{ココンライドウ}古今雷同シテ太子ヲモツテ
不孝第一ト^{フカウダイイチ ショウ}称ス。コノ説、非ナリ。太子、過去ノ^{イングワ ツイシ}因果ヲ追思スルニ、
子孫^{アイツツ}相續ガザルユエニ、^{ハカ ツク}墓ヲ造ルニ、ココヲ^キ截リカシコヲ^{ノタマ}截レト謂フ
モノナリ。子ノ^{ツ タ}嗣ギ絶ユルヲモツテコレヲ^ヨ好キトスル謂ハレニアラズ。

林氏〈五ノ九右〉^{リンシ}マタ曰ク、「アルヒト^{ミギ}マタ^{イハ}問ヒテ曰ク、『太子、^{シンタウ}神道
ハ^{コンボン}根本ナリ、^{ジュダウ シエフ}儒道ハ^{ブツダウ クワジツ}枝葉ナリ、^{ゲン}佛道ハ^{ゲン}花實ナリ。コノ言、イカガ』。

余、^ヨ答ヘテ（1：13ウ）曰ク、『コレ太子ノ言ニアラザルナリ。

後来、^{コウライ}卜部中臣ノ^{ウラベナカトミ}托スルトコロナリ。太子、^{ケンワウ カウコ ココロ}獻王ノ好古ノ心ナクシテ

81 It is a variant name of Izawa no miya.

82 This time the character with the ear radical is used, without any *furigana*; cf. *supra*, note 77.

セフエン カウキヤウ シツ
蕭衍ノ講經ノ質アリ。モシ太子ヲシテ神ヲ好ムコトヲ 佛 ヲ好ムガゴト
クナラシメバ、スナハチ、アニ多財ヲ 費 シテ 若干寺ヲ立テンヤ。儒ニ
ホウ
奉ズルコト 釋 ニ奉ズルガゴトクセバ、スナハチ、ナンゾ篤ク三寶ヲ信
ズト謂ハンヤ。タダ佛ヲ根本トナシ、神儒ヲ枝花トナスハ、ケダシ太子
ノ 意 ナラン。ア、ア、ア、ア。寺院ヲモツテ學校トナシ、シカウシテ
ブツジ サイシ
佛事ヲ祭祀トナシテ、コレニ教フルニ孝悌ヲモツテシ、コレニ勸ムルニ
チュウセイ
忠誠ヲモツテスルトキハ、スナハチ、神道・人道アニソレニアランヤ。
オシ
惜キカナ、太子ノカクノ如クナラザルコトヲ』」。〈已上林氏〉。

『聖皇本紀』曰ク、「敏達七年（1：14才）三月十九日、天皇、
太子ノ生オヲ感じ、勅シテ太子ヲ大殿ニ徴シテ、儒釋教ノ意ヲ問フ。
太子奏シテ曰ク、『儒ハ人倫ノ道ナリ。先皇ノ道ニ同ジ。コレ道ノ
シエフ
枝葉ナリ。佛ハ大覺ノ道ノ天祖ノ師ナリ。コレ道ノ花實ナリ。二法、オ
ノヅカラ立チテ、ワガ神道ニ合フ。三ヲ成シテ大成ス。ワガ道ハ、道ノ
根本ナリ。本アリテ、枝アリ、枝アリテ、菓アリ、菓アリテ、本ヲ生
ム。オノヅカラ三法ノ經アリ。世、コレヲ尊ビ、コレヲ習フ』。天皇、
コレヲ聞キテ押廢スルコトヲ得ズ」。

モシ『聖皇本紀』ニ因レバ、スナハチ、中臣ノ托スルトコロニア
ラズシテ、實ハ、コレ太子ノ説ナリ。シカルニ、林氏、太子ノ言ニアラ
ザルトナス。邪解ノ人、（1：14ウ）口ヲ開キテ邪ヲ説ク。ワガ道ハ、

道ノ根本ニテ、本^{モト}アリテ、枝アリ、枝アリテ菓^ミアリ、菓^ミリテ本ヲ生ム。
ケダシ、菓^ミハ、佛道ナリ。枝ハ、儒ナリ。根^ネハ、神道ナリ。シカレバス
ナハチ、一ノ根^{イチ}枝^{コンシクワ}菓^{シジュウ}、始^{アイナ}終^{クニ}ヲ相^ヒ為^マスモノナリ。トクニ、ワガ國^{クニ}ハ、日^ヒナ
リ、震^{シンダン}旦^{ホシ}ハ、星^{テンジク}ナリ。天^{ツキ}竺^{セイゲツ}ハ、月^{ヒカリ}ナリ。星^マ月^マハ、日^マヲモッテ光^マヲ増^マス
モノナリ。アニソレ根^ネトナサヌヤ。ユエニ、神道ヨリ、儒佛二道、
出生^{シュツセイ}スルモノナリ。コノ理^{コトハリ}ハ灌^{クワンデン}傳^{デン}ノ人ニアラザレバ、スナハチ、コ
レヲ知^シルコトアタハザルモノカ。

林^{リンシ}氏^シ、『火^{ホノイカヅチノカミノベン}雷^{イハ}神^{シヤウタイヨシネン}辯^{サボクヤ}』ニ曰^フク、「昌^{フヂハラノトキ}泰^シ四年、左^サ僕^{ボク}射^{シャ}ノ藤^{フヂ}[原^{ハラ}]時^{トキ}

(1 : 15才)

菅^{カンシヨウジャウ}丞^{シヨウ}相^{サウ}》

平^{ヒラ}ノ讒^{ザン}ニヨリ、太^ダ宰^{ザイ}府^フ都^ト督^{トク}ニ左^サ遷^{セン}セラレテ薨^{コウ}ズ」。ソノ灵^{タマシヒ}、天神^{テンジン}トナ
リ。ソノ眷^{ケンゾクシシヤ}屬^{ガク}使^シ者^{シヤ}、ベツニ火^{ホノイカヅチノカミ}雷^{ライ}神^シアリ。藤^{フヂハラノキヨツラ}[原^{ハラ}]清^{テイラ}貫^{マレヨ}、平^{ヒラ}ノ希^シ世^セナド
ヲ震^{シンシ}死^シサス。大^{オホウチ}内^{ナイ}オヨビ諸^{シヨジ}寺^ジナドヲ火^{クワシヤウ}焼^{ヤウ}ス。スナハチ、コレ「俗^{ゾクセツ}説^{セツ}ナ
リ。取^{テイシ}ルニ足^{コシ}ラザル」ナリ、ト。程^{ライジン}子^{カチ}、胡^コ氏^シ、雷^{ライジン}神^{カチ}ハ形^{カタチ}ナキヲ、理^リヲ
モッテコレ推^{スイ}スルヲ引^ヒキテ、「異^{イタン}端^{タン}ノ龍^{リュウシヤ}車^{シャ}、石^{セキフ}斧^フ、鬼^キ鼓^コ、火^{クワベン}鞭^{ベン}、
怪^{クワイタン}誕^{タン}ノ信^{シン}ジガタキ」ヲ誹^ヒルナリ⁸³。

林^{リンシ}氏^シ、宋^{ソウジュ}儒^{ジュ}ノ程^{コシ}子^シ、胡^{マウセツ}氏^シノ妄^{アマ}説^{セツ}ヲ甘^{カン}ンジテ、天^{テンジク}竺^{ブツセツ}ノ佛^{ワガテウ}説^{セツ}、吾^ワ朝^{チャウ}ノ

神^{シンダン}談^{ダン}ヲ信^{シン}セズ。佛^{ブツシン}神^{カロン}ヲ輕^{オモン}ジ、程^{ジツ}胡^{ワラ}ヲ重^{ジュウ}ズ。實^{ジツ}ニ、笑^{ワラ}フベキナリ。

83 The above is part quotation, part paraphrase. We marked the direct quotations with 「」.

^{ライジン}ココニ雷神、^{アカシ}形アルノ^{イダ}證ヲ出サン。大成經^{タイセイキヤウユウリヤクテンノウ}雄略^{デン}天皇ノ傳ニ曰ク、
^{ミズノエトラ}「^{ダイヘキレキ}壬寅、大霹靂。^{ショヒ}(1 : 15ウ)諸妃オヨビ^{ウネメ}采女、コトゴトク
^{キョウフ}恐怖シテ^{イロ}色ナシ。トキニ、^{カミトリ}神捉ノ^{ムラジ}連、^{キンダウ}禁堂ニ^{ハベ}陪ル⁸⁴。ココニ天皇、^{チョク}勅
シテ曰ク、『^{ノタマハ}天雷トイヘドモ、^{テンライ}アニ制セザランヤ』。マタ^{ツイ}尋デ^{ツイ}敕シテ
曰ク、『^{イタリ}ナンジ、^{イサマ}氣至テ^{ココロミ}勇シ。試ニ^{ユキ}往テ^エコレ得ヨ』。トキニ、神捉
ノ連、^カ駕ニ^ノ乗り、^{ムチ}鞭ヲ^ア挙ゲ、^{ライセイ}雷声ヲ^オ追ヒテ、^{コトアゲ}言發シテ曰ク、『^{ヒト}人ノ^キ氣、
^{マコト}實ニ^ア存リ。鬼ノ^キ氣、^{ウツロ}虚ニ^{ゲン}現ズ。ワレ、ナンゾナンヂヲ得ザラン。鬼、
^{ユウリョク}モシ^{キタ}勇力アラバ、^{チカラ}來リテ^{キノヘ}ワレガ^オカト^{イカヅチノオカ}競』、ト。追ヒテ^{イタ}雷^{イタ}岳ニ到ル。
^{イカヅチノカミ}雷神、^{クダラ}降ズ。威^{イカ}ツテ、^{ウマ}モツテ、^ケ馬ヲ踏ル。スナハチ、^{オドロ}驚^トキ飛ビテ
^{ソラ}虚ニ^{ノボ}昇ルコト^{チャウ}十丈ヲ^{ハカ}量ル。雷神、^{オン}恐レテ^オ地ニ^{カタチ}墮チ、^{オン}形相、怖ルベシ。
^{ヒキ}率キテ^{オホトノ}大殿ニ^{イタ}至ル。天皇、^{ヒトメ}一目見テ^{オン}懼レテ^{サイラン}再覽スルコトアタハズ。
^{モロノトノ}諸殿、^{カミナリ}雷鳴、^{モロノヘヤ}諸舍、^{イナヒカリ}雷光ス。敕シテ、^{チョク}放チ遣ンコトヲ^{ハナ}求メ^{ヤラ}タマフ。
雷神、(1 : 16オ) ^{シリソ}退カズ。神樂ヲ^{カグラ}奏シテ、^{ソウ}コレヲ^{ヤハラ}和グ。祭供ヲ^{サイグ}修
シテ、コレヲ^ア饜カシム。ツヒニ、^{クモ}雲ヲ^{マネ}招キテ、コレヲ^{ギョ}御シテ、^{ヘキレキ}霹靂ヲ^{ハツ}發
シテ、^ト飛ビ^サ去ル。天皇、コレヨリ、^{シントク}神徳ヲ^{カロン}輕ゼズ。神捉連、名ヲ^{クハ}加フ
^{ライゲン}ル⁸⁵ニ、^{カミナリトリ}雷言ヲ^{ライスイチ}モツテス。神雷捉ト云フ。雷^{ガウ}墮地ニ^{イカヅチノオカ}號シテ、^{イカヅチノオカ}雷岳ト曰
フ。マタ、^{オニトリノムラジ}鬼捉連ト^{ショウ}称ス。雷^{カミナリ}ノ^{カタチ}形^{アカオニ} ^ヨ86、赤鬼タルニ依ル』、ト⁸⁷。

84 As the verb derives from *hai-ari*, it belongs to the *-ra* conjugation, so in this sentence final position, it should be *haberi*.

85 If this is the reading, it should have been 加名 in Chinese: verb before object.

86 We have inserted the character 雷 on the strength of the parallel passage in *Taisei-kyō*.

87 We have replaced the particle *wo* in the text with the particle *to*. Cf. *Honkoku*, note 107.

マタ、^{ライジン}雷神ノミ⁸⁸形アルニアラズ、ワガ國ノ神ハ、

《ワガ國ハ^{イキガミ}生神ヲ^{オホ}多クシしぜん」異國ハ^{シヨン}死魂⁸⁹ヲ神トス》

多ク、コレ^{イキガミ}生神ナルガユエニ、^{カタチ}形アリ。異國ハ、人ノ^{シヨン}死魂ヲ^{マツ}祠⁹⁰リテ神

トス。ユエニ、^{ジュシヤ}儒者、^{オモ}形ナシト思フ。ワガ朝、^{イコク}異國ノ神、^ト取りテ^{イツタイ}一體ト

スルコトナカレ。^{タト}縦ヒ、コレ、ワガ國ハ人ノ^{シヨン}死魂トイヘドモ、^{オホキ}大ニ

^{シンベンキクワイ}神變奇怪アリ。^{トホ}遠クハ^ウ宇^サ佐^{ヨシノ}吉野、^{チカ}近クハ^{キタノテンジン}北野天神、コレ、^{アカシ}ソノ證ナリ。

『大成経』ニ曰ク、「^{イザ}トキニ去来（1：16ウ）^{ナギノミコト}諾尊、ステニ

^{イザナミノミコト}去来^{ワカレマ}再尊ト^{フカ}別^{ナゲ}シテ、^{イフカシミラボシメ}深ク^{ミツ}歎^ミキテ^ミ不^ミ審^ミ慮^ミス。神ノ身ニ⁹¹三ノ躬アリ、

^{コタワリ}理ノ躬、^ミ氣ノ躬、^{イキ}精ノ躬ナリ^{タナ}92。ソレ、^イ理ノ躬ト^{ヒサカタ}謂フハ、^{モト}久方ノ元ア

^{エン}ラス⁹³ノ^{セイ}縁、^{キョク}生、^{エキ}極、^{テイ}易、^{テイ}定⁹⁴、コレナリ⁹⁵。

88 We have inserted the particle *nomi* at this place in view of the parallel passage in the Ise Bunko *bon*.

89 No such compound is attested in the dictionaries.

90 In our manuscript, the character is written with the *koromo hen*: Mor. X: 34221. It is more likely, however, that the same character with *shimesu hen* is intended.

91 We have inserted the three characters 於神身 on the basis of the parallel text in *Taisei-kyō*; cf. *Honkoku*, note 110.

92 These readings follow the *furigana* given in *Taisei-kyō* (*Kōsen hongī*), edn 1679, 4:2a, the character 理 is given the *furigana* (*kotowa*)*ri*; 氣, the *furigana* *iki*; and 精, the *furigana* *tana*. The meaning of this last word is unclear. It is not attested as a reading of the character, nor does it exist as a Japanese word other than in the meaning "board, shelf." Perhaps it is intended as a pseudo-archaic form of *tane* 種? Furthermore, this edition of *Taisei-kyō* omits the particle *no*, which in our manuscript connects these characters to the character 躬. We have decided to maintain it.

93 The reading *hisakata no moto arasu no ...* follows *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2a. The word *arasu* is attested in the meaning of "to bring forth, to bear," in which case "the origin in heaven" should be the subject. Otherwise, one could read *hisakata no moto [yori] kore ari ...*

94 Ise Bunko *bon* and *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2a, specify the readings *yozashi - nari - kiwamari - kawari - sadami*. Of these five, *yozashi* and *sadami* are not attested in the dictionaries. *Sadami* could be a dialectal mistake for *sadame*. *Yozasu* (with *nigori*) does not exist (*yosasu* does, but not in relevant meanings). It just might be a mistake for *kizashi*?

95 See *Honkoku*, note 111. The reading *kore nari* is given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2a. In view of the parallelism in the following sentences, there is much to be said for this interpretation.

神ハ^{コトワリ}理ニオケル^{ソウレイ}總^{ココロ}霊ナリ。心ハ、コノ理ノ^{セイ}性⁹⁶ナリ。氣ハ、コ
ノ理ヲナス身ナリ。^{サカヒ}境ハ、コノ理ヲナス^{トコロ}處ナリ。

心、^{イツツ}五ヲ言ハザルモノハ、イマダ^{ワカ}分チテ^{アラ}現ハレ^{ホドコ}施サザルナリ。

氣ハ、^{ヲサ}攝メ^イ納レタレバ、マタシカリ。神ハ、元ニオレバ^{ワカタ}別ラズ⁹⁷。境ハ、

^{ウツカクレ}虚密ニ入ル。タダ^イ理ノ^{ノリ}ミ^{ツキ}98、^{アラハ}法ニ即テ^オ現ル。ユエニ、コレヲ^オ押シテ、

^{カタチ}狀ヲ^ト取ル。

ソレ、イマダ^{アメ}天ノ^{おこ}興ラザル^{サキ}先ニ、^{トコヨノクニ}常世國アリ⁹⁹。神ハ、ミナ、コ

レ、理ノ躬ナリ。ユエニ、^{ホシ}欲ミナク、^{マド}迷ヒナシ。ユエニ、^{イノチ}壽ノ^{ヲハ}終ル^{トキ}期

ナシ¹⁰⁰。始メノ^{ハジ}天^{アマツミオヤ}祖ノ躬、コレナリ。ミヅカラ^{マミ}見ヘント^{ホリ}欲セザレバ、

神モ、^ミ見ルコトアタハズ。

(1 : 17オ) ^{アメナ}天生リテ^{ナリマス}ノチ、マタ^{ナリマス}生神ハ、コノ理ノ躬ヲモツ

テ、^{アメノミナカ}天中ニ^{キタ}來リテ、^{アメノタナイキ}天精氣¹⁰¹ヲモツテ、神ノ躬ヲナシテ、^ア生レマス。

ソレ¹⁰²、理ノ躬ヲモツテ、^{カンミタマ}ソノ神魂¹⁰³トナス。ソレ、氣境ヲモツテ、

⁹⁶ *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2a, reads 總靈 as *sube-mitama* and 性 as *sanako*. The word *sanako* does not exist; there is *sanago*, but the meanings ("the bran that remains after one has winnowed rice powder; pumpkin seed") hardly meet the case. Possible *kun-yomi* of the character are *saga* and *tachi*.

⁹⁷ The reading *wakatarazu* is specified in Ise Bunko *bon* and in *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2a. The verb *wakataru* is not attested in the dictionaries.

⁹⁸ *Nomi* is not specified either in our manuscript or in *Taisei-kyō*, edn 1679. We have decided to insert it, nevertheless, in view of the context, as counterpart to *tada*.

⁹⁹ *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2a, has the character 在 instead of 有, and reads: *tokoyo no kuni NI ari*.

¹⁰⁰ Emended and read according to the text and *furigana* of *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2a.

¹⁰¹ These three characters are read according to the *furigana* of *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2b.

¹⁰² The *okurigana* of *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2b, indicate *sono* or *sore no*.

¹⁰³ Both Ise Bunko *bon* and *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2b, read 神魂 as *kanmitama*. We have followed that reading.

カミノミ
ソノ神身トナス。コレ、^{イキ}氣^ミノ^イ躬ト道フ。七代ノ^{ナナツギ}天^{アマノミオヤ}祖¹⁰⁴、コレナリ。天、
ヲハ
終ルトキハ、スナハチ、身モ¹⁰⁵終ル。

コタワリノミ
ソノ理^{イキノミ}躬ヲモツテ、マタ、^{カゾイロ}氣^イ躬ヲモツテ¹⁰⁶、^{カゾイロ}父母ノ^イ氣ニ入リテ、
ソノ^{タネ}氣ヲモツテ、^{ヨリ}身トナス。精¹⁰⁷ニ^ア依テ^マ生^{カミ}レ^{カミ}産ス神、コレヲ精ノ躬ト謂
フ。ユエニ、天ニ^{サキン}先^アジテ^ウ終ル。吾ガ^{カンタチ}生メル神等、コレナリ。

氣ノ躬、精ノ躬ハ、身終ルトキハ、スナハチ、理躬ト^ナ成^{トガ}ル。咎ア
ラバ、成ラズシテ¹⁰⁸、^{ヨモツノクニ}黄泉國ニ^ユ販キ、咎ガナクンバ、成リテ、モツテ
ヨコヨ
常世ノ國ニ^{カヘ}還ル。」

イハ
マタ曰ク、大成經十卷卅四葉ノ裏ニ曰ク、「^{ソウゲンダウ}宗源道¹⁰⁹ハ、^ツ盡ク
ルコトナキ^{アヤシモノ}靈物、（1：17ウ）^{キハマ}窮リナキノ^{シルシモノ}識物¹¹⁰、^{ノトリキハ}法極ムル
コトハリモノ
斷物、^{ミチウゴ}滿動ク^{モトツモノ}元物、コレ、^{ミナ}皆、^{ウチツモノ}内物ニテ、^{ヒト}一ツ物ノミナリ。シカル
ニ、^{ソトツモノ}外物ヲ^ナ成シ、^{シャウ}世ノ物ヲ^{シヤウ}生ス。中ニオイテ一ツノ物アリ¹¹¹、^{タマ}靈ナク
シテ、^{ムナシモノ}虛物ナリ。^{イロ}色ヲ^タ絶チ、^{オト}音ヲ^{オト}絶ツ。絶チ絶チテ、似ルコトアリ。
カヘ
還リテ^{モロモロノミタマ}衆^{リヤウ}靈ヲ^{モロコト}領シテ、^{コンリフ}一切ヲ^{コンリフ}建立ス。ソノ一物ノ名ハ、理ナリ。

104 These four characters are read according to the *furigana* of *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2b.

105 We have inserted *mi mo* on the basis of of *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2b.

106 *Taisei-kyō*, edn 1679, omits the characters 又以氣躬.

107 This time, *Taisei-kyō*, edn 1679, 4:2b, gives the reading *tane* instead of *tana*!

108 Ise Bunko *bon* and both editions of *Taisei-kyō* that we have consulted omit the two characters 不成.

109 *Taisei-kyō*, edn 1679, 10:24b, reads these three characters as *taka-tsu-mimoto-no-michi*.

110 We assume that the *no* in our manuscript is not an *okurigana*, but a reminder that the character 物 must be read *mono*, after the pattern of *ayashimono* at the end of the preceding page.

111 The reading 中ニオイテ一物アリ is given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 10:24b. It makes much better sense than the reading indicated by the *kaeriten* in our manuscript: 「一ツノ物ノアルナカニ」. We have emended accordingly.

マヨサシ クラミナリ ハルカキハマリ カスカカフ タエサダマリ シナ と ワカ イツツ
真縁、冥生、玄極、幽易、妙定、品品ニシテ分り、五ニシテ、

タダ、一ツナリ。コレ、^{ソツモノ}外物、^{イクモノ}幾物ニシテ、^{バンブツ}サラニ、萬物トナル。

「^{シンケイ}神形、^{サウネン}定マラス。アルトキハ^{ラウネン}壯年、アルトキハ^{ドウギヤウ}老年、^{ドウギヤウ}童形、

^{チョザウ}女像ニシテ、^{アラミタマ}タダ時ニ依ルノミ。^{ニキミタマ}荒魂、^{バケミタマ}和魂、^{シナ}術魂ノ品、^{オノオノケイシツ}各形質

^{コト}異ナルナリ。^{ヲノカミ}雄神トモ、^{オホ}和魂ハ^{オミナガミ}女像多シ。^{ヲトコカラダオホ}女神モ、^{ヲトコカラダオホ}荒魂ハ^{ヲトコカラダオホ}男体多シ。

^{サキミタマ}幸魂ハ^{タイ}大（1：18オ）^{テイニンギヤウ}底人形、^{クシミタマ}奇魂ハ、^{タブン}多分ハ物ノ^{カタチ}姿ナリ。^ワ吾ガ

^{オホミカミ}太神ノ^{カタチ}状ハ、^{ソンチャウ}ナカンヅク^{タメンタシュ}尊長ニシテ、^{イジャウ}多面多手、^ヨ魂ノ^ヨ異状ニ依ル」。

ナンヂガ^{ハイ}輩、^{ワガクニ}吾邦ノ^{シンメイ}神明ヲ^{タフト}貴ビテ、^{イコクキンダイジャジュ}異國近代邪儒ノ^{イコクキンダイジャジュ}説ヲ^{イコクキンダイジャジュ}貴ブコ

トナカレ。

^{リンシ}林氏、『^{ズイヒツ}隨筆』ニ曰ク、「^{イハ}或^{アルヒトト}問フ、『^{シンタウ}神道ト^{ジュダウ}儒道ト、^{シンタウ}イカガシテ、^{ジュダウ}コ

^{ワカ}レヲ^{ワカ}別タン』。曰ク、『^{ワレヨリ}ワレヨリ^ミコレヲ^{コトハリ}觀レバ、^{ヒトツ}理ハ、^{ヒトツ}一ノミ。ソ

^{ワザ}ノ^{コト}爲、^{モリヤノオホムラジ}異ナルノミ。ソレ、^{モリヤノオホムラジ}守屋大連

《^{モリヤボツ}守屋没シテ、^{シンタウオコナ}神道行ハレズ。^{クウカイイ}空海出デテ、^{シンバフホロ}神法亡ブ》

^{ボツ}没シテ^{シンタウオコナ}神道行ハレズ。^{クウカイホフシイ}空海法師出デテ、^{シンバフ}神法^{ホロ}タチマチニ^{イトン}亡ブ。異端ノ

^{ガイ}害タルヤ、^{ダイ}大ナリ』。曰ク、『『^{ニホンギ}日本紀』^{ジンダイ}「神代ノ書」、^{ショ}周子『^{シュウシ}太極

^{ズセツ}ノ^{アヒヘウリ}圖說』ト、^{ズセツ}相表裏スルヤイナヤ』。曰ク、『^{ズセツ}ワレ、^{ズセツ}イマダ^シ知ラズ。ア

^{ワウダウ}ア、^{ワウダウ}王道、（1：18ウ）^{ヒトタビ}一^{ヘン}112^{ヒトタビ}變シテ^{ヒトタビ}神道ニ至ル。神道、^{ヒトタビ}一^{ヒトタビ}變シテ

^{ワウダウ}道ニ至ル。道ハ、^{ワウダウ}ワガイハ^{ジュダウ}ユル^{ゲダウ}儒道ナリ、^{ゲダウ}イハユル^{ゲダウ}外道ニハアラザルナ

112 We could, of course, read *ippen-shite*, as does *Bunshū* vol. 2, p. 360b, but in our manuscript, we have the *okurigana hi*, which indicates the reading (*hitota*)*bi*.

リ。外道ハ、佛道ナリ。佛ハ、仁義ノ路ヲ充チ塞グ。悲シキカナ、天下ノ久ク、ソノ道ナキコトヲ』」、ト。

林氏、神儒、一理ニシテ、佛道、外道ナリトイフ。ヨ、ソノ意ヲ

料リ想フニ、釈氏、妻女ヲ對セザルガユエニ、五倫ノ外ナリ。神儒ハ、

妻子ニ對スルガユエニ、一同ナリ。苟モシカレバ、ナンヂニ問ハン。

儒ニ甚キトナス太伯、伯夷アリ、妻子ヲ對セザルヤ。神ニ甚キトナ

ス高貴皇尊、月夜誦尊¹¹³、妻子ヲ對セザルヤ。トクニ釈氏、四部ヲ分

チテ、弟子ニ教ヘ、曰ク、比丘、(1:19オ)曰ク、比丘尼、曰ク、

優婆塞、曰ク、優婆夷、ト。比丘、比丘尼ハ、出世ノ法ニシテ、

二百五十戒五百戒ヲ受持ス。在家ヲ教化スルガユエニ、妻子ヲ對セズ。

優婆塞、優婆夷、三皈戒ヲ受持シテ、國ヲ治メ、家ヲ齊フルガユエニ、妻子ヲ對セザルハナシ。

ケダシ、五戒ハ、五常ト等。ナンヂ、釋氏、在出一同ニ妻子ヲ

114對セズシテ、五倫ノ道ナシト思フガユエニ、シカ云フ。神ノ明神、

儒ノ明德、釋ノ妙心、スナハチ、コレ一般ナリ。ナンヂ獨、神儒一理

ニシテ、釋ヲ別トス。釋ノ妙心、神儒ノ明神、明德ト、何処ニカコレ別

113 The character combinations with which the name of the first deity is written cannot be found either in *Taisei-kyō*, or in *Nihon shoki*, or in *Wikipedia Japonica*, but the Ise Bunko *bon* supplies the *furigana ka-ka-mi-mu-su-hi-no*. In view of the character, the first *kana* should be read *ta*. The reading is our best guess. The name 月夜見尊, however, appears in various fascicles (3, 4, 5, 10 etc.) of *Taisei-kyō*, and the reading is rather obvious.

114 Usually, *tai-suru* takes an indirect object (*ni*), not a direct object (*wo*). Here, however, we have the particle *wo* thrice (p. 1:18b line 5-6, 1:19a, line 3, 4), and the particle *ni*, once (1:18b, line 6). Thrice (p. 1:18b, line 7, 8; 1:19a, line 5), no particle is specified.

ナルヤ。ナンヂ、儒ノ明德アカヲ明サザルガ（1：19ウ）ユエニ、別トシテ、コレヲ言フ。

神道灌傳シンタウカンデンノレイソウ灵宗ハ、ヒヒチュウ秘秘中ノ秘トイヘドモ、ナンヂガゴトキ心盲者シンモウシャノタメニ、コレヲ記ス。初メ、ハジ晦日ノ月ハ凡夫ノ心、朔日ノ月ハ、學者ノ心、二日ノ月ハ、理者ノ心、三日ノ月ハ、善人ノ心、四日ノ月ハ、美人ノ心、五日ノ月ハ、大人ノ心、六日ノ月ハ、聖人ノ心、七日ノ月ハ、至人ノ心、八日ノ月ハ、真人ノ心、九日ノ月ハ、仙人ノ心、十日ノ月ハ、コウシン后神ノ心、十一日ノ月ハ、アマツカミ帝神ノ心、十二日ノ月ハ、クワウシン皇神¹¹⁵ノ心、十三日ノ月ハ、ソンシン尊神ノ心、十四日ノ月ハ、ソシン祖神ノ心、十五（1：20オ）日ノ月ハ、クワウシン過神ノ心ナリ。

ケダシ、クワウシン過神ハ、ミヤウカク妙覺、クワマン果満ノ佛位ナリ。コノ次第ヲモツテ、コレヲ見ルトキハ、スナハチ、セイジン聖人ノ位ハ、ロクヤ六夜ノ月ニ當ル。神明ノ位ハ、十四夜ノ月ニ當ル。ブツクワ佛果、十五夜ノ月ニ當ル。コレハ、コレシンジュブツ神儒佛ノ用功ヲモツテ、ロン論ズルモノナリ。ソノタイトク體徳ヲモツテ、論ズルトキハ、スナハチ、神儒佛、一理ナリ。

ソレ、モリヤ守屋ハ、ソト外ニハ、神道ヲアガム崇ルコトニ似タルトイヘドモ、ウチ内ニハ、神道ヲナイガシロ蔑ニシ、テイキ帝位ヲ移シ、ウツ太子ヲ弑ス。儒道ヲシイ嫌リ、イヤガ學カヲ呵ス。シカルヲ、ナンヂ、守屋、ボツ没シテ、神道、オコナ行ワザルト謂フ。ジツニ、ワラ笑フベシ笑フベシ。神敵皇敵シンテキコウテキヲモツテ善シトナシ、神道ヲ

115 The interlinear note apparently is a correction of the character in the main line, to which it is linked with a curved line: it should be 皇, not 祖. We have corrected accordingly.

オコ
興シ皇道ヲ護ルモノヲ、^{マモ}悪トナス、^{アシ}黑白ヲ分タズ。今、ナンヂニ問フ、

セケン
世間（1：20ウ）^{ライドウ}雷同シテ、守屋ヲモツテ善キ人スルヤ。^{コウボフ}弘法ヲモツ

テ、^{アシ}悪キ人トスルヤ。ナンヂ、^{ヒト}獨リ、^{ワウセツ}横説シテ、善キ人トスルノミ。

マタ曰ク、「王道、^{ワウダウ}一變シテ神道ニ至リ、神道、^{ヒトタビ}一變シテ道

ニ至ル。道ハ、ワガイハユル儒道ナリ」、ト。ナンヂノ^{ショセツ}所説ニ^ヨ因リテハ、

儒道、神道ヨリ高ク、神道ヨリ王道、高ク、モシ、カクノゴトク

^{サンダウコウテイ}三道高低ヲ論ゼバ、^{グモウ}愚蒙ノ^{ジャケン}邪見ナリ。ナンヂ、アニ見ザルヤ。儒ノ

^{カトラクショ}河圖洛書ハ、^{テンチカイビヤクサウセイサウコク}天地開闢相生相尅ノ^ズ圖ニシテ、ワガ國ノ神道ハ、河圖洛書

ノ^{サイショ}最初ノ^{イチスウ}一數ヨリ^{テンジンノナナヨ}出生シテ、^{チギゴダイ}天神七代、地祇五代、コレアルモノナリ。

ケダシ、河圖洛書ノ圖ハ、（1：21オ）^{ショニチ}地神五代ノ初日、神ノ出生ニ

當ルモノナリ。シカルヲ、カクノゴトク^{ミダ}妄リニ、次第ノ^{ロンバン}論判ヲナシ、ワ

ガ國ニオイテハ、神敵ナリ、王敵ナリ。

リンシ
林氏、『放生辨』ニ曰ク、「^{ジュシヤ}儒者、^{リヤウセツ}兩説アリ。^{イツセツ}一説ハ天、^{キンジウ}禽獸ヲ^{シャウ}生

ズルニ、^{モト}本、^{ジンショク}人食トナス。コノ説、^ゼ是ナラズ。アニ、^{ヒト}人、^{ギシツ}蟻虱ノタメ

ニ^{シャウ}生ズル¹¹⁶アランヤ。一説ハ禽獸ハ、人ヲ^マ待チテ生ズ。コレヲ^{コロ}殺スト

キハ、スナハチ、^{フジン}不仁ナリ。コノ説モマタ、シカラズ。

^{チカラ}《力ニ^カ勝チテ^{クラ}食フベシ》

116 The *okurigana* given in our manuscript cannot be correct. We have emended them, following the *okurigana* in in Razan's *Bunshū*; see *Bunshū* vol. 1, p. 302-303.

タイテイ チカラ 大抵、力、ヨクコレニ勝ツモノハ、ミナ、食フ¹¹⁷ベシ」、ト。<已上、
林氏><下ニ彈ス>

モシ、ナンジガ所説^{ショセツ}ノゴトク、力^{チカラ}ヨクコレニ勝テバ、ミナ、モッ
テ食フベシ。今、大鬼^{オホオニ}アリテ、人ヲ食ハバ、イカガ。可トナサンヤ。

フカ^{フカ} (フカ) ナサンヤ。佛^{ホトケ}ノ世、鬼子母神^{ヨキシモジン}、兒ヲ食ヒ、ワガ邦^{クニ}ノ酒^{シュ}
(1 : 2 1ウ) 天童子^{テンドウジ}¹¹⁸、人ヲ食フ、コレナリ。

リンシ、『易傳』ヲ引キテ曰ク、「庖犧氏^{ハウギシ}ノ天下ニ王タルヤ、結繩^{ケツジョウ}ヲ作^{サク}
シテ、網罟^{マウコ}ヲナシ、モッテ佃^{カリ}シ、モッテ漁^{ギョ}ス。ユエニ歐陽子^{オウヤウシ}曰ク、『庖
犧氏、ソレ始メテ民ニ教へ、物ヲ取りテ生ヲ資ケ、モッテ萬世ノ利トナ
ス¹¹⁹。コレ聖人トスルユエンナリ』」ト。<已上林氏><下ニ彈ス>

ケダシ、庖犧氏^{ハウギシ}ハ、漢土^{カンド}ノ人間^{ニンゲン}、最初^{サイショ}、衣裳^{イシヤウ}ナキヲモッテ柴葉^{サイエフ}¹²⁰
ヲ綴リテ、コレヲ被ル。五穀^{ゴコク}ナキヲモッテ禽獸^{キンジュ}ヲ取りテ、コレヲ食フ。
ソノ衣食^{イシヨク}ヲ乏^{トボシ}クシテ死ヌヲ忍ビズ。ユエニ、コレガタメニ佃漁^{デンギョ}ス。シ
カルニ、歐陽子^{オウヤウシ}ハ、民ヲ教へ、物ヲ取りテ生ヲ資ケ、モッテ萬世ノ利ト

117 We have changed the *okurigana* to *fu*, according to the text in Razan's *Bunshū*; see *Bunshū* vol. 1, p. 303a.

118 The correct way to write this name seems to be 酒呑童子; see the lemma "Shūten dōji" in Wikipedia Japonica.

119 In our transcription, we have followed the *okurigana* given in *Razan bunshū* (vol. 1, p. 303b); there, the indicated reading is: *sore hajimete tami ni oshie mono wo tori sei wo tasuke, motte, bansei no ri to nasu*. The *okurigana* and *kaeriten* in our manuscript are clear; if we followed them, the transcription would be: *sono hajime wo tami ni oshiuru ni, mono wo torite sei wo tasuku. motte bansei no ri to nasu*. Problematic in this transcription are the particle *wo*, which we have emended to the auxiliary *-te* - (N.B. The mistake テ > ヲ is all too common in our manuscript; see also *Honkoku*, note 145), and the *shūshikei* (*tasu*)*ku*, although the sentence evidently still continues.

120 No such compound seems to exist, so the reading is provisional.

ナス。 聖人タルトキハ、スナハチ、^{タウアウ}湯王、^{サン}三（1：22才）^{メンバウ}面網^ア121ヲ開
キ、^{コウシ}孔子、^{テウヨク}釣^{バウシヤ}弋^{マウシ}122ヲモツテシ、^{ハウチュウ}網射セズ、^{トホザ}孟子、^{ハク}庖厨ニ遠ケテソノ食
ヲ食^{クラ}ハズ。ケダシ、コノ三人ハ、ミナ、コレ^{セイケン}聖賢ナリ。ナンヂ、イカガ
トカ^イ謂ヘル。

《^{キンジュウ}禽獸^{ジンショク}ヲ人^ア食ニ當ツ》

^{マツダク}末濁ノ^{ソクジュ}俗儒、^{ココロ}聖賢ノ意ヲ知ラズ、^{ミダリ}妄ニ^{テン}禽獸ハ天ヨリ^{ジンショク}人食ニ當ツト想
フ。オノレガ^{イノチ}命ヲ^{ラシ}惜ムヲ^タモツテ^{ナダ}佗ノ命ヲ怒ムベシ。

^{リンシ}林氏^{イハ}マタ曰ク、「^{フトシ}浮屠氏、^{キンサツ}禁殺スルハ^{ジン}仁ナリ。^ヨ善カラヌニアラズ。シカ
レドモ、^{テンタウサクラン}顛倒錯乱シテコレヲ^{モチ}用ユ。仁ヲスルモノハ、^{カウテイ}孝弟ヨリ^{ハジマ}始ル。
浮屠、^{ゴケウ}五教ヲ知ラザルトキハ、スナハチ、^ア孝弟イヅクカニ在ル。浮屠、
^{モノ}物ニ仁ニシテ、^{ヒト}人ニ仁ニセヌモノナルヤ¹²³」。<已上林氏>

ナンヂ、^ミアニ見ザルヤ。^{センブツショセツ}千佛所説ノ『^{ボンマウキヤウ}梵網經』ニ曰ク、「ソノ
（1：22ウ）^{ハジメ}初、^{カウ}孝ト云フハ^{ヒヤツカイ}百戒ノ^ネ根ナリ。スベカラク^フ父母師長ニ
^{カウジュン}孝順スベシ。ソノ後、^{ヂュウ}十^{ケイカイ}重^ト四十八^{サキ}輕戒ヲ説クトキハ、スナハチ、先ニ
人ニ^{ジン}仁ニシテ、^{ノチ}後ニ物ニ仁ニスルコトハ^{ヒツ}必セリ」。儒者、^{セイチュウ}井中ノ^{カエル}蛙ニ
シテ、^{タイ}[帝]釋天ノ^{トウカイ}東海ヲ知ラズ。^{ミヅカラ}自、儒者ノミ孝アルト謂ヒテ、

121 We have emended the character 羅 to 網; cf. Mor. I: 12-1690. The main reason is that the expression 三面羅 is not attested, while 三面網 is. However, 羅, too, is a kind of net, and the compound 網羅 is attested, so 羅, too, would be possible. The Ise Bunko *bon* also has 羅.

122 We have emended 戈 to 弋; cf. Mor. XI: 40172-59, and *Honkoku*, note 148.

123 This reading differs from the reading suggested by the *okurigana* in *Bunshū* vol. 1, p. 303a. If we follow those, the sentence would read: *Futo mono ni jin arite hito ni jin arazaru mono naru ka*.

釈門ノ孝ヲ知ラズ。儒ニ二十四孝アリ、釋ニモ、マタ二十四孝アリ。

神モ、マタ五孝アリ。神儒佛ノ三道、孝ハ本ナルコト、コレ同ジ。

林氏、『菅諫議圓爾問答ノ辨』ニ曰ク、「圓爾、自、世系ヲ説キテ儒ノ系受ヲ菅公ニ問フ。公、答ヘズ口ヲ箝ム。ナンノタメニカ管公（1：2 3オ）言ハザルヤ。ワレ請ハク、コレヲ述ブルヲ。真言、天台、華嚴、法相、三論、律宗、成實、俱舍ノ八宗ハ、師授ニヨラズ虚説トナス。八宗、ミナ、虚ニシテ、禪宗獨、實ナランヤ。モシ、八宗ヨリシテコレヲ言フトキハ、スナハチ、禪ノイハユル迦葉ノ密附ハナンノ經ニ出ヅルヤ知ラズ。『大梵王問佛決疑經』モマタ疑シ」。

マタ曰ク、「禪ハ師子尊者ニ至リテ絶エヌ。嗚乎、大ナルカナ。

ワガ道統ノ傳ヤ、堯コレヲモツテコレヲ舜ニ傳ヘ、ナイシ朱子ニ至ル。ソノ道ハ『大學』ノ道ナリ。ソノ書ハ「四書五經」、ソノ位ハ君臣、父子、夫婦、兄弟、朋友（1：2 3ウ）、ソノ事トハ格物、致知、誠意、正心、修身、齊家、治國、平天下ナリ。トクニ、コノ心ノ體、人君ノ躬ニ行フノナカ、百姓ノ日ニ用キルノ間ニ隠ル。賢者、ソノ大ヲ識リ、不賢者、ソノ小ヲ識ル。シカウシテ、ソノ全フシテカツ盡クルモノヲ體スルトキハ、スナハチ、ソノ傳ヲ得ルノミ」。

古徳曰ク、「外道聰明ニシテ智慧ナシ」トハ、ケダシ 林氏ノゴト

キモノヲ謂フカ。林氏、博識^{ハクシキ}ニシテ黒白^{コクビヤク}ヲ辯^{ベン}セズ、邪正^{ジャシヤウ}ヲ知^シラズ。ユ
 エンイカガトナレバ、諸宗^{ショシュウ}ノ傳法^{デンボフ}、經論^{キヤウロン}ニヨリ遥^{ハルカ}ニ繼^ツグ。密宗^{ミツシュウ}ハ
 感授^{カンジュ}124ス。ワガ禪宗^{ゼンシュウ}ノゴトキハ的的^{テキテキ}ト相承^{サウショウ}シテ面受^{メンジュ}シ直^{ジキ}ニ傳^{ツタ}フ。アニ
 日^{オンジ}ヲ同^イクシテコレヲ謂^{ダウトウ}ハンヤ。儒門^{ニゴ}ノ道統^{ダウトウ}ト諸宗^{ホリ}ノ道統^{ジツ}ト、ソレ（1：
 24オ）相似^{アイニ}ルヲモツテ、禪門^{メンジュ}ノ面受^{ジキデン}直傳^{ニゴ}ニ渾^{ホリ}サント欲^{ジツ}ス。實^{ホリ}ニ笑^{ジツ}フベ
 キナリ。迦葉獅子^{シャウジュウキ}ノ論^{クハ}ハ正宗^ミ記^ミニ委^ミシ。イカンシテ見^ミザルヤ。モシ禪
 宗^{ダンセツ}、斷絶^{フサウ}セバ、扶桑^{フサウ}大唐^{ダイタウ}ニコノ宗^{ニゴ}アラズ。ナンヂ、イカガトカ謂^{ホリ}フ。

マタ、ナンヂ、儒門^{ツタ}ノ道統^{ゲウシュン}ノ傳^トヘハ、堯舜^{ダウリ}、中^トヲ執^{ダウリ}ルノ道理^{ダウリ}ヲ知
 ラズシテ妄^{ミダリ}ニ『大學』ノ道^{ハチジョウモク}、八條目^{ゴリン}、五倫^{シショゴキヤウ}オヨビ「四書五經」ヲ引^ヒク。
 モシ所説^{ショセツ}ニヨラバ、孔門^{コウモン}十哲^{ジュツテツ}ノ中^{ニゴ}、『大學』ノ道^{ハチジョウモク}、八條目^{ゴリン}、五倫^{シショゴキヤウ}ヲ知^ヒラ
 ヌカ。シカルニ、「孔子^{イツカン}一貫^{イツカン}ノ道^{ニゴ}」、コレヲ傳^{サウシ}フルモノ、アニ曾子^{ソウシ}一人^{ヒトリ}
 ニアラズヤ。

マタ、周茂叔^{シウボウシュク}ヨリ朱子^{シュシ}ニ及^{オヨ}ブマデノ宋儒^{ソウジュ}ノ輩^{トモガラ}ト孔^{ニゴ}（1：24ウ）
 孟^{イツバン}ト一般^{オソ}トナセバ、スナハチ、恐^{テンジャウ}ラクハ天壤^{ヘダタ}ノ隔^{リクテウ}リアリ。宋儒^{ソウジュ}ハ六朝^{リクテウ}、
 漢^{カン}、唐^{ジュシヤ}ノ儒者^{タイ}ニ對^{ダウリ}シテハ、儒^{ニゴ}ノ道理^{ベンメイ}ヲ辨明^{ニゴ}スルコトアルニ似^ヒタリ。シカ
 ルトイエドモ、古人^{コジン}ノ糟粕^{サウハク}ヲ啜^{スス}ツテ、一句^{イツク}モ自己^{ジコ}ノ襟胸^{キンキョウ}ヨリ流^{リウシュツ}出^スス
 ル語^ゴナシ。宋儒^{ニゴ}ノ中^{ナニビト}、何人^{セイケン}カ聖賢^{キシヤウ}ノ氣象^{ニゴ}アルヤ。佛法^{ムリ}ヲ知^{ムリ}ラズ無理^{ムリ}ニ
 誹^{ヒバオ}謗^スス。コトゴトクコレ聰明^{ソウミヤウ}ニシテ智慧^{タグヒ}ナキ類^{ニゴ}ナリ。

タイウキンドノ ニックワウ ベウ エツ ツギ クリハシ イタ トキ インベ タンサイ イ
大猷院殿、日光ノ廟ニ謁ス。次テ栗橋ニ到ル。時ニ忌部ノ丹齋¹²⁵ト云

フモノアリ。聖徳太子ノ選ブトコロノ『先代舊事本紀』ヲ携フルヲ、

アベブンゴノカミ デンカ ケン タテマツ メイ カウフ マワ
阿部豊後守ニヨリ殿下ニ献ジ奉ル。サラニ丹齋ニ命ジテ江府ニ回ラシ

ム。(1:25オ)殿下、日光ヨリ還府ノ後、林氏ヲシテコノ書ヲ覽セ

シム。林ガ曰ク、「コノ書ヲ一覽スルニ、太子ノ時ニナキトコロノ字¹²⁶、

オヨビ、『大學』ヲ讀ムノコトアルヲモッテ、偽書タリ」ト、コレヲ奏

ス。モッテコノ書ヲ丹齋ニ返シ、丹齋、大ニ發嗔¹²⁷シテ、スナハチ、時

ニ書ヲ焚ス。

余、林氏ノ偽書ト謂フノ意ヲ考フルニ、カツニ義アリ。コノ書、

真至ノ所説ナリ、ユエニ記人ノ見ル力オヨビ難キ、コレ一ナリ。コノ

書トカレガ編スルトコロノ神書詩文ナドト、大ニ相違アリ、ユエニシカ

云フ、コレニナリ。コノニ義ノナカニオイテ、恐ラクハ後説ヲ免レザ

ルモノカ。

ソレ、ワガ國ノ三部神書ハ、『舊事紀』、『古事記¹²⁸』、

『日本紀』ナリ。(1:25ウ)コノ三書ノナカニオイテ、天神七代ノ

神名、コトゴトクモッテ相違ス。シカルニ林氏、博識ニシテ、コレヲ訂

125 We have emended the character 齋 to *sai* 齋.

126 We interpret the phrase 所無字 as 所無之字 - *naki tokoro no ji*. Otherwise, one would have to read *ji naki tokoro oyobi daigaku wo yomu no koto aru wo motte, ...*, which would mean "Because there were the matters that there were no characters and of [him] reading the *Daxue*, ..." As it was a matter of record that characters *did* exist in the days of Shōtoku, this cannot possibly be the intended meaning. We will, therefore, interpret the phrase as "characters that did not exist in the time of the Crown Prince."

127 We have emended the character; cf. *Honkoku*, note 176.

128 We have changed 紀 into 記; cf. *Honkoku*, note 177.

サズ。『舊事紀』ヨリ五十年^ゴ後、編^{ヘン}スルトコロノ『古事紀』ヲモツテ、
マタ『舊事紀』ヨリ百年後、編スルトコロ『日本紀』ヲモツテ^{ショウコ}證據トナ
シテ、モツテ『神社考』、詩文ナドニコレヲ書ス。

ナンヂ、コノ『日本紀』^{ジンダイ}「神代」ノ^{ニカン}二卷、コトゴトク^{ツウカイ}通解シテ^{ウタガ}疑
ヒナキヤイナヤ。^{ココン}古今、^{ガクシャ}儒釋神道ノ學者、コノ書ノナカ、^{アルセツオホ}或説多クシテ
^{カイ}解ヲナシ^{ガタ}難シ。シカルニ^{キンダイ}近代ノ^{ユイツシントウ}唯一神道ノモノハ、^{シュシュ}種種ノ^{ジャカイ}邪解ヲ^{マウ}設ケテ
^{カウゼチ}講説ヲナシ、^{キセン}貴賤ヲ^{タブラカ}誑ス。太子ノコノ書ノゴトクンバ、スナハチ、
^{サンブ}三部ノ神道アリ。曰ク^{ソウゲン}宗源、曰ク^{サイゲン}齊元、曰ク^{レイソウ}灵宗。コノ（1：26才）
三部、一部オノオノ^{ニジフニデン}二十二傳アリ、都テコレ^{スベ}六十六傳ナリ。^{ロクジフロクデン}灌傳シテ
^{クワンデン}六十六ノ秘傳ヲ^{ヒデン}受ケズシテ、^ウ偽作ト謂ヒ、^{ギサク}妄説ト謂フ、^イアニソレ^{パウセツ}可ナラ
^カンヤ¹²⁹。」

林氏、『隨筆』ニ曰ク、「我カ朝ハ神國ナリ。神道ハ、スナハチ、王道
ナリ。^{ヒトタビ}一^{コウギヤウ}佛法興行シテヨリ後、王道神道、都テ、^{ノチ}擺却シ去ル」、ト。

林氏、口ニハ神國ヲ説キ神道ヲ論ズルトイヘドモ、心ニハ神國ヲ
^{カロ}輕ンジ神道ヲ^{ナイガシロ}蔑ニスルコトヲ有ス。スナハチ、ソノ^{イウ}證ヲ出サン。ナ
ンヂ、^{ニホンギ}『日本紀』^{ジンダイ}神代ノ書、太子ノ^{クジキ}『舊事紀』ヲ見テモ、コノ國ノ
^{シュツシャウ}出生ノ¹³⁰詳畧ヲ^{シャウリヤク}究メズシテ、カヘツテ^{キハ}委ク異國ノ^{クハシ}131『史記』ヲ視

129 This section is also transcribed and commented upon by Sonehara; see his "Edo-jidai no shūgō shisō," pp. 322-323.

130 The *okurigana* clearly is *shite*, but *shusshō-shite shōryaku wo kiwamezu* makes little sense. We have therefore decided to read it as *no*.

131 The *okurigana* indubitably is *ha*; we have substituted the particle *no* on the basis of Ise Bunko *bon*.

ル。タダ、カノ（1：26ウ）國ヲ貴^{タツト}ブコト、アニコレ神國ヲ輕ンズルニアラヌヤ。

《^{リタウ}理當神道》

マタ、ナンヂ^{ミヅカラ}自「理當[心地]神道」ノ書ヲ造リテ、カヘッテ『先代舊事紀』ヲ見ズ、^{ジンダイスイグワン}神代水灌^{ヒデン}132ノ秘傳ヲ受ズ。アニコレ神道ヲ蔑ニスルニアラヌヤ。

余、ナンヂガ^{ヘン}編ズルトコロノ「理當[心地]神道」ノ書ヲ見ルニ、^{コトゴト}悉ク、コレ、^{オウジン}應神天皇ノ時、^{トキ}入朝セル^{ニフテウ}儒者^{ワニ}王仁ガ解説ニシテ、ワガ國ノ神道、カツテ、^{フガフ}符合セザルモノナリ。王仁、ワガ邦^{クニ}ノ神道ヲ解説シ、^{ウヂ}宇治ノ太子^{クハシ}委クコレヲ^{ヘキヒ}闢^{クンカイ}誹セリ。コレヲ宇治ノ訓解ト謂フナリ。アニコレ王道神道ヲ擺却センヤ。

マタ曰ク、「佛法興行ノ後^ゴ、王道神道擺却シ去ル」、ト。ワレ、ナンヂガタメニコレヲ^{ワキマ}辯^{ヘン}ヘン。ソレ、ワガ國、^{カイビヤクイワウ}開闢以^{ワクン}往、推（1：27オ）古ノ朝ニ^{イタ}到リテ始メテ、太子、漢字ヲ和訓シ、ワガ國ノ人、^{ヤウヤク}漸異國ノ^{ジュシヤク}儒釋ノ書ニ^{ツウ}通ズ。異國ノ人、ワガ國ノ神道ニ通セザルコトヲ恐ルルガユエニ、^{シンジ}神字ヲ^{ヒルガ}翻ヘシテ漢字ニシ、『先代舊事紀』七十二卷ヲ作ル。^{フカウ}不幸ニシテ、^{イルカ}入鹿、日本ノ國紀ヲ^ヤ焚クノ後、^{ノチ}馬子ハ^{ウマコ}『舊事紀』、^{ヤスマロ}安丸ハ『古事紀』、^{トネリ}舍人ハ『日本紀』ヲ、^{ゼンゼン}漸漸ト^{ザウセイ}造成ス。

132 This compound derives from a passage in *Taisei-kyō* 15 (*Tenson hongī*): 「天孫熟閑思之、『世下神邪、若為非善法難救之。』依作水灌法。」. For an explanation of *suikan no hiden* and *suikan no hō*, see Translation, note 285.

『日本紀』ノ神道ヲモツテト部ノ家ニ傳フ。弘法、傳教、コレヲ
ト部家ニ受ケテ、^{リヤウ}兩^{オホ}大師、多ク神書解釋ノ書ヲ造ル。シカルヲ佛法興
行ノ後、王道神道擺却ス、ト。イツクカ、コレ、擺却ノトコロナルヲ知
ラス。カヘツテ、王道神道ヲ^{フジョ}扶助スル（1：27ウ）モノヲモツテ擺却
ストナスカ^{オモ}133。余想フニ、王道神道ヲ擺却スルモノハ、ナンヂニ^ス過グル
モノアルベカラザルナリ。

林氏、『『^{ゲンカウシヤクシヨ}元亨釋書』ノ辯』ニ曰ク、「本朝僧史ノ^{ケンヨ}權輿カ。ワガ道、
ナンスレゾ人ナキノ、カクノゴトクナルヤ。師鍊、^{シレン}庶幾^{ネガ}フ^タ134ニ足リズ。
儒者ノ^{コトバ}言^カヲ借リテ、モツテ、佛氏ノ說ヲ^{カザ}文ル。アニ、ヒトリ虎関ノミ
ナランヤ。「^{ダイザウキヤウ}大藏經」五百餘^{カン}函^{ブン}ノ文、ミナ、コレ、ワガ^{モジ}文字ヲモツテ、
コレヲ借ルルノミ。ナホ、^{ヌスビト}盜¹³⁵ノ主人ニオケルガゴトシ。剽^{ヒョウリヤクセンセツ}掠^ミ僭竊
スルヲ^{タクミ}工トスルノミ」。

ソレ、『舊事紀』、『古事紀』、『日本紀』、『延喜式』ハ、ワ
ガ邦ノ『史記』トイヘドモ、儒（1：28オ）釋ノ學者、コレヲ見ルモ
ノ、^{マレ}稀ナリ。ワガ^{シヤクシヨ}釋書ニオイテハ、儒釋トモニ^{タシナ}嗜ム。學者、コレヲ^ミ視
ザルト云フコトナシ。林氏^{ミヅカライ}自^{エウネン}謂ヘリ、幼年コレヲ^ミ閱ル、ト。ソノ時、
ワガ道、人ナキト謂フ。今、人アリトスルカ。ナンヂノゴトキ^{ジャジュ}邪儒、モ

133 The *okurigana wo* after *fujo-suru* cannot be accommodated, because *fujo-suru* is attributive to *mono*, unless *mono* is not intended to be read. The *okurigana shi*, which would imply the reading (*na*)*shi*, is wrong; a *rentaikei* is needed in front of the question particle. Ise Bunko *bon* has *-n ya* as *okurigana*, indicating the reading *nasan ya*.

134 This reading is based on the *okurigana fu* in the text in *Bunshū* vol. 1, p. 302a. The usual reading would be *shoki-suru*.

135 As the 主人 is a person, it seems appropriate to read 盜 ("thieving") as 盜人 ("thief").

シ、人アリトナセバ、カエツテ、ナキニ如カズ。

マタ曰ク、「「大藏經」ノ文字、オヨビ虎関ノ『釋書』、ミナ、コレ、ワガ文字ヲモツテ、コレヲ借ル、ト。ソレ、「大藏經」、梵字^{ボンジ}ニシテ漢土ニ渡ル。漢土ノ人、梵語^{ボンゴ}ニ通ジガタシ。ユエニ漢字ヲモツテ^{ホンヤク}翻譯ス。漢土ノ人ヲシテ梵書ニ通ジヤスクセシメンガタメナリ。マタ、ワガ邦、神代ノ文字四十八字アルトイヘドモ、聖徳太子、神字ヲ^{ホンヤク}翻譯シテ漢字トナス。『先（1：28ウ）代舊事紀』ヲ編スルコトハ、漢人ヲシテワガ道ニ通ジヤスクセシメンガタメナリ。文字ハ^{ウツハ}器ナリ。モシ、器ヲ借ルルヲ盗トナサバ、今、ナンヂ漢字ヲ借ルルコト、アニ^{ヌスミ}盗ニアラヌカ。虎関、剽掠僭竊トナス。ナンヂガ詩文ヲ見ルニ、悉クコレ剽掠僭竊ナリ。古今、文ヲ造ルモノ、アニソレ然ラザランヤ。

リンシ^{コレタカ} ベン^{イハ} 『惟喬ノ辨』ニ曰ク、「沙門師鍊^{シャモンシレン}ノ書ニ謂ク、^{ショ} ^{イハ} 136『惟喬、惟仁位^{コレタカ} ^{コレヒトクラキ}ヲ争フニ、スナハチ^{ケイバ} 競馬、^{スマフ} 相撲ヲ^{カケモノ} 賭ニシテ惟仁、僧ノ^{コレヒト} 慧亮^{ソウ}ニ^{エリヤウ} 乞ヒテ^ココレヲ^{イノ} 祈ル。惟喬モ^{コレタカ} マタ僧ノ^{シンゼイ} 真濟^{ネガ}ニ^{ハフリキ} 請ヒテコレヲ祈ル。オノオノ法力ヲ^{モト} 求ム。慧亮ノ^{エリヤウ} 持念^{ヂネン}、^{シルシ} 驗アリテ惟仁、^{テイキ} 帝位^{ノボ}ニ^{ケン} 登ル』」。

シカルヲ^{リンシ} 林氏、^{ヒヤウ} 評シテ曰ク、「浮屠^{フト}、ソノ^キ 祈（1：29オ）^{ケン} 驗ヲ

^{ホコ} 夸^トリ説^{キョ}キ^{ミンゾク} 137、モツテ^ハ 虚ヲ^{コウジン} 民俗ニ^{デンエン} 吐^キキ、^{コウジン} 後人ニ^{デンエン} 傳演ス^キ 138」。

136 *Bunshū* vol. 1, pp. 305a, gives the reading *ieraku*.

137 The reading is based on the *okurigana* given in *Bunshū* vol. 1, pp. 305b.

138 If we follow the *okurigana* of *Bunshū* vol. 1, pp. 305b, we should read *kyo wo minzoku ni hoe, kōjin ni tsutae-noburu*. As we said in *Honkoku*, note 190, the character 吐 seems preferable. The expression *kyo* (= *uso, itsuwari*) *wo haku* exists, but the expression *uso o hoeru* does not. The reading *noburu*, too, is wrong; whether we derive it from *noberu* or from *nobiru*, the *shūshikei* is *nobu*.

リンシ ナンジガハイ コウシキユ イノ ヒサ ツミ ウ
林氏、汝輩、ヨク孔子丘ノ禱ルコト久シ、マタ 天ニ罪ヲ獲ルト
キハ、禱ルトコロナキノ二事ヲ記ス。カツテ周公ノ、武王ノ疾ヒヲ禱ル
ノコトヲ知ラズ。モシ聖人、禱ラザレバ、周公ナニヲモツテカ禱ルトナ
サン。「孔子丘ノ禱ルコト久シ」ト、「罪ヲ天ニ獲ルトキハ禱ルトコロ
ナキ」ノ説トハ、門弟ノ輩ニ對シテ、一時、病ニ應ズルノ教ヘニシテ、
實ニ鬼神ニ禱ルコトナキヲ謂ハズ。シカラズンバ、ナンゾ孔子、泰山ヲ
禱シ、社稷ヲ祭り、禹、飲食ヲ菲クシテ、孝ヲ鬼神ニ致スノコトヲ説
カンヤ。唐宋ノ儒者、聖人ノ意ヲ會セズシテ、妄リニ淫祠ト謂ヒ、コ
レヲ詆訾ス。(1:29ウ) 何輩ニコレヲ効ヒテ、爾云フ。アニコレ
ジャウコ
上古ノ聖人ノ意ナランヤ。

サキ ワガクニ ショウトクタイシ シヤクシ シエキ メイ
先ニ吾邦ニオイテ、聖徳太子、釋氏ニ四役ヲ命ジタマフ。一二曰
ク祈禱、二ニ曰ク教化、三ニ曰ク葬禮、四ニ曰ク追善。ナンヂ、役スル
トコロノ第一ヲモツテ、夸説トナス。アア、コレナンノ意ゾヤ。神道ニ
キウテン タ テンジク ブツセツ アタ
九天ヲ立ツ。第九ノ天ノ説、天竺ノ佛説ニ當ル。第五ノ天ノ説、日本ノ
シンセツ カンド ジュセツ
神説ニ當ル。ソノ第一ノ天ノ説、漢土ノ儒説ニ當ル。ユエニ佛ト神トハ、
ジャウテン ショウシュク シルシ
上天ノ説ナルガユエニ、コレヲ誦祝スルトキ、スナハチ驗アルナリ。
儒ノ説ハ下天ナルガユエニ、誦フルトイヘド、驗ナキナリ。亘ナルカナ、
ナンヂ、ワレヲ笑呵スルコトヤ。

リンシ イハ ダイメイ カウムリ
林氏 マタ 曰ク、「ワレ (1:30オ) 台命ヲ蒙テ

『^{ホンチャウヘンネンロク}本朝編年録』ヲ^{シウ}修ス。淳和文徳ノ^{ジュンナモントク}時ニ^{トキ}至^{イタリ}リテ、^{キユウキ}舊記ヲ^{カンガ}考へ、
『^{ウラシマ}浦嶋ガ^{ベン}辨』、『^{コレタカ}惟喬ノ^{ツク}辨』ヲ^{コライ}作りテ、^{ウタガ}モツテ^{ヒラ}古来ノ^{ヒラ}疑ヒヲ^{ヒラ}關キ、
^{シュウジン}衆人ノ^{マド}惑ヒヲ^ト解ク。コノ^{ヘンシフ}ホカ、^ツ編集ノ^{ハツメイ}次イデ、^{オホ}發明スルトコロハ^{オホ}多ク
シテ、^ノ載セテ^{ブンチュウ}ソノ^ア分註ニ^アアリ、イマ、コトゴトク^ア挙ゲズ」139。

^ヨ余ツ^{ツウタン}ネヅ^{ソウテウイライ}ネ^{ショジュ}痛嘆ス^{シヒツ}140。宋朝^{ナラ}以来ノ^{シヒツ}諸儒、^{ナラ}編スルトコロノ^{シヒツ}史筆ニ^{ナラ}効
ヒテ、コトゴトク^{ケツ}神佛ヲ^{ノゾ}刪リ^{ケツ}奇怪ヲ^{ノゾ}除ク。ソレ、日本ハ、^{ゴケンバウ}太子、^{ゴケンバウ}五憲法
ヲ^{ツク}造ルヨリ、^{イワウ}已往、^{サンダウ}三道ヲ^{テンカコクカ}モツテ^{オサ}天下^{ワガクニ}國家ヲ^{ユクシ}治ム。モシ^{オサ}吾邦ノ^{オサ}國史ヲ^{オサ}修
メント^{ホリ}欲セバ、^{サンケ}釋氏、^{ハクシキ}神氏、^シ儒氏、^{シフクワイ}三家ノ^シ博識ノ^シ士ヲ^シ集會シテ^シ國史ヲ
修セバ、^{シウ}平衡^{ヘイカウ}141ト^{シカ}ナス。爾^{イツケ}ニ^{イツケ}セズシテ、一家ヲ^{イツケ}シテ（1：30ウ）コレ
ヲ^{コノ}編セシメバ、オノレノ^{シタガ}好ムトコロニ^{ホシイママ}随ヒ、^{ホシイママ}恣ニシテ、モツテ、
^{ヘンセツ}偏説ヲ^{ツク}造ルコト^{ヒツ}必セリ。

余、^{ノブナガ}信長、^{タイカフ}大閤、^{ミカワ}三河ノ^{サンキ}三記ヲ^ミ視ルニ、^{ジュシ}儒士ノ^{ヘンケン}偏見ノ^{セツ}説ニシテ、
シカモ、コレヲ^{シュクン}造ルナキニ^{ウヤマ}シカズ。ソノ^{ウヤマ}主君ノ^{ウヤマ}敬フトコロノ^{ウヤマ}佛神、コ
トゴトク^{サクチオ}モツテ^{グンキ}刪除ス。吾邦ノ^{グンキ}軍記、^{ジャウコ}スベカラク^{ヘイケモノガタリ}上古ノ『^{ヘイケモノガタリ}平家物語』、
『^{タイヘイキ}太平記』ノ^{ヒツバウ}筆法ニ^{コウセイ}ヨルベク、^{ジャジュ}後世ノ^{ガウキ}邪儒ノ^{モチ}毫規ヲ^{モチ}用キルナカレ。コレ
ヲ^{イマシ}戒メ。コレヲ^{ツツシ}慎メ。ナンヂ、^{ツツシ}發明スルトコロノ^{ツツシ}モノ多シ、コトゴト
ク^{ジャセツ}モツテ^{シャウセツ}邪説ニシテ^ミ正説ニ^{アマ}アラズ。コノ^シ二辨ヲ^シ視ルニ、^シ餘リ^シモツテ^シ知

139 In this last sentence we have followed the *okurigana* of the text in *Bunshū* vol. 1, p. 306a, rather than that of our manuscript.

140 The *furigana* *su*, a *shūshikei*, indicates the end of the sentence. We think, however, that this sentence and the next one form one single sentence. We will translate it accordingly.

141 For the emendation of 衝 to 衡, cf. *Honkoku*, note 197.

ルベシ。

リンシ、^{ウラシマ}コ
林氏、『浦嶋ガ子ノ辨』ニ曰ク、「『丹後風土記』、『浦嶋ガ子、
サンビヤクヨネン^ヘカヘ
三百餘年ヲ経テ帰ル』、ト。『本朝神仙傳』ハ、タダ^イ云フ、『百年ヲ経
テ帰ル』、ト。（1：31オ）ニ説同ジカラズ。『神仙』ノ説ハ
ベウバウクワウコツ^{シン}
渺茫恍惚ニシテ信ズベカラザルナリ」。

聖徳太子ノ『先代舊事本紀』、『^{ユウリヤクテンワウ}アキ
雄略天皇二十二年秋七月、
タニハ^{クニ}ヨナ^{コホリ}ツツカハ^{ミヅエ}フネ^ノウミ^{ツリ}
谿羽¹⁴²ノ國、夜更ノ郡、筒川ノ人、水江浦嶋ガ子、舟ニ乗り、海ニ釣
ス。大龜ヲ釣り得タリ、スナハチ、化シテ美女トナリ。時ニ浦嶋ガ子感
^{オホカメ}エ
デテ、モツテ妻トナス。ツイニ、^{カイチュウ}イ^{ツウ}海中ニ入りテ通ジテ、蓬萊山ニ到リ、
^{シュウセンキュウ}レキト^{ドウヂョ}カヘ^{ツカ}
衆仙宮ヲ歴観ス。スナハチ童女ヲ返シ使ハス。浦嶋ガ子、留リ居リテ
^{ハルカ}カヘ^サ
遥ニシテ、ナホイマダニ販リ去ラズ」。

余、『風土記』、『神仙傳』、『舊事紀』ヲ考フルニ、『舊事
紀』ハ^{サイショ}ニシヨ^イ
最初ナリ。二書ハ後説ナリ。ユエニ『舊事紀』ニ謂ハク、「浦嶋
ガ子、イマダ（1：31ウ）^{カヘ}販ラズ」。二書ニ謂ハク、「スデニ販ル」、
ト。タダ^{アマ}イセツ
タダ三百餘リト百年ト異説アルノミ。

林氏謂ハク、「『神仙』ノ説、^{ヘウバウクワウコツ}
渺茫恍惚トシテ信ズベカラザル
ナリ」。ナンヂハ、吾ノ見ルトコロ、知ルトコロノホカヲモツテ、コト
ゴトクコレ^{マウセツ}妄説トナシ、^{キョサク}虚作トナス。シカルトキハ、スナハチ、ナンヂ、

リュウジン インジョウ リショウ リュウキ キンカウ オウシャ レイイ ワウシツ カンコクレツセン
劉晨、院肇、李少、柳毅、琴高、黄赭、令威、王質ナドノ漢國列仙ノ

コトヲ論^{ロン}ズルコト、ナニゾヤ。アルトナシテ論ズルカ。ナキトナシテ論ズルカ。

マタ林氏曰ク、「聖人、異^{セイジン}ヲ記^イシテ怪^{シル}ヲ語^{クワイ}ラズ」。コノ論、ソノ頭^{アタマ}ヲ藏^{カク}シテソノ尾^オヲ露^{アラハ}スナリ。聖人ノ異^キヲ記^キスルハ、アニ怪^{カタ}ヲ語ラズシテコレナニゾヤ。推古天皇ノ『先代舊事紀』ノ序ニ曰ク、「奇怪^{キクワイ}ヲ用^{モチ}ヒザルハ（1：3 2オ）、君子ノ跡、人倫ノ行^{クンシ}ヒヲ立^{アト}ツルナリ。ユエニ奇怪^{ミヤウヘン}妙^ア變^ス、ソノ有^モルヲ棄^モテテ、史ニ漏^モラスコト多シ。コレ西國、中古^{チュウコ}コノカタノ史法^{シハフ}ナリ。シカモ真人^{シンジン}至^{シン}人^{ジン}ノ蹟^{アト}ニ差^{タガ}フコト、マタ多シ。ソノ國ニオケルヤ、ナホ前後^{オナ}同^{コウシ}ジカラズ。ソノ後史^{ナラ}ニ效^{ジャウコ}フモノ、上古^{アト}ノ跡^{ウタガ}ヲ疑^{グウゲン}ヒテ寓言^{ショウ}ト称^{キョタン}シ、虚誕^{シン}ト謂^シフ。マタサラニ真^カ、至^{オヨ}ニ勝^{ゲンビ}チ、聖人^シ、至^{オヨ}ニ及^シバヌノ玄微^{ジンギ}ヲ知^{レイトク}ラズ。イハンヤワガ神祇、灵德^{ウシナ}ヲモツテ立チ、妙變^{オサマ}ヲモツテ治^{カレ}ルヲヤ。彼ニ同^{ウシナ}ジトキハ、スナハチ、コレヲ失^{ウシナ}ヒ、コレヲ失^{ウシナ}フトキハ、スナハチ、異俗^{イソク}ニ入^{サイゲン}リ、モツテ齋元^{サイゲン}ヲ失^{ウシナ}フ。シカウシテ、齋元^{シツ}ヲ失^{ウシナ}スルモノハ、コレ天^{テン}神^{ジン}¹⁴³ノ罪人^{ザイニン}ニテ、天皇^{エンジン}ノ怨人^{エンジン}ナリ」。

ナンヂ、（1：3 2ウ）ワガ國ニオイテハ、神敵^{シンテキ}ナリ、皇敵^{クワウテキ}ナリ。モシ刑罰^{ケイバツ}ヲモツテセバ、知^{ウシナ}ラズ、五刑^{ハナハダ}ノナカ、甚^{ハナハダ}シキヲモツテコレニア^ア當^{ウシナ}テンヤ。

143 In reading 神 instead of 臣, we follow the correction given in our manuscript; see *Honkoku*, note 209.

扶桑護佛神論卷上終」

(2 : 1 オ)

扶桑護佛神論卷之中」

林氏、『神社考』ノ序ニ曰ク、「中世、寢¹⁴⁴、微ニシテ、佛氏、隙
ニ乗^{ジョウ}ジテ、カノ西天ノ法ヲ移シテ、ワガ東域ノ俗ヲ變ズ。王道、ステ
ニ衰^{オトロ}へ、神道、漸^{シンタウ}廢ル。シカウシテ、ソノ異端、ワレヲ離^{ヤウヤクスタ}テ、立チ
難^{ガタ}キヲモツテ、ユエニ、左道ノ説ヲ設ケテ曰ク、『伊弉諾伊弉冉ハ梵語
ナリ。日ノ神ハ大日ナリ。大日ノ本国ナルユエニ、名ケテ日本国ト曰フ。
アルイハ、ソノ本地ハ佛ニシテ、垂跡ハ神ナリ。大權、塵ニ同ズルユ
エニ、名ケテ權現ト曰フ。縁ヲ結ビ物ヲ利スルユエニ、菩薩ト曰フ。時
ノ王公大人、國ノ侯伯刺史、信伏シテ（2 : 1 ウ）悟ラズ。ツイニ、
神社佛寺ニシテ、混雜シテ疑^{コンザツ}ワシメザルニ至ル。巫祝沙門、同住シテ
居ヲ共ニス。アア、神、在リテ亡キガゴトシ。神、モシ、神ナラバ、ソ
レイカンゾヤ」、ト。

林氏オモヘラク、「佛神本地垂跡ノ説ハ、弘法傳教、私ニ建立
スルトコロナリ」、ト。處處ニコレヲ謗ル。ソレ、コノ本地垂跡ノ義ハ、
三輪明神ノ託言ニシテ、僧家ノ所説ニアラズ。權現ノ始リ、吉野ナリ。
コノ權現、本地垂跡アリ。本地ハ佛、垂跡ハ神ニテ、吉野ノ本地ハ
弥勒大士ナリ。安閑天皇、崩御ノ後、吉野ニ示現シタマヒ、種種ノ奇瑞

144 We have emended 寢 to 寢; see *Honkoku*, note 211.

アリテ、コノ山神^{ヤマガミ}トナリタマフ¹⁴⁵。(2 : 2オ)「ワレハ、コレ^{カリアラカミ}權現神
 ナリ。寶祚^{ハウソ}ヲ護^{マモ}リ、國家^{マモ}ヲ守ル。像^{ザウ}ヲ造^{ツク}リテコレヲ祭^{マツ}レ」、ト¹⁴⁶。マタ、
 コノ權現アルトキハ、スナハチ、奉仕^{ホウシ}ノ役行^{エンノギヤウジャ}者ト云フモノアリテヨリ
 コノカタ、修験道^{シュゲンダウ}ノ山伏^{ヤマブシ}、コレアリ。外^{ソト}、神^{マナ}ヲ學^{ウチ}ビ、内^{シウ}、佛^{シウ}ヲ修ス。
 イマニイタリテ、一天^{イツテン}ニ彌滿^{ビマン}シ、四海^{シカイ}ニ流布^{ルフ}ス。スナハチ、コレ
 天道^{テンタウ}ノ自然^{ジネン}ナリ。イヤシクモ灌傳^{カンデン}ナケレバ、知^シルベカラザルナリ。コノ
 義^ギハ、神道^{シンダウ}極秘傳^{ゴクヒデン}ノモノナリ。シカルニ、林氏^{イハ}謂^シク、佛^{シザウ}ハ私造^シシテ、
 「時^{トキ}ノ王公大人^{ワウコウダイニン}、國^{クニ}ノ侯伯^{コウハク}刺史^{シシ}、信伏^{シンブク}シテ、悟^{サト}ラズ」、ト。ナンヂノ所
 説^ヨニ因^ヨラバ、王公大人^{ワウコウダイニン}ハ、コトゴトクモツテ無智^{ムチ}ニシテ相迷^{アヒマド}フユエニ、
 シカルカ。衆人^{シュウジン}ハミナ醉^エヒテ、ナンヂヒトリ醒^サメタルノカ¹⁴⁷。
 マタイフ、「神社佛^{ジンジャブツ} (2 : 2ウ) 寺^ジ、巫祝^{フシユク}沙門^{シャモン}、混雜^{コンザツ}同住^{ドウチュウ}ス」、
 ト。ソレ、社寺^{フソウドウチュウ}ノ巫僧^{フソウ}同住^{ドウチュウ}スルコト、巫僧^{フソウ}ノ私^{コノ}ニ好^{ヨク}ミテ混雜^{コンザツ}同住^{ドウチュウ}スル
 ニアラズ、スナハチ、コレ、ワガ神明^{シンメイ}ノ託言^{タクゲン}¹⁴⁸ニ因^ヨリテナリ¹⁴⁹。モシ、
 シカラザレバ、アニヨク同住^{ドウチュウ}スルコトヲ得^エンヤ。佛法^{フツ}ハ、ワガ邦^{クニ}ノ神明
 ノ好^{ヨク}ムトコロナリ。ユエニ、國^{クニ}國^{ケン}、縣^{ムラムラ}縣^{イエイエ}¹⁵⁰、村村^{ムラムラ}、家家^{イエイエ}ニ寺^テアリ僧^{ソウ}アリ。

145 Adding the auxiliary *tamau* to the character 成 is the only way to make sense of the *okurigana fu* in our manuscript.

146 As the *meireikei matsure* and the final *okurigana to* indicate, this is a quotation. Apparently, these are the words spoken by Ankan when he first manifested himself in Yoshino.

147 To the extent that the character 者 in 乎者 has any real function, it seems to be that of driving home the point: "Is it the case that ..."

148 The compound 託言 is not attested, and would make no sense in the present context, if it existed. No doubt, 託 is a mistake for 託. We have emended accordingly.

149 Grammatically speaking, the sentence is not constructed correctly. 吾神明 should have been placed between 因 and 託言; it is not the subject of 因, but the source of the 託言.

150 In view of the context, 懸懸 makes no sense. The intended character will have been 縣 (*agata*), which

ジュハフ クニ チジン キラ ガクカウ イニシヘ ショシヨ タ
儒法ハ、コノ邦ノ地神、コレヲ嫌フ。ユエニ、學校、古ヨリ処処ニ建
ツルトイヘドモ、モッテ^{ハンエイ}繁栄シガタシ。

《神、儒ヲ嫌フ》

コレ、スナハチ、ソノ^{アカシオホ}證多キナリ。ワレ、神、儒ヲ嫌フコトハ、
ソノ證ヲ^{イダ}出サン。『^{クジキ}舊事紀』^{イウリヤクテンワウデン}「雄略天皇傳」ニ曰ク、「^{ヤマトヒメ}日本媛ノ^{ミコト}命、
^{モロカミ}諸神ノ^{ツカサナド}司等ヲ^{ツド}集會ヘテ、コレニ^ツ告ゲテ謂ヒテ曰ク、『^{ナンヂシンカンラ}乃神官等、^{マサ}正ニ
ワガ言ヲ^キ聴ケ。異國^{イコク}151、異法ノ（2：3オ）^{ミタマツ}魂竭クルノ^{フシ}教ヘノ^{イキ}氣ヲサ
ヘニ^サ避ケヨ』」、ト。

マタ^{シャウクワウホンギ}「聖皇本紀」ニ曰ク、「^{セキジ}夕時、^{イカルガノミヤ}斑鳩宮ニ^{カヘ}旋リ^{タマ}玉フ。コノ^{ヨル}夜、
スナハチ、^{ユメドノ}夢殿ニ^イ入り玉フ。^{ナカトミノカマノエ}中臣鎌兄、^{キュウジ}給侍ス。^{オサナ}幼キヲ^{デンナイ}モッテ殿内ニ
入ルヲ^ウ得。三更、^{サンカウ}二客、^{ニキヤク}來ルアリ。一口、^{イッコウ}四龍車ヲ^{シリユウシャ}駕シ、一口、
^{セイリュウシャ}青龍車ヲ^{ヨウバウ}駕ス。^{タウタウゼン}容貞、^{ノリモノ}蕩蕩然タリ。^オ乘ヨリ^{ショウヨウ}下リテ、^{アユ}從容トシテ歩ミ
到リテ、^{イタ}北面頓拜シテ曰ク、『^{ホクメントンバイ}天帝、^{テンテイ}臣ヲ^{メイ}命ジテ^{ダイワウ}大王ノ^{ツノ}募リニ^{カナ}稱ヒ使ワ
シテ^{タイシ}152、^{ショウヨウ}モッテ、^{トモ}來リ至ル』。太子、^{レイ}從容トシテ^{ハイ}俱ニ^ウ禮シテ、拜ヲ受
ク。^{ヒサマヅ}客踞^ザ跪キ坐ス。太子、^ツ告ゲテ曰ク、『^{クワジン}寡人、コノ國ニ^{ヤヤ}オイテ、^{コバ}ナン
デラノ道ヲ^{ヒロ}弘メント^{ホリ}欲ス。ワガ國ノ神、^{ヤヤ}動モスレバ、^{コバ}コレヲ^{コバ}掘ム。ナン

is an administrative unit between *kuni* (province) and *mura* (village). We have emended accordingly.

151 Our manuscript inserts the *kaeriten* '一' and the *okurigana wo* at this point, but we have decided to ignore them. Otherwise, it would be impossible to construct the phrase that follows. We take 氣 to be the object of 避, and the words in between, as attributive to 氣.

152 The character *ming* 命 may for practical purposes be interpreted as an auxiliary of the causative; hence (*tsuka*)*washite*. *Kanau* is one of the regular readings of the character 稱.

ヂラ、ワガ國ニ鎮坐シテ、大道ノ興弘¹⁵³ヲ守ル。山代ノ國、平野ノ地、
 ソノ場ニ任ズルノ（2：3ウ）佳地ナリ。ワカ浪花ノ天皇オヨビ菟道ノ
 太子、ナンヂ兩公ト同氣ニテ、相催ス。四神、相俱ニ平野ニ鎮坐シテ、
 宜シク寶祚オヨビソノ大道ヲ護ルベシ』。二客、命ヲ肯ジテ、北ニ向
 キテ去ル。鎌兄、問ヒ奉リテ、『客ハ、コレ誰人ゾ』。太子告テ曰ク、
 『一ハ周公旦、一ハ孔仲尼。寡人、天帝ニ請ヒテ、二大神¹⁵⁴ニ勸請
 セリ』。

須臾¹⁵⁵ニシテ、神使ヒアリ。北ヨリ至リテ啓シテ曰ク、『大鴨ノ
 大神、地ヲ掘ミ、與ズ』。太子、命ジテ曰ク、『大神、慮ルコトナ
 カレ。寡人、スナハチ、コレヲ除ク。宜シク、シバラク虚ニ託スベシ』。
 スデニシテ、太子、夢殿ヨリ出デテ、僧ノ惠聰ヲ召シテ、コレヲ命ジテ
 曰ク、『ナンヂ、山代平野ニ至リテ（2：4オ）地鎮ヲナシテ、神障
 ヲ除ケ』。並ニ、御食子ノ公ニ命ジテ、麻ヲ立テ祠ヲ結ビ神ヲ居ラシ
 ム。」

マタ『未然本紀』ニ曰ク、「新儒、至テ、ワガ儒、微ニナリ、
 牛鹿ノ祠¹⁵⁶リ、數ナリテ、忌齋¹⁵⁷ノ祭り、カツ減ル。ソノ徒、ワガ

153 We have emended the character 與 in our manuscript to 興. Cf. *Honkoku*, note 219.

154 The compound 太神 is not attested. No doubt, 大神 will be intended. We have emended accordingly. We will do the same underneath.

155 A compound 須臾 ("shibaraku sara ni"?) does not exist; following the parallel text in *Taisei-kyō*, we have emended it to 須臾.

156 The character 祠, read *hokora*, generally denotes a shrine or place of worship, rather than the acts of worship (sacrifice > *matsuri*) that take place there. However, in this case, the *okurigana ri* suggests the reading *matsuri*. This reading also better fits the following, parallel sentence.

157 For the reading and meaning of this compound, see Mor. *hokan*: 10310 (p. 301a).

國ノ風ヲ賤^{フウ イヤシ}メテ、カノ黨^{タウ}、異俗^{イゾク シナ}ノ品ヲ貴^{タフト}ブ。佛ヲ謗^{ソシ}ルヲ宗^{ムネ}トシ、神ヲ
嘲^{アザケ コト}ルヲ事^{セウトク}トス。カノ小德^{センワウ}ノ先王^{アガ}ヲ崇^{テン}メテ、天ノゴトクシ、ワガ多德^{タトク}ノ
先皇^{センクワウ}ヲ捨^ステテ、土ノゴトクス。先生^{ツチ}ヲ云ヒテシカリ、先法^{フセ}ヲ云ヒテシ
カリ¹⁵⁸。コノ流^{タグヒ}¹⁵⁹、モシ盛^{サカン}ナラバ、ワガ法^{オトロ}マサニ衰^{フベシ}フベシ。コノ徒、
アルヒハ大^{ダイ}ナラバ、ワガ國^フマサニ伏^{フセ}スベシ。神、コレヲ防^{フセ}グ。ユエニ、
カレラ災^{ワザワヒ}ヲ多^{キラ}クス。神、コレヲ嫌^{ハウ}フ。ユエニ、ソノ方、立チガタシ。」

近代^{キンダイ}、神職^{シンシヨク}ナドコトゴトク云フ、「日本媛^{ヤマトヒメ}ノ命^{ミコト}ノ曰^{イハク}、『佛法
ノ氣^{イキ}ヲ避^サケヨ』」、ト。コレヲモツテ證^{アカシ}トス。(2:4ウ)神儒ヲ學
ブモノハ、佛法ハ神ノ嫌フトコロナリト謂フナリ。

雄略^{イウリヤクテンワウ}天皇ノトキ、佛法^{ブツバフ}、イマダ^{クニ}コノ国^{ワタ}ニ渡^{ラズ}ラズ。

《仏法ノ息ヲ避ク》

イカンゾ^{イキ}仏法^サノ氣^ジヲ避^シクルノ辞^{シンシヨク}アランヤ。神職^{トモガラ}ノ等^{ヤマトヒメ}、『日本媛ノ
世紀^{セイキ}』ヲモツテ證^{シヤウ}トナシテコレヲ言^イフ。コノ『世紀』ハ伊勢^{イセ}ノ五月丸^{サツキマロ}
ガ造^{ツク}ルトコロナリ。ユエニソノ書^{ショ}、雜乱^{ザツラン}コレ多^{オホ}シ。コノ言フトコロハ、
異国^{イコク}異法^{イハフ}ノ魂^{ミタマツク}竭^{ヲシ}ル教^{ジュケウ}ヘノ氣^キヲ避^{キタ}クルトハ、イハユル、儒教ヲ避^{キタ}クルノ
義^ギナリ。儒教ハ應神^{オウジン}天皇^{チョウ}ノ朝^{ツチ}、コノ土^{キタ}ニ来^{キタ}ルモノナリ。コレヲモツテ
知^{カミ}ルベキ、ワガ神^{ジュダウ}、儒道^{キラ}ヲ嫌^{チギ}フコトヲ。マタ地祇^{チギ}、儒道^{コバ}ヲ拒^{コバ}ンデ、コノ
国^{ヤス}ニ安^{ホリ}ラカナラザランヲ欲^スス。

158 The *okurigana* indicates the reading (*shika*)*ku*, but in a sentence-final position, that is impossible. We have, therefore, decided to emend the reading to *shikari*.

159 For this reading, see Mor. VI: 17431, s.v. 12-*he*. In this way, we can also accommodate the *okurigana hi*.

マタ天正年中、朱子ノ『四書ノ集註』オヨビ『五經集 (2 : 5

オ) 註』ナド、コノ土ニ渡ル。惺窩ガ輩、コレヲ読ミテ、コレヲ弘メ

テ以来、儒道興隆シテ儒ノ葬禮ヲモツテシ、儒ノ祭祠ヲモツテス。

災難ニ逢フモノ多シ。勝テ数フベカラズ。『未然紀』ノ説、實ニ誣ヒズ。

マタコノ邦ノ神、仏ヲ好ム。スナハチ、ソノ證ヲ出サン。

『旧事紀』「宣化傳」ニ曰ク、「二年春二月五瀬ノ国、渡會ノ神乳山¹⁶⁰

ニテ、大耀光、國中ニ滿ツ。神官行キテ見ルニ、一人ノ兒アリ、

年度十六、端嚴ニ美麗、娟々尊キコト極リナシ。親キ倚ルベカ

ラズ。シカモ大獸ニ乗り、長一丈、二三咫ナリ。毛ノ色、濃ニシテ

紫ニテ、極メテ猛ク怖キ形ナリ。

スナハチ、皇太神、巫ニ託リ勅シテ曰ク、『コノ客ノ

大神ノ (2 : 5 ウ) 兒尊ノ大神ハ¹⁶¹、辰旦ノ国ノ五峯山嶽¹⁶²ニアリ。

世智中ノ智、世ノ聖¹⁶³中ノ聖、天地ノ師ヘナリ。今、来至キタマフ

¹⁶⁴ヤ、マサニコレヲ崇メ祭ルベシ。非犠キ供ヲモツテセヨ。カノ

辰旦国ニハ八十万ノ歳ノ先ヨリ、コノ兒ノ太神在ユエ¹⁶⁵、文巧ナリ。

¹⁶⁰ In 『三輪流{ネ+首}灌頂伝授録』, composed by 玉映 in 1802, the name appears. It is read *Kami-chiyama*; see the text in *Shintō taikai: Ronsetsu-hen 2: Shingon shintō 2*, p. 365, 18-19. The character {ネ+首} is not attested in the dictionaries, but no doubt is short for *shin-tō* 神道.

¹⁶¹ This reading follows the *furigana* given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 29:31b, and in Henmui's *Jinja chiyō* 神社知要 4, "Koma-inu" 兒馬獸, where the same passage from *Taisei-kyō* is quoted.

¹⁶² The reading *Itsune no Yamatake* is based on *Taisei-kyō*, edn 1679, 29:31b.

¹⁶³ Our manuscript specifies the reading *hitoshi*, but it makes little sense. In *Taisei-kyō*, edn 1679, 29:31b, the reading *hijiri* is given, which is the usual reading of this character, and *does* make sense. The same reading is also given in Ise Bunko *bon*. We have emended accordingly.

¹⁶⁴ For the reading, see *Honkoku*, note 241.

¹⁶⁵ Contrary to what is indicated by the *furigana* in our manuscript and in *Taisei-kyō*, edn 1679, 29:31b,

コレヨリコノ国ニモマサニ文巧ナルベシ。コノ見ノ大神ノ乗リマストコロノ駕獸^{コマイヌ}166ハ稜威^{イツ}167ノ神獸^{カンケモノ}168ナリ。荒ルルノ庶惡神、コレヲ見テ甚^{イト}コレヲ怖ル。正善ノ衆明神^{オソ}169、惡神ノタメニ襲^{オソ}ハルルユエハ、コノ獸ノ形ヲ造リテコレヲ神ノ前ニ置ケルナリ。コノ見ノ尊^{ミコト}ノ来リテワレヲ助ケマス。神威^{カンイキホヒ}増シ、国ノ徳増ス。永久ニ留^{ヒタブル}メテコレヲ祭りタテマツレ』。時ニ見ノ大神スナハチ神身ヲ分ケタマフナリ。譬^{トメ}ヘバ、灯^{トモシビ}ノ(2:6オ)火ヲ分クルガゴトシ。一ツノ躬^ミハココニ逗^{トドマ}リ、駕^ノル獸^{イハ}ハ磐ト化^ナル。見ノ尊^コ、形^{ミコト}ヲ密^{ミカタチ}シテ、一ツノ躬^{カク}ハ空ヲ飛^{ムツノクニ}ビテ奥國ニ至ル。直^{タ、}ニ石ノゴトク成リテ永居^{ナカイマ}ス。ユエニコノ地ヲ永居ト名^ナヅク。」

マタ『欽明天皇傳』ニ曰ク、「丁酉^{ヒノトトリ}170天皇、詔^ツゲテ、神乳山ノ駕獸^{コマイヌ}ノ^{イワ}岩オヨビ見ノ太神ヲ祭ラシム。儀供^{ニヘモノ}ニアラズシテ172コレヲ祭ル。コレヨリサキ、見ノ大神、巫^{カンナギ}ニ託^ヨリテ教ヘテ曰ク、『ワレハ慈^{イツクシ}ミ

where we find the *furigana re*, the character 故 cannot be read as *kore*. Possible readings in the present context are *yue* or *kare* (< *ka-are-[ba]*). We have decided to read the character as *yue*.

166 For this reading, see *Honkoku*, note 243.

167 These two characters are one of the standard ways to write the Japanese word *itsu*, “impressive, awe-inspiring.”

168 In *Taisei-kyō*, edn 1679, 29:31b, the characters 神獸 is read *kan-kemono*. We have decided to follow that reading and ignore the particle *no*.

169 The reading of these five characters follows the reading given in *Taisei-kyō*, edn of 1679, 29:31b.

170 *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:4b, reads these two cyclical characters as *shimo no mika*, meaning “the third day of the last decade of the month 下旬,” i.e., of the ninth month of Kinmei 1. As the first day of this month has the cyclical characters 乙亥, 丁酉 is the twenty-third day.

171 The *furigana* specify the reading *makoinu wo*, but that makes no sense. *Mako-inu* is to be read as *koma-inu* (cf. *Honkoku*, notes 243 and 249), and the particle *wo* must be a mistake for *no*. This is also the way in which the characters are read in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:4b. We have emended accordingly.

172 Above (2:5b, line 2-3), the same three characters 非儀供 were read *kiyoki sonae*. On the other hand, underneath (2:6a, last line), the reading *nie-mono ni arazaru wo ...* is specified. In the present case, although the necessary *kaeriten* are lacking in our manuscript, the *okurigana shite* suggests the reading *nie-mono ni arazu shite ...* This agrees with the *kaeriten* that are supplied in Ise Bunko *bon*.

カナシ 悲 ムコト至リテ深シ。ユエニ肉食^{シシノケ} 173 ヲ樂^{タノシ} マズ。ワレハ、富^{トミ}、度^{タクリヤウ} 量ス
 ルコトナク、祭ニ依リテ身ヲ養^{ヤシナ} 174 ハズ。タダ人ノ志^{ココロザシ} ノ信ヲ受ケテソ
 ノ願フトコロニ應フ。ヨツテ犠供^{ニヘモノ} ニアラザルヲモツテセヨ』。天皇^{カサ} 重ネ
 テ詔シテ曰ク、『コノ神、大^{カン} ニ威^{オホイ} 験^{イキヲヒ} アリマス。皇太神スラ、ナヲ、コ
 レヲ崇^{アガ} メタマフ。祭札^{サイレイ}、ヨロシク、篤^{アツ} ク重^{オモ} カルベシ』。コレニヨリテ重
 クコレヲ祭ル。(2: 6 ウ) 齋食^{イミケ} ノ祭リノ始メナリ。コノ日、並^{ナミ} ニ詔シ
 テ、スナハチ、金峰^{キンブ} ノ権現魂神ヲ祭ル。コレマタ齋食^{イミケ} ノ祭リヲモツテス。
 コノ神、甚^{ハナハダシ} 肉食^{ノケ} ヲ忌ミタマフ。コレヨリ齋供祭礼^{イミモノマツリ} カツ国々^{クニグニ} ノ社^{ヤシロ} ニ發^{オコ}
 ル」。

マタ「壬午^{ミヅノエウマ} 175、天皇、吉野ノ縣^{ヨシノ} ニ幸^{アガタ} シタマフ。勾大兄ノ天皇、
 故^{モト} ノ容^{ミスガタ} ニ^ニ 176 シテ、赤ノ馬ニ駕^{ヤストモノカミ} リテ^{ヒキキ} 177、八十部神^{ハソラ} 178 ヲ將^テ、半虚^{ハンソラ} 179 ニ
 誘^{アヨ} マセ¹⁸⁰ 来リテ、天皇ニ告ゲテ曰ク、『ナンヂノ尊^{ミコト} ノ天皇、久遠ニ謁^{ハルカ} エ
 ザルカナ¹⁸¹。快^{ココロヨ} ク天下ヲ治メタマフカナ』。天皇、慶^{ヨロコ} ビタマフ。禮
 ヲ作りテ兄^{イロエ} ノ天皇ニ白シテ曰ク、『不慮^{マウ} キ、天皇ニ見^{ヲモハザリ} ヘ玉^{マミ} ラント^{タマハ} 182。

173 For this reading, see *Honkoku*, note 252.

174 For this emendation, see *Honkoku*, note 250.

175 *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:8b, gives the reading *naka no itsuka*, i.e., fifth day of the second decade 中旬, i.e. fifteenth day of the month.

176 *Taisei-kyō*, edn 1679, has *ni shite* instead of *shite*; we have emended accordingly.

177 The character 駕 generally means "to drive [a charriot]," but in this case the interpretation "rode a red horse" seems preferable to "drove [a charriot drawn by] a red horse." N.B. The reading *noru* is one of the attested glosses of the character, next to *ga-su*.

178 *Yasu* is a rather doubtful reading of 八十; it should have been *yaso*. In fact, *Taisei-kyō*, edn 1679, does give the reading *yaso*. *Tomo*, however, is quite an acceptable reading of 部.

179 半虚 cf. 半空.

180 *Ayomu* is the equivalent of *ayumu*, and the causative *ayomase* is to be interpreted as an honorific. It is *not* a recognized reading of the character 誘, which is generally read *sasou*.

181 The reading *kana* of the final particle is based on the *furigana* in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:8b.

182 The *furigana* and *okurigana* in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:9a, read *omowazaru ni tennō ni mamie-agaru*.

ヨロコ コト タ カンサリマ コノカタ マ
歡喜ビ言語断へヌ。崩御シテヨリ已來、ナンノトコロニ坐御スヤ。

ランミ ヤスラカ ミ ヨ タノシ
聖體、安穩ナルカ。宝世、怡般キカ』。

モト タカマ カノ
「故ノ天皇、告ゲテ曰ク、『アレハ高天ヨリ来リテ、考ノ (2 : 7
オ) 天皇ノ 政 マツリゴト タス テイセイ シロシメ
ヲ助ケタマフ。マタ、ワレ、帝政ヲ 踐 シキ。今ナホ
ソラ ヒタブル ヨ ワウセイ マモ ヲボ
天ニ帰ラズ。永尔ニココニイマシテ、後ノ葉ノ王政ヲ衛ラント欲ス。

メグミ カウム モロランラ ミナ ツカ
恩澤ヲ蒙ルニ¹⁸³、諸臣等¹⁸⁴、咸、来リテ神ト成リテワレニ事フ。ソノ
イケリ マカ モロコト コト セキジツ モノヲモヒ
存生シ日ト死没ル今ト、諸物、異ナル¹⁸⁵トコロナシ。タダ昔日ハ不仕
ノミ、ハタ如今ハ自在ナリ。コレ生キルト死ヌルノ異ナルトコロナリ。

『ワレ、好ムハニツノ法ヲモッテシ、マタ嫌フニハニツノ法ヲモ
ッテス。ソノ好ムトコロノニツノ法ハ、齋戒ト無為トナリ。嫌フトコロ
ハ、佗ニアラズ、我恣ニシテ改造¹⁸⁶トナリ。齋戒ハ神ン法¹⁸⁷ナリ。

タダアリ ココロ ワレヅクリ イタ ヒトリ
無為ハ神ノ意ナリ。我為ヲナ致セソ¹⁸⁸。アニタダワレ独コレヲ好ミ、
コレヲ嫌フヲヤ。天地ノ群神、皆悉、コレヲ同ウス。マタ齋戒ヲ見ル
ニ、恒ノ齋戒アリ、別ノ齋戒アリ。故ノ隨ヲ善トナス。(2 : 7ウ) 今

ツク
造ルヲ悪トナス。一切ノ大神、好き嫌フコトヲ同ウス。齋戒ハ元ヨリ天
ニアリ、地ニ至リテハ、シバ々科ヲ別ツ。コレ神意ニ依ル。皆、モト

アメ アラタ ツク ヲツシ
ヨリ天ノ道ナリ、人ノ新ニ造ルニアラズ。天皇、常ニ謹ミテ、ヨロシ

183 We have inserted the particle *ni* on the basis of *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:9a.

184 This will be a contraction of *moro-omi-ra*.

185 For the reading, see *Honkoku*, note 256.

186 With this reading, we follow *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:9a-b; see *Honkoku*, note 258.

187 For the reading *kan-minori*, see *Honkoku*, note 259.

188 The *okurigana no* of our manuscript is incorrect. We have decided, therefore, to read *so* instead of *no*, following the *okurigana in* *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:9b.

ク神ノ法ニ依^ヨサシ、神ノ心ニ依サシタマフ¹⁸⁹ベキナリ』。ステニシテ、
大神、^{クツハヅラ}鑣^{メグ}ヲ廻ラシテ還^{カヘ}リ幸^{ミユキ}シタマフ。」

マタ「五月^{ツチノエタツ}戊辰^{ツイタチ}ノ朔^{オヨソカハチノクニ}、凡^{イツミノクニチヌノウミ}河内國言フハ、『和泉國茅渟海ノ
ナカニ妙ナル梵音^{メウ}アリ。震^{ボンオン}ヒ響^{フル}キテ雷^{ヒビ}ノ声ノゴトシ。奇光彩^{イカヅチ}晃^{キクワウサイクワウ}ヲ見
ル、^{カガヤ}曜^{コト}イテ日ノ色ノゴトシ』、ト。天皇、コレヲ異^{コト}トシテ、
^{ミンベノアタヒナツ、}溝邊直^ミヲ遣シ、海ニ入りテ見訪^ミセシム。ハタシテ言^{コト}ノ状^{トコロ}ノゴトシ。
コノ時、溝邊直、海ニ入ルニ、ソノ素^{モト}ヲ求ム。ハタシテ、樟木^{クスノキ}、海ニ浮^ウ
^{タダヨ}キ^{タテマツ}冷瓏^{タテマツ}フヲ見ル。ツイニ取^ミリテ献^{タテマツ}リアグル¹⁹⁰。

「天皇コレヲ得^{オモンバカリ}テ深ク^{セウ}慮^{セウ}テ、(2:8オ)詔シテ曰ク、『コ
ノ木、^{ハナハダコト}大^{シワザ}異^{シワザ}ニシテ、コレ人ノ業ニアラズ、スナハチ、天ノ所作ナリ。
マサニ何ノ物ニカ作^{グンシン}ルベシ』。群臣ニ問フ、群臣辨ヘズ。スナハチ、マ
タ、詔シテ曰ク、『コレ奇^{アヤシ}異^{アヤシ}キ¹⁹¹物ナリ。妄^{ミダリ}ニ非^{アダシモノ}物ニ作^{アダシモノ}リテハ、スナ
ハチ、天ノ責^{セメ}ヲ招^{マネ}カン』。スナハチ、勅シテ、^{イソダイジン}五十大神^{ミワ}オヨビ三輪大神
^{ウラト}ヲト問フ。

「三輪大神、^{セウドウ}小童^ヨニ¹⁹²託^{フボク}リテ曰ク、『浮木^{アダシモノ}ハ天ノ木ナリ。異物

189 Our manuscript, and also Ise Bunko *bon*, read the character 寄 as *yosashi*, but in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:9b, it is read *yori*. The *okurigana* 下フ, which reappears in the edn 1679, can best be interpreted as *tamau*.

190 The *okurigana* 玉ル could be read *tamawaru*, but it is unclear how it should be interpreted. *Tamawaru* designates actions of a superior versus an inferior; hence, it is inapplicable to the present situation, in which Misobe does something for the emperor. *Taisei-kyō*, edn 1679, and Ise Bunko *bon* give the *okurigana* 上ル, which confront us with the problem, why the *rentaikei aguru* is specified, instead of the *shūshikei agu*, but it corresponds better to the present situation, so we have decided to follow this reading.

191 We follow the reading *ayashiki*, which is given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30: 13a.

192 We follow the reading *yorite*, which is given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30: 13b.

アタ
ニ中ラズ。マサニ佛ノ像ヲ作ルベシ。クニヂユウ エキキ トシ スミヤカ
ニ止マン¹⁹³』。

「五十大神、岩隈姫ノ命皇女ニ託リテ曰ク、『ソノ光リ樟木¹⁹⁴、
コレワガ意ナリ。慎ミテ聞ケ、ナ懈リソ。神代ハ、衆ノ心、皆、
キオカリ タダシ ナラ トヲ フコタ ツミトガ
浄白キナリ。最モ正ク直ニ¹⁹⁵シテ聖亨ル¹⁹⁶ユエニ、罪咎ナキナリ。シ
カルニ地ノ神ノ百萬ニアタル歳ヨリノチ、漸々（2：8ウ）ソノ心、
キタナ ナ フロキコト ナ アダシクニ モロマスヒトビト
黒ク生リテ黒作ス、異国ノゴトシ。ユエニ庶増人等、底ノ國、根
ノ國ニ吟フ。コレニ依リテ西極ノ天ニ近キ国ニ、神ンナカノ
カミナルカンビト マス ヒトノ心
神真人アリマス¹⁹⁷。シカウシテ生ヨリ、ヨク皇天ニ代リテ、機ニ
シタガ オシ コト
随ヒテ訓教ヘタマフ。来ルベキ時至リテ、カノ詞、今、来レリ。今ヨ
リ已後、ワレ、託宣ヲ停ム。ソノ真聖ノ大ナル道、妙ナル詞ニ随テ、
悪キヲ變ヘテ善ヲナシ、國邦ヲ守護セヨ。

アヤシクスノキ アヤシキ ヒジリ カンガミ
「灵樟ノ神木¹⁹⁸ハ、ナンジノ天皇ニ與ヘ、カノ聖ノ真神ノナ
カノ神ナル像¹⁹⁹ヲ造リテ、マサニ国ノ中ノ巨多ノ災害ヲ拂フベシ。異国

193 This reading is suggested by the *okurigana n*, which is given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:13b. It fits the context better than *to(do)maru*, which is indicated by the *okurigana ru* in our manuscript.

194 The *okurigana ri*, which is given both in our manuscript and in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:13b, leaves no choice but to read *hikari-kusunoki*, although *hikaru kusunoki* or *kagayaku kusunoki* would have been preferable.

195 The *okurigana fu* may be a case of *onbin*, indicating the reading (*naoku >*) *naō*. However, the reading *tadashi(ku) nao ni shite*, which is given in *Ise Bunko bon* and in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:13b, seems preferable. We have emended accordingly.

196 The dot behind the *okurigana to-wo-ru* indicates a repetition of the *kana ru*. However, the form *tōruru* cannot be accommodated within Japanese grammar, ancient or modern. Moreover, *Ise Bunko bon* and *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:13b, both give *to(w)oru* as the *furigana* of the two characters 聖亨. We have, decided to follow that reading.

197 This reading follows *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:13b. It agrees with the *furigana* in the *Ise Bnko bon*.

198 We follow the reading given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:14a: *ayashi kusunoki no ayashiki wa*.

199 The *okurigana* in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:14a, indicate a different reading: *kano hijiri shin-shite kami*

ノ宝^{ノリ}ノ法、悉クニワガ國ニ集リテ、ヨクワガ^{アマツヒツギ} 祚^{タス}ヲ介ク。ワガ法ニ
クハハ
加^{クハハ}リテ三ツトナリテ佳^ヨシ。今三ツノ印^{シルシイシ}石ヲ立ツ。マサニ至リテコレヲ
200見ルベキノミ』、ト。

「諸^{モロカンナキ} 巫、処ヲ知ラズ。スナハチ、（2：9オ）紫^{ムラサキ}ノ光^{ヒカリ}ノ立
ツヲ見ル、ナホ虹^{ニジ}ノ立ツ光ノゴトシ。神乳山ニアリ。至テモツテコレヲ
見ルニ、三ツノ石、岩ノ上ニ立ツ。光、ココヨリ出^イデタルノミ。天皇
ツマビラカ
審^{ツマビラカ}ニコレヲ聞キタマフ。国ノ多^{サハ}ノ災ヲ除^{ノゾ}カンコトヲ知リテ、甚^{ハナハダ}悦
ビ、スナハチ、造^{タクミ}工ニ命ジテ佛ノ像ニ軀ヲ作ラシム。今、吉野寺ニアル、
ヨシノデラ
放^{ヒカリクスノキ}光^{ナリヲハ} 樟^{コクエキ}ノ像、コレナリ。イマダ佛ノ像成已ラザルニ、國疫、皆、止ミ
ヌ。時ニ人、皆、謂フ、『天ノ為^{ワザ}、ヲ²⁰¹ノヅカラシカリ』、ト。」

「推古天皇、壬^{スイコテンノウ} 辰^{ミズノエタツ}、三輪大神、采女ニ託リテ、太^{ハナハダ} 踊躍^{ユヤク}ス。
オホトノ
大殿、ハナハダ震^{フル}フ。大地、巨^{ダイチ}ニ動ク。直ニ告^{オホキ}ゲテ天皇ニ奏^{ウゴ}シテ曰ク、
『来年ノ春、天下、暗^{チカ}ナラン。日月モ光ヲ失^ツヒ、アリテモ、無^{ソウ}キガゴ
ライネン ハル テンカ ヤミ ヒツキ ウシナ ナ
トクナルベシ。天、憂^{アメ}へ、神、恐^{ウレ}ル。累年、怪ヲ示^{カミ}シ、天皇、怖^{オソ}レマ
ア ナ カナン コヒネガハク
サズ²⁰²。（2：9ウ）嗟吹悲^アキカナ。コレヲイカンセン。庶^{コヒネガハク} 幾ハ、
カミカゼイソノミヤ タイシヤ
天皇、コレヲ恐^{カミカゼイソノミヤ}レタマヒ²⁰³、神風五十宮、オヨビ、ワガ三輪大社ニオキ

no naka no kami no zō.

200 We have inserted *kore wo* on the basis of the text in *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:14a.

201 *Taisei-kyō*, edn 1679, 30:14b, has *ama no waza wa onozukara nari*. In this light, we think that *wo* in our manuscript should not be interpreted as the particle *wo*, but as an indication that the character 自 should be read *onozukara*.

202 The auxiliary *-masazu* is not given in our manuscript, but it is specified both in *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:58b and in Ise Bunko *bon*.

203 The auxiliary *-tamai* is not given in our manuscript, but it is specified in *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:58b.

テ、^{キユウ}急^{クワイラウ}ニ^{ツク}廻廊ヲ造リ、^{ソウ}百十僧^オ204ヲ置キ、『^{クジャクキヤウ}孔佳經』ヲ讀ムコト、オ

ノオノ^{イチマンブ}一萬部シテ、^{アマネク}普^{アマカミツチカミ}天衆地類^ムニ向ケテ^{コクシヤケンシヤ}205、國社縣社ノ神ヲ祭りタ

マハバ、マサニソノ^{キョウ}凶^{カヘ}ヲ轉シテ、^{テンジンチギフタタ}天神地祇^{キラク}再^{フク}ビ喜樂ヲ復スベシ』、ト。

「^{オホキ}天皇、^{オドロ}大ニ^{シンケウ}驚^{ムネ}キテ、^{シンビツ}神教ノ旨ヲモツテ、^{ウゴ}宸筆ヲ動カシテ、

^{クワウタイシ}皇太子ニ告ゲタマフ。皇太子、^{ヘウ}表ヲ^{タテマツ}上^{ソウ}リテ、^{イノリ}奏シテ、モツテ、祈ヲ

^{トド}停メテ^{ユヘ}206曰ク、『^{オミ}天、怪ヲ示スコト、^{フビン}マコトニ故由アリ。臣、不敏ニシ

^{フセウ}テ不肖ナリトイヘドモ、知ルトコロアリ、驚カズ。天皇ノオンタメニ²⁰⁷

アラズ、^{シンミン}マタ臣民ノタメニアラズ。^{ヨシ}由ヲ奏スベクシテ言ヒガタシ。神、

來年ノ春ヲ^サ指シタマフナリ。^{トキ}時ニ至^{イタ}リテ（2：10オ）^{シヤシヨク}社稷ニアラザ

ルコトヲ見ル²⁰⁸。ソレ君子ノ道ハ、^{ジンリン}人倫ヲ^{ヲサ}脩メズシテ、^{クワエウ}禍夭²⁰⁹スルノ

耻ニ^{ハジ}遇フコトヲ^{オン}恐レテ、オノレヲ^{チュウ}脩メ、道ニ^{メイキタ}住シテ、命來リ、^{トキイタ}時至リ

テ、^{エウ}ミヅカラ²¹⁰ノ^{オン}天²¹¹スルヲ恐レズ。臣聞ク、「^{ジンジュ}人壽、^{ナガ}長ケルバ、スナ

204 As we said in *Honkoku*, note 283, the character 像 is lacking in both printed editions of *Taisei-kyō*. Though it is written in the Ise Bunko *bon*, this character obviously makes no sense, so we have decided to ignore it.

205 Our manuscript has 'ムテ' as *okurigana*, while Ise Bunko *bon* and *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:58b, both have *mu-ke*. Together, *mukete*?

206 The reading suggested by the *furigana* of our manuscript agrees with that of *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:59a. It would, however, be better (in the sense of closer to the Chinese, and closer to the intended meaning) to read: *hyō wo tatematsurite, inori wo todomuru wo motte sō-shite iwaku*.

207 Writing *on-tame* as 奉為 is rather strange, but the *furigana* make clear that this reading is intended. The *furigana* etc. in the edn 1679, 33:59a, are incomplete, but point into the same direction.

208 *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:59a inserts the *okuriga re-n* at this point. Possible readings would be *miraren* or *miseraren*, but neither is very convincing.

209 Following the text of *Taisei-kyō*, we have emended the character 大 to 夭. The compound 禍夭 (*kayō*?) is not attested in the dictionaries, nor in the Taishō Dai-Zōkyō or the Chinese Text Project.

210 Cf. *Honkoku*, note 286. Our manuscript adds the *furigana* ミ to the character 自, indicating that it should be read *mizukara*, but *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:59a, adds *wo*, indicating the reading *onozukara*.

211 As there is no ready explanation for the *furigana no*, which our manuscript adds to this character, we have decided to ignore it. *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:59a, puts the *kaeriten* 'ー' after this character, thus confirming that it is the object of 不レ恐レ.

ハチ、辱^{ハヂ}ヲ見ルハ、マタ多^{オホ}シ。』マタ聞ク、『功^{コウ}、成^ナリテ、身^ミ、退^{シリゾ}クハ、天^{テン}ノ道^{ミチ}ナリ』、ト。怪^{クワイ}、マタ禱^{イノリ}テ遯^{ノガ}ルベキアリ、禱^{イノ}リナラズシテ遯^{ノガ}ルベカラザルアリ。イマ、コレヲ思^{オモ}フニ、マサニ禱^{イノ}ラザルベシ。三輪^{クワイラウ}ノ廻廊^{マカ}ハ、神^{マカ}ノ意^{コトワリ}ニ任^{イタ}ス。造^{イタ}ルベキ理^{イタ}、至^{ノチ}ルニオイテハ、後^ヒノ日^ヒ、造^{イタ}ルトコロアルベシ。五十^{イソノミヤ}宮^{ミヤ}ニハヨカラズ。コノ宮^{ミヤ}ハ齋^{サイゲン}元^{モト}ノ本^{モト}ナリ。神代^{ジンダイ}ノ状^{カタチ}ヲ改^{アラタ}ムベカラズ、増^マスベカラズ、減^ヘラスベカラズ、儒^{ジュシヤク}釋^{シヤク}ノ祭^{マツ}リヲ用^{モチ}キルベカラズ。モシ、ノチニ神^ノノ望^{ノゾ}ムトコロ²¹³アラバ、別^{ベツシヨ}処^{シヨ}ヲ立^タテテ、コレヲ修^{オサ}ムベシ。ナンゾ、私^{ワタクシ}ノ災^{ワザワヒ}ヲ遯^{ノガレ}ンガタメニ、根^{モト}²¹⁴ツ神^{ホコラ}ノ祠^{アラタ}ノ状^{カタチ}ヲ改^{アラタ}メン。天^{アメ}（2：10ウ）皇^{ミコ}、願^{ネガ}ハクハ、義^ギ理^リヲ守^{マモ}リテ、非^ヒ義^ギナル妖^{エウクワイ}怪^{クワイ}ニナ驚^{オドロク}キタマヒソ。」

カクノゴトキ證^{ショウコ}拠^{ケン}、分明^{ブンメイ}辨^{ベン}白^{ハク}ナリ。シカルニ、ナンヂ、釈^{シヤクシ}氏^シ、私^{ワタクシ}ニコレヲナスト思^{ヒトヘ}ヒ、偏^{ヒトヘ}ニ²¹⁵コレヲ謗^{ソシ}リ、コレヲ誹^ヒス。近^{キンセイ}世^{セイ}、儒^{ジュシ}士^シ神^{シン}職^{シヨク}ノ輩^{トモガラ}、神^{シン}儒^{ジュ}一^{イツ}致^{ツチ}ナリ、仏^{ブツ}法^{ポフ}ハ、神^{シン}明^{メイ}、コレヲ嫌^{ケン}フトイフ。笑^{ワラ}フベキノハナハダシキナリ。モシ、儒^{ジュダウ}道^{ダウ}、吾^{ワガ}神^{カミ}、コレヲ好^{コト}ミタマワバ、神^{シン}社^{シャ}ニオイテ、儒^{ジュ}士^シ、ナンゾ、神^{シン}職^{シヨク}ヲ勒^{ロク}セズシテ、タダ釈^{シヤク}氏^シ、神^{シン}職^{シヨク}ヲ領^{リヤウ}スルコトアルヤ。スナハチ、吾^{ワガ}神^{カミ}ノ儒^{ジュ}ヲ好^{コト}マザルノ證^{アカシ}ナリ。

212 This is a strange way to read the two characters 不禱, but it is indicated by the *okurigana nara* in our manuscript. If we ignore them, on the strength of *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:59a, we would have to read *inorazu shite nogarubekarazu*. For details, see the Translation, note 403.

213 In conformity with both printed editions of *Taisei-kyō*, we have emended the character 代 to 所, which makes much better sense; cf. *Honkoku*, note 289.

214 We read the character as *moto* in conformity with *Taisei-kyō*, edn 1679, 33:59b.

215 For this emendation, see *Honkoku*, note 291.

リンシ ジンジャカウ ニ ホンギ ヒ スイニンテンワウ ニジュウゴネン サンガツ
林氏『神社考』、『日本紀』ヲ引キテ、「垂仁天皇二十五年三月、

アマテラスオホミカミ トヨスキヒメノミコト ハナ ヤマトヒメノミコト ツ
天照大神ヲ豊耜姫命ニ離チマツリ、倭姫命ニ託ケタマフ。

(2 : 1 1 オ) ココニ倭姫命、太神ヲ鎮坐メマサシムノトコロヲ求メテ、

ウダノササハタ イタ (サ サ) サラニ、コレヲ還リテ、

アフミノクニ イ ヒガシノカタ ミノ マハ イセノクニ イタ
近江國ニ入リテ、東方²¹⁶美濃ヲ廻リテ、伊勢國ニ到ル。トキニ²¹⁷、

アマテラスオホミカミ ヲシ イハ カミカゼ
天照大神、倭姫ノ命ニ²¹⁸誨ヘテ曰ク、『コノ神風ノ伊勢國ハ、スナハ

チ、常世ノ浪ノ重浪舩スル²¹⁹國ナリ。傍國ノ可憐國ナリ。コノ國ニ居ン

ト欲フ²²⁰。』ユエニ、大神ノ教ヘノ随ニ、ソノ祠ヲ伊勢ノ國ニ立ツ。

ヨリテ 齋ノ宮ヲ五十鈴ノ川上ニ興ツ²²¹。コレ、磯ノ宮ト謂フ。スナハ

チ、天照大神、始メテ天ヨリ降りタマフノトコロナリ。

アル テンワウ ヤマトヒメノミコト ミツエ
「一フミニ云ク²²²：『天皇、倭姫命ヲモツテ、御杖トナシテ、

天照大神ニ貢奉リタマフ。コレヲモツテ、倭姫ノ命、天照大神ヲモツテ、

(2 : 1 1 ウ) 磯ノ城山ノ巖櫃ノ本ニ鎮メ坐シテ、コレヲ祠ル。シカウ

シテ、後ニ神ノ誨ヘノ随ニ、丁巳ノ年ノ冬十月甲子ヲ取リテ、伊勢國

ワタラヒノミヤ ウツ
渡遇宮ニ遷シタマフ。』」

216 We have read 東方 according to the annotation in *Nihon shoki*; see *Nihon shoki* 6 (vol. 1, p. 184).

217 Our manuscript has the *okurigana te*, but Ise Bunko *bon* has *ni*. In view of the context, *te* will be a mistake for *ni*. We have emended, therefore, to *toki ni*.

218 *Nihon shoki* has the *okurigana wo* at this point, but *ni* serves as well, so we follow the text of the manuscript.

219 *Yosuru* (-/2) is *not* an attested reading of the character 歸・舩.

220 The reading *omou* of the character 欲 is based on the *furigana* in *Honchō jinja kō*; see NSTS vol. 1, p. 371, line 3.

221 Cf. *Honkoku*, note 296. N.B. Ise Bunko *bon* reads "Isuzugawa *no kami* instead of "Isuzu *no kawakami*."

222 For this reading of the characters 一[書]曰, cf. *Nihon shoki* 1 (*Nihon shoki* vol. 1, p. 19, line 2).

『日本紀』ノ本文ニ、日神、磯宮ニ鎮メ坐シタマフトアリ。ソ

ノ或説ノ、日ノ神、渡遇宮ニアリト云フヲモッテス。コノ渡遇宮ハ、

内宮ナリ。

マタ『神社考』ニ、「一曰ク、『豊受宮ハ國常立尊ナリ。

左ハ瓊々杵尊ニテ、右ハ天兒屋根命ナリ。雄略帝ノトキ、コレヲ建ツ。』

「一説ニ曰ク、『外宮ハ、傳言、天祖天御中主神ナリ。皇大神

ノ託宣ニ、「マヅコノ神ヲ祭り、マヅコノ神ヲ拜セヨ」』、ト。カツ

皇孫瓊々杵尊、コノ宮ノ相殿（2：12オ）ニ在ス。ユエニ、

天兒屋根命、天太玉命モマタ同ク在ス。因テ号シテ二所太神宮ト曰フ。」

『旧事紀』ニハ、「天御中主ハ、國常立ノ弟ナリ。」

カクノゴトク、日本伊勢宗宮ノ神體、異説アリテ、分明ナラズ。

『旧事紀』ニ因リテ、略シテ三宮神體ヲ出ス。「雄略天皇傳」曰ク、

「豊食宮、初ノ正殿、豊月誦大神、左相殿ハ、天人意命、右ノ相

殿ハ天手力雄命。菟道宮、正殿、星ノ天孫太神、左ノ相殿、

天太玉命、右ノ相殿ハ、天ノ特棟ノ命。五十宮中ノ正殿、天照太神、

左御殿、去來諾尊（2：12ウ）、右御殿、去來冊尊。」カクノゴト

ク、三宮神體、分明ニコレヲ記ス。神儒ノ學者、コレヲ用キザル意、

嗚呼、ナンノ意ゾヤ。

リンシ ジンジャカウ アイタウ ニチラ タマシヒ イナリ イネ オ ラウジン
林氏『神社考』、愛當ハ日羅ノ靈ト謂フ。稻荷ハ稻ヲ負フ老人ト謂フ。

ケダシ、コノニシシ シンタイ サ克蘭スクナ アイガン アメ ヒトクマ ミコト
ケダシ、コノニ神、々體、錯乱少カラズ。愛岩ノ神ハ、天ノ人熊ノ命

ト謂フ。稲荷ノ神ハ、クニノミケモチノカミ ツマビラカ
ト謂フ。稲荷ノ神ハ、地食保神ト云フ。詳ニハ、『旧事紀』ノ

「神祇本紀」ニ出ヅ。イマココニコレヲリヤク
「神祇本紀」ニ出ヅ。イマココニコレヲ略ス。

林氏、『エイキ ヒ メイ
林氏、『永喜²²³碑ノ銘』²²⁴ニ曰ク、「今茲仲秋十九日、吾ガ同胞永喜、

トウブ ボツ トシ カナシ
東武ニ没ス。年五十四。アア哀キカナ。(2:13オ)先聖殿ノ北隅

ニ(ラリ)ス²²⁵。イケウ モチ
ニ(ラリ)ス²²⁵。異教ヲ用キザルナリ²²⁶。初ノ²²⁷諱ハ信澄、ノチ永喜

アラタ トウシウ クレ チョトン
ト改メ²²⁸、ミヅカラ東舟²²⁹ト号シ²³⁰、晩ニ樗墩ト稱ス」²³¹。

ソレ、コノ国ノサウレイ
ソレ、コノ国ノ葬礼ハ、推古天皇ノ朝、三輪明神ノ託語ニヨリ

テ、釈氏ノ祭禮ヲモツテ、貴賤、コレヲハウム
テ、釈氏ノ祭禮ヲモツテ、貴賤、コレヲ葬ル。スナハチ、ソノ證ヲ出

サン。『先代旧事紀・推古天皇ノ本紀』ニ曰ク、「ミズノトヒツジ オホトモ ムラジ
サン。『先代旧事紀・推古天皇ノ本紀』ニ曰ク、「癸未、大伴ノ連

223 We have substituted the correct character 喜 for 嘉.

224 The title in *Razan Rin-sensei bunshū* 43 (*Bunshū* vol. 2, p. 72) is 刑部法印林永喜碑銘.

225 As the actual characters are not in the font, we have only given the transcription. For the characters, see *Honkoku*, notes 317 and 318; for the reading of the two characters, see Mor. IX: 32630-2. We take the *furigana ri* to be a reference to the *ri* of *rari*. The characters refer to instruments used for digging (*suki*) or transporting earth (*fugo*, *mokko*).

226 If we would follow the *okurigana* of Razan's *Bunshū*, the phrase would read: *ikyō wo mochiizaru to nari*. In our manuscript, the particle *wo* is strange. In Ise Bunko *bon* the particle *wo* is used, as it is in *Bunshū* vol. 2, p. 72a. This variant is superior; we have emended accordingly. In the *Bunshū*, the particle *to* is strange, because the phrase does not appear to be a quotation. We have decided to ignore it.

227 The *okurigana* in *Bunshū* vol. 2, p. 72a, does not have the particle *no*, and just reads *hajime*.

228 The *okurigana* in *Bunshū* vol. 2, p. 72a, is *mu* - a *shūshikei* instead of a *ren'yōkei*.

229 As the parallel passage in *Bunshū* vol. 2, p. 72a, shows, the character 束 is a mistake for *higashi* / *tō*, which we have substituted.

230 In *Bunshū* vol. 2, p. 72a, the *okurigana su*, is used, but there is little point in having a *shūshikei* halfway through a continuing sentence.

231 Apart from the points mentioned in the preceding notes, this is a complete and correct quotation from *Razan Rin-sensei bunshū* 43 (*Bunshū* vol. 2, p. 72a).

カドキ ソウモン ツカ ホコラ バウテン
廉城、奏聞シテ曰ク、『父ガ塚ヲ改メテ 祠 トナシ、亡奠ヲ改メテ 神ト
ナシ 祭ランコトヲ 請フ』、ト。

「天皇、大殿ニ出デテ、直ニ廉城ニ 勅 シテ曰ク、『汝、ナンゾ
禮ヲ知ラズヤ。皇祖天皇、石間ニ 形 ヲ 現 シ、誉田ノ天皇、菟狹ニ 形ヲ
現シマス。カクノゴトキ 靈駿ニ 依ルニアラズンバ、天子トイヘドモ 神祭
ナシ。タダ (2 : 1 3 ウ) 陵 アリ、社 ナキナリ。汝、ナニゾ 謂フヤ、
汝、ナンノユエナルヤ。ソレ²³²、靈現ニアラズシテ、祠ヲ造リ、祭リヲ
スルハ、遠クハ 齋元ノ 禁ニシテ、近クハ 憲法ノ 制ナリ。汝ハ、コレ、ナ
ンノ人ナルゾヤ。汝ノ父ハ、マタ、ナンノ人ゾヤ。ワガ 神礼ニ 背キ、ワ
ガ 聖禮ニ 背キテ、ナンノ國ノ法ヲモツテシ、孰ノ人ノ禮ヲ用ケルヤ。
汝、モシ、大臣ニ任ジ大臣田ヲ持²³³ タバ、カナラズ 社 稷ヲ 危メンカ』、
ト。廉城、懼キ震ヒ 退ケリ。

「即日、天皇、大臣ニ詔シテ曰ク、『人ハ死ヲモツテ 極ミトナシ、
葬ヲモツテ 宗トナシ²³⁴、奠ヲモツテ 大トナスナリ。人トシテ 身ヲ 慎ム
ハ、タダ 生ノ道ノミニアラズ、死ヲ 辱メザラント 欲ス。ソノ位禄ヲ 怖
ルルモ、タダ 生ノ威ノミニアラズ、ソノ葬ヲ 貴クセンコトヲ 欲ス。ソ

232 The *okurigana no*, which in our manuscript is added to the character 夫, implies the reading *kano*. However, reading the character in the usual way, as *sore*, i.e., as the introduction to a new phase of the argument, would make much better sense. Moreover, in Ise Bunko *bon*, the *okurigana no* is lacking. We have, therefore, decided to read 夫 as *sore* and to ignore *no*.

233 We have substituted this character from *Taisei-kyō*; cf. *Honkoku*, note 328.

234 The *okurigana shi*, which is a *ren'yōkei*, conflicts with the function of the particle 矣, which is a sentence final particle. On the other hand, the sentence evidently continues. Therefore, although the particle is used also in Ise Bunko *bon* and in both printed editions of *Taisei-kyō*, we have decided to ignore the particle and to give prevalence to the *okurigana shi*.

ノ子孫ヲ思フモ、タダ^{セイヤウ}生養²³⁵スルノミニアラズ、ソノ奠^{マツタウ}ヲ全^{マツタウ}セント欲
スル²³⁶ナリ。(2 : 1 4 オ) 死葬奠ニ法アリ。古キニ任セテコレヲ行^{オコナ}
フノミ。シカモ、カクノゴトシトイヘドモ、譽田ノ天皇ノ御宇ノトキヤ、
^{ジュソウ}儒宗来リテ、カツ、コレヲ知ル。^{カタハラ}傍^{シキ}ニソノ式ヲ雜^{マジ}フルモノアリ。マタ
^{チチ}父ノ天皇ノ御宇ノトキヤ、^{シヤクシュウ}釈宗²³⁷クル。マタソノ法ニ依ルコトアリ、
モツテ^{イリマジ}混交リテ^{ジュン}純ナラズ。コノ混雜^{コンザツ}ノナカヨリ^{ワタクシ}私ヲ^{ハツ}発シテ、モツテ
礼ヲ^{ミダ}猥ス。今、^{チン}朕、コレヲ^{タダ}是非スニ、サラニソノ^ゼ是ナルコトヲ知ラズ。
宜シク神ニ問ヒテコレヲ^{タダ}格スベシ』。

「大臣、群臣ヲ^{ヒキキ}將^テ²³⁸三輪ノ^{ヒロマエ}廣前ニ至リ、^{オホマツリ}大祭ノ^{ホコラ}祠ヲ^{マウ}設ケ、
^{オホカミ}大神ヲ^ヲ請降シ^{タテマツ}奉ル。トキニ、大神、^{カンナギ}巫ニ^ヨ託リ告ゲテ曰ク、『^{サウレイ}葬礼
^{バウテン}亡奠ハ諸神ノ忌ミタマフトコロナリ。神巫、コレニ^フ觸ルルトキハ、スナ
ハチ、シモ三年、神、ソノ巫ニ^ム向カズ。上古ニハソノ人ナシ。コレヲ行
フトキハ、(2 : 1 4 ウ) スナハチ、^{ハナ}神訣ル²³⁹。神ハ^{ノコ}残りノ^{ケガ}穢レヲ^{ヨロコ}悦
バズ。今、僧ト云フモノアリ。神、^{ヨロコ}慶ビテコレニ^ア宛ツ²⁴⁰。儒宗ノ礼、
オホイニ齋元ニ背ク。ソノ業、^{ワザ}ワレニアラズ。モシ、コレニ^{マカ}任セテハ、

235 For the reading *seiyō-suru*, see *Honkoku*, note 330.

236 The *okurigana* in Ise Bunko *bon* specify the reading (*mattō se*)*n* to nari. This agrees with the *okurigana* in *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:7b.

237 Transcribed according to the *furigana* given in the manuscript and in *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:8a.

238 Of the many possible readings of this character, the two that would fit best are *hikiiru* and *to / to tomo ni*. Neither fits the *okurigana*. We have opted for the first possibility, and changed the particle *ni* into *wo*, following *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:8a.

239 The *furigana* say *HA-ka-ru*, but this is not a usual reading of the character; moreover, it does not make sense. In accordance with *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:8a, we have emended the reading to *hanaru*.

240 In view of the *okurigana*, the character 宛 will have to be read *atsu* (< *ateru*). This is, however, not an accepted reading of the character in a *Kanbun* context.

オコナ
行ハシメバ²⁴¹、^{ノチ}後ニイタリテ、カナラズ^{ギウロク}牛鹿ヲ用キシ。マサニ神威ヲ
スタ
廢ラスベシ。

『今ヤ、天皇、ソノ法ヲ^{サダ}定メント欲ス。尊卑²⁴²ノ式ハ^{ノリ}聖皇^{シヤウクワウレイ}禮ノ
如シ²⁴³。ソノ他、行フトコロノ^{サウ}葬ノ法、奠ノ法ハ、宜ク^{ソウニ}僧尼^{マカ}ニ任セルベ
シ。僧尼ハ^{タハアリ}無為ノ客ニテ、サラニ^{ヲワイ}汚穢^ツニ着カズ。マサニ^{シッカウ}執行スベキヲ任
ス。今ヨリ已後、^{オコナ}行ヒヲ^{アラタ}改ムベカラズ。タダ、ワガ國ノミ、コノ法ニ
カヘ
皈ルニアラズ、^{アマネキクニ}天覆^{コトゴトク}、^{ユエン}悉ニ²⁴⁴シカリ。所以ハイカントナレバ、ソ
レ、法ニ天外ノ理アリ、来リ至リテ天極ノ理ヲ^ナ成シ、^フ降リ^{ナガ}流レテ^{ジンリン}人倫ノ
理ヲ成ス。

海ノ内、海ノ外、聖賢ト云フアリ。(2 : 15オ)

《「明ノ就座ヲ推シ倒シテ、明モマタ虎声ヲ作ル」。一本、此十字ナ
シ》²⁴⁵

コレ人倫ノ理ヲ知り、人倫、コレニヨルニ好シ。オヨソ、才、^{サイ}敏^{サト}シトイ
ヘドモ、^{テンキョク}悉クニ天極ノ理ニオイテハ、知ルコトアタハズ。余大神等、^ヨ余大神等、^{オホカミラ}
靈ヨリ知り得テ、天地ノ立ツニ好シ。庶^{サバヘ}ナス^{コガミラ}小神等ハ^{ツマビラカ}審ニ知ルコト

²⁴¹ The *okurigana* are a mess. The intended meaning will be *kore ni makasete okonawashimeba* – “when you make them perform these [rites], having left it to them.” The *okurigana ku* implies *yuku*, not *okonau*, and cannot be combined with the auxiliary of the causative [*shi*]men, for which we need a *mizenkei*. The particle *wo* behind *mono* / *wa* has no place in the sentence, and the particle *wa* behind *makasete* serves no obvious purpose. Substituting 始 (“for the first time”) for 使 (auxiliary of the causative) does not help, either; it looks like an *ex post facto* attempt to introduce the following *nochi ni*. See *Honkoku*, note 340.

²⁴² We follow the *Taisei-kyō* in emending the character 早 into 卑; see *Honkoku*, note 341.

²⁴³ See *Honkoku*, note 342, for the construction as two sentences, which is contrary to the *kaeriten* of our manuscript.

²⁴⁴ The *furigana* in Ise Bunko *bon* is illegible. *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:8b reads *amaneki kuni (kotogotoku) ni*, which avoids at least the, in the present context incomprehensible, *amatsukuni* as the reading of the character 悉. We will follow this reading.

²⁴⁵ 明 (Ming) is a name, and 就座 generally means “to sit down,” but here it apparently refers to Ming’s seat. For further explanations, see Translation, note 436.

アタハズ。天外ノ理ニオイテハ、大神イマダ知ラズ。法界^{ホツカイ}ノ立ツニ好シ。
法界立チテ、天地立チ、天地立チテ、人倫立ツ。

『今、僧尼ノ法ハ天外ヨリ出ヅ。カレ²⁴⁶、汚穢^{カ、ハ}ニ抱ラズ。コノ
理ノ理タルヤ、窮^{キユウカク}格シテ、モツテ、窮^{キハ}ム。ユエニワガ國異國、先ノ法
ヲ廢^ヤメテコレニ移^{ウツ}ル。恨^{ウラ}マント欲シテモ由^{ヨシ}ナシ。悟^{サト}ル人ハ、コレヲ知リ
テ恨マズ。迷^{マヨ}フモノハ知ラズシテ恨^{ウラ}ミトナス。ソノ今^{イマ}立タザルノ法ヲモ
ツテ、古^{イニシヘ}ニアリト道^イヒテ、マサニコレヲ立ツベシ。枯井^{カレキ}ヲ汲^クミテ水ヲ
モト^{モト}求メ、(2 : 1 5ウ) 死灰^{シクワイ}ヲ挙^アゲテ木ヲ焼ク。悟^{イマ}ルモノナサザルトコロ
ナリ。ソレ、故水^{コスイコクワ}故火^{イマ}ヲ知リテ、今^{イマ}得^{マヨ}ザルヲ知ラズ。コレヲ謂^{マヨ}ヒテ迷^{マヨ}
トスルノミ。ワレ、コノ語、端^ゴナキ理アリ。今ヲ言フニ似タレドモ、マ
タ後ヲ言フアリ。先ヲ言フニ似タレドモ、今ヲ言フアリ。耳^{サカラ}ニ逆^{サカラ}フト
イヘドモ、正^{シヤウネン}念^{シヤウネン}ヲモツテセバ、諸理ニ至ラザルナシ』。

「天皇、託宣^{タクセン}ニ憑^ヨリテ、スナハチ、令^{リヤウ}ヲ下ダシ法ヲ定ム。『ソ
レ、人ノ存^{ヨミアルミチ}道²⁴⁷ハ、宗源ノ理アリ、齋元ノ範アリ、先皇ノ跡ト
聖^{シヤウクワウ}皇^{オン}ノ教ヘトアリ²⁴⁸。兼^カネテ周^{シウコウ}孔^{ナラ}ニ習^シヘバ、死^シヌニ至^{ホロ}リ亡^{ホロ}ブルニ及^{ホロ}
ビ
テハ、神^{シワイ}ハ死^{シワイ}穢^{シワイ}ヲ忌^ヨム。周^{シウコウ}孔^{ナラ}ハワレニアラズ。仍^ヨツテ僧尼ニ任^ヨセバ、葬

246 *Kare* is a contraction of *ka* (= thus) and *are* (*izenkei* of *ari*). The meaning is, “because it is like this” > “therefore.”

247 The meaning of the three characters 人存道 is not problematic. What is unclear are the readings *yomi aru* (specified in the *furigana* in our manuscript and in *Ise Bunko bon*). The *furigana* “*yohi aru*” (specified in *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:9b), probably is a mistake. *Yomi* can be interpreted as the stem of *yoi* (“to be good”) and the suffix *-mi* (cf. *yomi-suru*), but the meaning in the present context is opaque. For the time being, we have translated according to the characters.

248 For our reading see *Honkoku*, note 349.

ノ儀、奠ノ法、他^{ホカ}ニ依リテハ不可ナリ。

『人ヲ導^{ミチビ}クノ道ハ²⁴⁹、悪ヲ改メ善ヲ行フ。ソレ、宗ト齋トハ
真正^{シンセイ}ニシテ、周ト孔トハ（2：16オ）理、然^{シカ}ルナリ。智者、マサニコ
レニ依ルベシ。愚者、如何^{イカン}トモセズ。ユエニ纒^{ワヅカ}ニ入ルモノハ、ナホ少^{スウナ}
シ。釈^{カイリツ}ノ戒律、精^{セイ}ナルモノハ玄^{ゲン}ニ格^{イタ}リ、粗^ソナルモノハ淺^{アサ}キヲ推^オス。智ニ
能^タへ、愚^タニ任^{ヲノレ}フ^{オコナ}²⁵⁰。コレモツテ僧尼^{ヲノレ}自行^{オコナ}ヒ、他^{ヲノレ}ニ教^{オコナ}へ、ヨロシク戒ヲ
先^{サキ}トナスベシ。

『僧ト尼ト寺ト堂ト、多^{オホ}キトキハ、スナハチ、信^{シン}軽^{ウシナ}ク、失^{ウシナ}フコ
ト²⁵¹ハ多ク、得^{ウシナ}ルコトハ少シ。ナキトキハ、スナハチ、信ヲ失^{ウシナ}ヒ、抛^ヨ
ナク発^{オコ}ルナシ。大^{ダイ}國^{コク}ニハ三寺、中^{チュウ}國^{コク}ニハ二寺、小^{コウ}國^{コク}ニハ一寺ニシテ、僧
ヲシテ住持^{ヂュウヂ}セシム。郡^{グン}縣^{ケン}ニハ庵^{イホリ}ヲ安^オキ²⁵²、尼ヲシテコレニ居^オラシム。
大家^{オホ}ハ僧ニ依リ、小屋^{コウ}ハ尼ニ依ル。僧尼ハ別居^オシ、別^オニ学^オビテ²⁵³、會^オ
ズ。衣^{ウツクシ}ト食^{ウツクシ}トハ美^{ウツクシ}カラザルヲモツテシ、祈^{ウツクシ}ト教^{ウツクシ}ト葬^{ウツクシ}ト奠^{ウツクシ}トヲ司^{ツカサド}ル²⁵⁴。
僧ヲシテ男^{クワ}ヲ化^{クワ}セシメ、尼ヲシテ女^{クワ}ヲ化^{クワ}セシム。コレ^{イニシヘ}古^{イニシヘ}ノ佛^{イニシヘ}ノ僧^{イニシヘ}ト尼
トヲ度^{ワタ}ス理^{アタ}ニ當^{アタ}ル。

249 Our manuscript connects the two sentences (and ignores the character 道), but the phrase *hito wo michibikubekarazaru no mono* makes no sense. Following *Taisei-kyō*, we therefore insert a full stop after 不可 and also insert the character 道, reading 者 as *wa*. Cf. *Honkoku*, notes 350 and 351.

250 *Taeru* (-/2) is an accepted reading of both characters.

251 We have inserted *koto* in order to preserve the parallel construction of the two phrases.

252 For the reading *oku*, see *Mor.* III: 7072 s.v. 1-*wo*. Though terribly obscure, the reading fits the context and the *okurigana*.

253 The parallelism in the Chinese sentence is obvious: 「別居別学」 - "they live apart and study separately." The *okurigana wo* in our manuscript seems to be a copyist error for the *okurigana te*, which we find in *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:10a (hence: "*betsu ni manabite*"). We have emended accordingly.

254 We have read *motte shi* and *tsukasadoru* following the *furigana* in *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:10a.

『祭祀ヲナシ詣崇ヲナスハ²⁵⁵、（2：16ウ）大社、國社、縣社
 ニオイテセヨ、コレ古來ノ法ナリ。²⁵⁶ 輒ク²⁵⁶ 己崇ムル神ヲ請ヒ、妄リ
 ニ新場²⁵⁷ニ社ヲ建テ私²⁵⁷ニコレヲ祭リコレニ詣ヅル²⁵⁷ハ、スナハチ、神徳
 ト王法トヲ輕ンズルナリ²⁵⁸。古ヲ襄²⁵⁸ヒテ、新²⁵⁸ノ成ルニアリ、本ヲ廢シテ、
 末ノ多キニアリ。亡親²⁵⁹ヲ崇ムルニ、神社ヲモツテシ、コレニ奠²⁵⁹供²⁵⁹スル
 ニ神祭ヲモツテスルハ、コレ齋元ノ道ニ背ク。

『故²⁶⁰靈驗アルモノ、ヨロシク朝廷ノ議ニ依ルベシ。常生²⁶⁰ハ、為
 261、仏ニ皈シテ、浄土ニ生ズル供²⁶¹ヲ修メヨ。コレ、孝道ノ至レル實²⁶¹ナリ。
 今モ後モ費²⁶¹ナキナリ。

『儒學ハ人倫ノ常ナリ。學²⁶²ヲ郡郷ニ安ク。長者、師ナリ、短者、
 弟ナリ。モシ別ニ家ヲ立ツルトキハ、恐²⁶²ラクハ遂ニ徒トナリ。異²⁶²ヲ
 荷²⁶²ヒ吾²⁶²ヲ指シ、齋元ニ害アリ。番²⁶² 262、発²⁶²ラバ、スナハチ、同²⁶²セン。
 ユエニワガ上²⁶²宮、（2：17オ）偏儒ヲ立テズ』」。

マタ『禮綱²⁶²死葬篇』ニ曰ク、「生來²⁶²ハ人倫ノコト、大ナリ。

255 From the context, it is clear that the *actions* of sacrifice and and temple visit are intended, and not the persons who perform them. It seems better, therefore, to read *wa* than *mono wa*.

256 For the reading *tayasuku*, cf. Mor. X: 38336 s.v. 4-ro. It is an obscure reading, but it fits the *okurigana* and the context better than the usual *sunawachi*.

257 We follow the manuscript in reading 詣. Cf *Honkoku*, note 356.

258 The *okurigana shite* must be wrong. Evidently, the character 輕 rules the remainder of the sentence, and in view of *nari*, a *rentaikei* is needed. We have, therefore, emended *shite* to *suru*.

259 This compound is not attested in the dictionaries. The *okurigana -ru*, given in our manuscript and in *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:10b, allows the readings *tenkyō-suru* and *(sonae-)sonauru*.

260 The function or meaning of this character, with this pronunciation, at this place, is unclear. *Kore* definitely is not an accepted reading of this character.

261 *Kore* is not an accepted reading of this character. The same reading is given, however, in *Taisei-kyō*, edn 1679, 34:10b. It looks like a replacement of 是, used as a copulum.

262 This character should of course, be 蕃, i.e., uncultivated barbarians > foreigners.

^{シキョ}死去ハ^{キハマ}生來ノ^{キハマ}極^シリニテ^{キハマ}大ナリ²⁶³。ユエニ、^{シヤウガイ}生涯ノ^{キセンクワフク}貴賤禍福、^{ハカ}コレヲ格
ルコト²⁶⁴、^{シニドキ}死時ニアリ。人トシテ、ソノ^ビ美ヲ^エ得ザルトキハ、スナハチ、
^{ハヂ}辱ヲ^ウ得ルトナス。ユエニ^{クンシ}君子、ソノ^{イヤシ}賤^{ハヂ}キニ^{ハヂ}辱テ²⁶⁵、ソノ^{タフト}貴^{タモ}キヲ持チ、
ソノ^{ミダ}猥^{ミダ}リヲ辱テ、ソノ^{タダシ}正^シキヲ持ツ²⁶⁶。人トシテ、ソノ^シ死ノ^{イヤシ}野^シカラザル
コトハ、生涯ノ^{オコナ}行ヒト^{ヲモンバカ}慮^{ヲモンバカ}リトニアラザレバイカンゾ。コレヲモツテ、
^{テン}天ハ、^{シレイ}死礼ノ^{シヤウイ}267^{シヤウイ}生位ニアルコトヲ^{メイ}命ズ。聖人、^{セイジン}礼ヲ^{セイ}製スルヤ²⁶⁸、^{シヤウトク}生徳
ヲシテ、^{アラハ}死位ニ^{アラハ}見サシム。

「^{シヨシ}初死ノ^ギ儀ハ、^{ミヤク}人ハ^タ脈^{イキ}絶^タエ^{イキ}息^タ絶^ユユ²⁶⁹。コレヲ^{シタイ}死體ノ^{シタイ}礼²⁷⁰ト云フ。

^{ムシロ}席ヲ^{ウゴ}動かサズ、^{エン}襪^{エン}271ヲ動かサズ。春秋ニ^{シュンジュウ}依リテ、アルイハ^ヨ三日、アル
イハ^{アイダ}七日、ソノ^{アイダ}間、アルイハ^{ヨミガヘ}^{ヨミガヘ}穌^リリ、アルイハ^ヤ息^ムム。臭氣（^{シウキ}2：17
ウ）ノナルヲモツテ、コレ、^{シシ}死尸ト云フ。

「^{シシ}々々之儀ハ^{ジャウタウ}淨湯ニ^{ユアミ}沐浴シ、^{ジフク}時服オヨビ^{ジサウ}時裝ヲモツテ、ミナ

263 *Taisei-kyō*, edn 1679, 59/60, frame 63 left, has lines between the characters 事大 and 極大, indicating that they should be read together. It seems preferable, however, to read ... *koto dai nari*, resp. *shōrai no kiwamari nite dai nari*.

264 We follow the *okurigana* and *furigana* given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 59/60, frame 63 left. For the reading *hakaru*, cf. Mor. VI: 14749. N.B. Henmui chooses the reading *kiwamuru*.

265 *Taisei-kyō*, edn 1679, and Henmui's commentary both have 賤ヲ辱テ; cf. *Honkoku*, note 370. We have decided to follow this reading, and to ignore the *okurigana shi* specified in our manuscript.

266 For this reading, cf. *Honkoku*, note 373.

267 This particle ノ is not in our manuscript. We have inserted it at this point on the basis of *Taisei-kyō*, edn 1679, and of Henmui's commentary. See *Honkoku*, note 379.

268 Our manuscript inserts the *okurigana suru* at this point. In *Taisei-kyō*, edn 1679, no *okurigana* is specified. We have decided to adopt the *okurigana suru*, and to add the particle *ya* in order to get a decent sentence.

269 If we would follow the *okurigana* of *Taisei-kyō*, edn 1679 (see *Honkoku*, notes 382 and 383), we would have to read *zes-shi* and *zes-suru (wa)*. In view of the context, however, a *shūshikei* is preferable, so we follow our manuscript.

270 We add ノ礼 on the basis of our manuscript, but both editions of *Taisei-kyō* omit it, probably because very little ritual or ceremony is to be discerned in this passage. Cf. *Honkoku*, note 384.

271 Henmui glosses this character as *fusuma* ("bed cloth"), which disagrees with the readings given in Mor. X: 34373 s.v.

シロイロ カブ シ オホ ナツ フユフク フユ ナツフク
白色ニス。被リヲ布キ、被ヲ覆フ。夏ハ冬服ヲモツテシ、冬ハ夏服ヲモ
ツテシ、コレヲ上ニ置キテ、棺ニ納メ、コレヲ結ユルニ、古、朱ヲ
モツテシ、今、綿ヲモツテス。

ザウクワン テンシ イニシヘ セキクワン ナガ キュウシヤク ハバ
「造棺ノ儀ハ、天子ハ古ハ石棺ニシテ、長サ九尺、幅
ロクシヤク フカ ゴシヤク タンジャク セイクワン ゴタイ
六尺、深サ五尺ナリ。皆、短尺ナリ。コレ、正棺ナリ。御體、九尺
アマ チャウジャク ホクワン ドウセキドウシヤク カフチウ キュウシ
餘リハ²⁷²、長尺ナリ。上ニ補棺アリ、同石同尺ニシテ、甲冑、弓矢、
ケンタウ チンザイ フサ モククワンハフシキ
劔刀、珍財、コレヲ納ム。今ハ木棺法式、右ニ同ジ。

モガリノミヤ テンジャウ シタ チフリ ウエ ヨモノアイダ
「殯宮ノ儀ハ、天井ノ下、九尺、地敷ノ²⁷³上、六尺、方間、
フチ ヨモ クワイラウ ミギ バンダウ
十二尺、縁ノ間、五尺、方ニ（2：18オ）迴廊アリ、右ニ番堂アリ、
ヒダリ グイン シメン ツイヂ シハウ カド
左ニ供院アリ。四面ニ堡アリ。四方ニ門アリ。

エイオク タカ ヒロ
「楹屋ノ儀ハ、高サ、十尺、上、六尺、下、四尺、天井ナシ。廣
サ十尺、縁ナシ。檻ノ方ニ、植ウルアリ。南ニ、門アリ。四方ニ迴リ
ホリ ケン ソト グデン
堀、三十六間アリ。堀ノ外、供殿アリ。

リョウベウ セイホウ タカ チュウ ジュウホウ
「陵廟ノ儀ハ、正峰ノ高サ、六十肘ニシテ、從峰ノ高サ、五
チュウザン リョウコン タケ リョウコン ハハ
十五肘、中山ノ高サ、四十八肘、陵根ノ長、二百五十肘、陵根ノ幅、
セイスイ アラハ ジュウスウ ゴギヤウ
一百十五肘。正數ノ六ハ、コレ地ヲ表スナリ。從數ノ五ハ、コレ五行
チュウスウ チョウネン チョウフク テンスウ チュウ
ナリ。中數ハ重年ナリ。長幅ハ天數ナリ。一肘、コレ二尺ナルノミ。

ビョウボ ショワウ セイ ジュウ チョウフク
「廟墓ノ儀ハ諸王ハ正（2：18ウ）從アリ、長幅アリ。

272 The punctuation in our manuscript is misleading. We have emended it.

273 In inserting the *okurigana no* and ignoring the comma, we follow *Taisei-kyō*, edn 1679, 60 (frame 64 right); see *Honkoku*, note 405.

三公ハ、長幅アリ、正從ナシ。三公九卿、角²⁷⁴アリ、段アリ。諸士ハ、
角アリ、段ナシ。庶人ハ、角ナク、段ナシ。太子ノ陵ハ、天子ノ^{三二}ナ
リ。諸王ノ陵ハ、天子ノ^{三一}ナリ。三公ハ、諸王ノ^{三二}ナリ。九卿ハ、
マターヲ減ラス。已下モマタ、マター々ヲ減ラス。

「葬送ノ儀ハ、天子ハ鳳輦、諸王ハ大輦、三公ハ嚴輿、九卿ハ
大輿、諸士ハ美覆、庶人ハ疎覆ナリ。

「奏樂ノ儀ハ、呂調ニシテ律ニ終ル。

「天子ハ、正峯ノ下、中山ノ上ニ、諸王ハ、從峯ノ下、中山ノ
上ニ、三公ハ、上半ノ限上ナリ。九卿ハ、下半ノ限下、諸士ハ、墓下
ノ地上ニ、（2 : 19オ）庶人ハ、塚下ノ地中ナリ。古ハ、供奉ノ
人侶、生キナガラ、コレヲ埋ム。土師ノ才、土人ヲモッテコレニ代フ。
コレ、今ノ禮ナリ。

「奠供ハ、古ハ、牲膳、今ハ、齋食ナリ。佛ニ依リ神ニ憑ル。

奠諷ハ、古ハ、鬼則²⁷⁵、今ハ、佛經ナリ。理ニ依リ時ニ憑ル。奠日
ハ、古ハ、年ニアリ、今ハ、月ニアリ。

「弔奠ノ儀ハ、第七日ト、第二七日ト、ナイシ、第七々²⁷⁶ト、

第百箇日ト、第三年ト、第七年ト、第十三年ト、第十七年ト、第三十三
年トハ、天子ヨリ庶人ニ^{イタ}迄リテ、一同ニシテ、^{ヒトムキ}差フトコロナシ。第四十
^{タガ}

274 Possible readings are *tsuno*, *sumi*, *kado* or *masu*. It is unclear which should be preferred, or whether we would need yet another reading. Cf. Translation, note 472.

275 The reading of this compound is based on Henmui's his commentary *Sōgi ryakurei*.

276 The reading indicated by the *kaeriten* and *okurigana* in *Taisei-kyō*, edn 1679, 60 (frame 65 left; cf. *Honkoku*, note 445) - *sunawachi dai-nanajūnana ni itaru to* - is needlessly elaborate.

年ト、第五十年ト、第六十年トハ、天子ヨリ諸士ニ迄リテ、一同ニシテ、
子、亡スルトキ、スナハチ、孫（2：19ウ）代ル。第七十年ト、第八
十年ト、第九十年トハ、天子ヨリ九卿ニ迄リテ、一同ニシテ、子孫曾孫
ニ及ブ。第一百年ト、第百十年ト、第百二十年トハ、天子ヨリ三公ニ迄
リテ、一同ニシテ、子ノ曾孫ニ及ブ。第百三十年ト、第百四十年ト、第
百五十年トハ、天子ヨリ諸王ニ迄ル。第百六十年ヨリ已下ハ、タダ、天
子、コレヲ修ス。天子トイヘドモ、大曾祖以上ハ、大曾祖ノ日ヲモツ
テ、一同ニシテ、コレヲ修ス。コレヲ總奠ト謂フ。人壽ハ、長短アリ。
ソノ長キハ、代ニ依ル。ソノ短キハ、年ニ依ル²⁷⁷。弔奠ノ儀ハ、孝ニ
依リテソノ冥路ヲ憶ヒ、義ニ依リテソノ忘レザルヲ要ム。

「奠位ノ（2：20オ）儀ハ、天子ハ十ナリ、太子ハ九ナリ、
大王ハ八ナリ、小王ハ七ナリ、三公ハ六ナリ、二公ハ五ナリ、九卿ハ
四ナリ、階官ハ三ナリ、諸士²⁷⁸ハ二ナリ、庶人ハ一ナリ。善ハ、盡ス
ヲモツテコレヲ美キトシ、禮ハ、節ヲモツテコレヲ美キトス。トモニ、
コレヲ立テザルト云フコトナシ。下位ニシテ多祿ノモノ、善、モツテ、
コレヲ盡スコトヲ發シテ、ミヅカラ独リニシテコレヲスレバ、禮ニアラ
ズ。マタ、コレヲナセザルハ、善ニアラズ。コレヲ族ニ排ヘテ²⁷⁹コレ

²⁷⁷ The phrase 其短依年 is taken over from *Taisei-kyō*, edn 1679, 60 (frame 66 right); cf. *Honkoku*, note 462. It is not in our manuscript; quite possibly, it has been left out by mistake.

²⁷⁸ We have inserted the character 士 at this point on the basis of *Taisei-kyō*, edn 1679; cf. *Honkoku*, note 467.

²⁷⁹ Both our manuscript and the *Taisei-kyō* itself insist on the reading *atsuraeru* for 排, which is otherwise

ヲナセヨ。」

林^{リンシ}氏、ミヅカラ^{ミヅカラ} 穠^{シヤクシ}氏ヲ嫌^{キラ}ヒ、儒家ヲ愛スルヲモツテ、ユエニ、三
輪^{タクゴ}ノ託語ヲ用^{モチキ}ズ。推古ノ法度ヲ改^{ハット}變^{カイヘン}シ、國法ヲ改^{アラタ}メ、風俗ヲ破^{フウゾク}リ、天
子ヲ蔑^{ナミ}シ、執政ヲ輕^{シツセイ}ズルコト、詳^{カロン}ニ所爲ヲ説ク。推古以来、代々ノ
天皇、穠^{ハウム}法ヲモツテコレヲ葬^{ブケ}ル。マタ武家ノ頼朝、(2 : 20ウ)
兵馬ノ權ヲ柄^{ヘイバ}ルヨリ以来、世々ノ將軍、仏家ヲモツテコレヲ葬^{ハウム}ル。シ
カルニ、ナンヂヒトリ、コレヲモツテ非トナシテ、儒法ヲモツテコレヲ
葬^{ハウム}ルコト、ソノ權輿ナリ。ユエニ、國々、儒家ヲ慕^{シタ}フモノ、穠^{シタ}氏ノ法
ヲ棄^ステ、儒家ヲモツテ葬^{ハウム}ル。

本朝、慶長ノ初、源大君ノ治世、文武兼備寛嚴相濟ニシテ、
緊^{キビシ}ク耶穌ノ宗ヲ禁^{ヤソ}ズ。シカルトイヘドモ、コノ邪宗ノ殘黨、有馬ニ
蜂起^{ホウキ}シテ、以^{イワウ}往^{イヨイヨ}、弥^{キセン}モツテコレヲ禁^{キセン}ズ。日本國中ノ貴賤ヲシテ、穠^{キセン}氏
ノ判印ヲ取^{ハンイン}ラシメテ、コノ邪宗ヲ辨^{ベンバク}白^{ハク}シテ、コレヲ禁^{キセン}ズ。シカルニ儒家
ノ輩、穠^{サウハフ}氏ノ判印ヲ用^ヨキズ、葬^{ハナハダシ}法ニ因^{ハナハダシ}ラズシテ、甚^{ハナハダシ}キヲモツテコノ
邪正ヲ辨^{ワキマ}ヘンヤ。

(2 : 21オ) 林氏、『隨筆』ニ曰ク、「我朝、世俗鄙夫ノ軍法ヲナス
モノハ、ソノ要ヲ説^トクコトアタハズ。タダ天文星占望氣ノ遠渺ヲ説^{テンモンセイセンバウキ}キ、
遠渺ヲ説^{エンバウ}キ、

unattested. The character 排 is read as *hiraku* ("to open, to get rid of, to arrange in a row"), while the character for *atsuraeru* is 誂 ("to challenge, to tease; to have something custom-made, to order"). N.B. The latter two glosses of the character 誂 represents a Japanese development; it is not part of the meanings the character has in Chinese.

モツテ^{ショウソウ}少^{ブジン}壯^シノ武人ヲ誣ユ。啻^タコレノミラニアラズ²⁸⁰。浮屠^{フト}ノ呪咀^{ジュソ}禱祀^{タウシ}
ノ根^ネアラザルニ²⁸¹依^{イタク}托^シシ、モツテ^{オノレ}己^{ヒロ}ガ法ヲ弘ム。世ノ白痴^{ハクチ}モ^{オホ}マタ多^キ
カナ。

唐帝^{タウテイ}、西蕃^{セイバン}ノ寇^{アダ}ニ逢^{フクウ}ヒテ、僧^{マジナ}ノ不空^{フクウ}ヲシテコレヲ厭^{マジナ}ハ²⁸²シメ、
西蕃^{ヤブ}、敗^{ハシ}レ奔ル。

《不空、毘沙門ヲ念ジ、神兵數千、西蕃ヲ破ル。》

時ニ奏^{ソウ}ス、神兵數千、空中ヨリ来現ス。甚^{スウセン}畏^{ライゲン}ルベキナリ。スナハチ、
寇^{アダ}、平^{タヒラ}グ。不空、毘沙門天王ヲ念ジ、神兵ヲモツテコレヲ破ルト、シ
カ云フ。浮屠ノ所説^{ショセツ}、コレノゴトシ。爾後^{ソノゴ}、城樓^{ジャウロウ}ニ毘沙門ノ像ヲ立ツ
ルコトモ、マタコノユエナリ。(2 : 21ウ)

知ラズ、果シテ^{ハタ}神兵^オ降り現スル^{ゲン}²⁸³ヤ否ヤ。カレ、コレヲモツテ依
托ヲナス。軍法ノナカニ多聞天ヲ祈リ、陀羅尼ヲ唱へ、般若心經ヲ誦
ジ、大明呪大神呪ヲ称ス。ミナ、コレナルカ、ト」。

余、林氏ガコノ説ヲ覽テ、カツ驚^ミキ、カツ嘆ズ。モシ、汝輩^{ナンヂガハイ}ノ
悪儒ノ邪理邪智アルモノヲシテ、大人君子ノ傍^{オドロ}ニ侍仕^{タン}²⁸⁴セシメバ、ソ
ノ邪理邪智、大人君子ノ眼耳ニ薰習^{クンジフ}スルトキハ、スナハチ、義國武国ノ
家風ヲ失フニアラズシテ、還^{カヘ}リテ、心、異國異法ノ奴婢^{ドヒ}ナラン。ソレ、

280 Transcribed according to the *furigana* given in *Bunshū* vol. 2, p. 434a).

281 Transcribed according to the *furigana* in *Bunshū* vol. 2, p. 434a.

282 In *Mor. II*: 3025 s.v. a great many possible glosses of this character are given, but not the *majinau* that is specified in the *furigana*, both in our manuscript and in *Ise Bunko bon*, and in *Bunshū* vol. 2, p. 434a.

283 The reading ... *ori gen-suru* is based on the *furigana* given in Razan's *Bunshū* (vol. 2, p. 434b).

284 This compound is not attested in the dictionaries, but the alternatives, *saburai-tsukaeru* or *tsukae-haberu*, are rather cumbersome, and do not fit the *okurigana*.

ワガ国ハ、義国武国ナルガユエニ、^{ジンダイ}神代ヨリ^{イワウ}以^ウ往、異國ヲ征ツコトハアレドモ、異國ニ^ウ征タルル²⁸⁵コトハ一度モコレナシ。スナハチ、コレ、
(2 : 2 2 オ) ワガ國、義國武國ニシテ、ワガ^{シンメイ}神明ノ^{キトク}威徳、カノ^{イハウ}異邦ノ^{リヤウイ}神明^カ靈威ニ勝ツユエンナリ。

余、林氏ガ^{セイ}製スルトコロノ『^{ダイセツ}軍書^{ジツク}題説』ノ十則ヲ見ルニ、異國ノ^{サキ}軍法ヲ先ニシテ、ワガ國ノ^{グンキ}軍規ヲ^ツ次ギニス²⁸⁶。聖武皇帝ノ朝、吉備公、^{チュウクワ}軍法ヲ中^{ノット}花ニ傳ヘテ帰ル。ソレヨリ、コノ国、軍法、コレニ則^リテコレヲ傳フ。モシ、コレヲモツテ證トナセバ、吉備ハ近代ニシテ、ワガ邦^{クニ}ノ^{グンリョ}神代、軍旅アリ、皇代、軍旅アリ。

特ニ推古ノ世、^{モリヤ}守屋、ミヅカラ^{ホコ}威権ニ^{ベツ}誇リテ、天皇ヲ蔑スルニ因ルガ故ニ²⁸⁷、推古天皇、太子ト^{ウマコ}馬子ニ^{セイバツ}命ジテ征罰セシム。コノ時、守屋ノ^{セイリョク}軍、^{クワンゲン}勢力アリ、^{コトゴトク}官軍、^マ悉^マ負クルガユエニ、太子、馬(2 : 2 2ウ)子ノタメニ、^{イチヤ}一夜ニ『^{シヤウグンキ}軍旅本紀』ヲ造リ、コレヲ賜フ。將軍木ヲ^{ビシャモン}モツテ^{セウザウ}毘沙門ノ^ホ小像ヲ^{トウハツ}彫リ、^{イタダ}頭髮ノウエニ戴カシム。コレニヨリテ大イニ勝ツ。スナハチ、コレ、ワガ朝、^{ニンワウ}人王ノ代ニ、^ヨ軍法ヲ^{サダ}定ム。軍旅書ヲ^{ツク}製ルコト、スナハチ、コレ、^{ケンヨ}権輿ナリ。イカガコレニ^{イゴ}從ハン、以後造ルトコロノ吉備公ノ^ヨ軍書オヨビソノ^{イワウ}餘ノ軍書ヲヤ。吉備公已往、造ルトコ

285 The function of the character 見 will be to indicate a passive. We have read the clause accordingly. Apparently, 異國 is the *agens*, though it is not marked as such.

286 先シテ could still be read as *sakinjite*, but in the case of 次ス, it is necessary to insert the particle *ni*.

287 The construction ... *ni yorite yue ni* is not correct, but it is indicated by the punctuation, *okurigana*, and *kaeriten* of our manuscript. Ise Bunko *bon*, however, has the *okurigana ga* behind 因, thus indicating the reading "... *keibetsu-suru ga yue ni*, which is much more attractive. We have emended accordingly.

ロノ軍書ハ、^{イコク}異國ノ『^{シチショ}七書』ノ説ニ本^{モトツ}クモノナリ。モシ、ワガ邦、
『七書』ヲ師トシテ異國ト^{タタカ}戦ヘバ、アニコレニ勝^エチ得ンヤ。ワレ、カ
レヲ用キズ、カレ、ワレヲ用キズ。

コノ國ハ、太子ノ『軍旅本紀』ニヨリテ、軍法ヲ^{デンジュ}傳受^{キタ}シ来ル。今
ニ至リテ、軍傳ノ人アリ、^{メンメン}綿々シテ（2：23オ）断^タタズ。武門ニ生レ
軍權ヲ^ト柄ル人ハ、スベカラクコレヲ傳受スベクシテ、異國異法ノ軍法ヲ
用キルナカレ、トイフコトナリ²⁸⁸。

林氏、^{テンモンセイセン}天文星占^{バウキ}289望氣ノ論²⁹⁰、浮屠ノ呪咀禱祀ノコトヲモツテ、
武人ヲ^シ誣フルトナシ、^{フコン}不根ノ説ニナス。シカモ、ナンヂガ製ルトコロノ
『軍書題説』ニハ、軍ノ祭リヲ説キ、望氣ヲ説キ、^{フジュ}符呪ヲ説ク。前後ノ
論、同ジカラズシテ、タダ^{カシヤク}釈氏ヲ呵責シテ、^{リウカウ}流行スルコト、ナカラシメ
ント^{エウ}要スルノミ。

軍旅ノコトハ、^{コウマウ}孔孟スラ、ナホ²⁹¹、コレヲ學バズト謂フ。ナンヂ、
アニ能クコレヲ^シ識ルヤ。孔孟ハ^{ワウハシヨウレツ}王霸勝劣ヲ論ジテ、^{セン}霸ヲモツテ賤トナ
シ、王ヲモツテ^{クキ}貴トナス。ユエニ、異國ノ儒士ノ^{ヤカラ}輩ハ、^{ヘイ}兵ハ^{キョウキ}凶器ナリ
ト論ズ。ワガ国ニオイテハ、王霸の（2：23ウ）ニハ^ニ両眼^{リャウガン}ノ如ク、^{ゴト}

²⁸⁸ This reading *to iu koto nari* is an attempt to deal with the fact that a sentence, which in fact, as is shown by the character 莫, is a prohibition, ends on the particle 也.

²⁸⁹ In view of the text in Razan's *zuihitsu*, quoted *Honkoku*, p. 2:21a, line 2, we assume that the character *ten* in front of *mon* has been omitted. We have inserted it, and combined *hoshi* and *uranai* to *seisen*, notwithstanding the particle *no* that both our manuscript and the Ise Bunko *bon* place behind 星.

²⁹⁰ The punctuation and/or the *okurigana* of this passage cannot be correct. Especially the ‘二’ behind *ron*, in combination with the *no* that precedes it, is strange. As, grammatically speaking, the easiest way to construct the sentence is 「林氏、以・・・之論、・・・之妄、為・・・、為・・・」, we have decided interpret it in this way.

²⁹¹ Our manuscript consistently spells *na-wo*, but the correct spellings is *na-ho*.

リヤウシュ

両手ノ如シ。ナニヲカ貴トナシ、ナニヲカ賤トナサン。

天、相生^{サウシャウ}アリ、相尅^{サウコク}アリ。春夏^{シュンカ}ハ相生ナリ、秋冬^{シウトウ}ハ相尅ナリ。天地ハ相生相尅ヲモツテ、四時^{メグ}ヲ運ラシ、一歳^ナヲ成ス。人ハ天ニ本^{モトツ}クモノナリ。アニ敢^アヘテ天ニ違^{タガ}フヤ。ユエニ、ワレ謂フ、汝^{ナンヂガハイ}輩^{アクジュ}ノ悪儒ヲシテ、大人^{ダイニン}君子ノ傍^{キンジ}ニ近侍セシムル²⁹²コト莫レ、ト。

マタ『軍旅本紀』ニ五綱^{ゴカウ}アリ。曰ク天、曰ク地、曰ク人、曰ク物、曰ク神ナリ。コノ五綱ハ、コノ邦ノ軍旅ノ大綱ナリ。異国^{ヤウヤク}ハ漸^{ヤウヤク}天ノ時、地ノ利、人ノ和ヲ説キテ、物用^{ブツヨウ}、神助^{シンジョ}ヲ説カズ。スナハチ、コレ、ワガ國ノ軍旅ノ異國^{マサ}ニ勝ルトコロノモノナリ。コノ軍旅ハ、(2 : 24才)天ノ時ハ、地ノ利^シニ如カズ、地ノ利ハ人ノ和ニ如カズ、人ノ和ハ物用ニ如カズ、物用ハ神助ニ如カズ、神助²⁹³ハ物用ニ如カズ。物用ハ人ノ和ニ如カズ、人ノ和ハ地ノ利ニ如カズ、地ノ利ハ天ノ時ニ如カズ、ト。カクノゴトク^{ギャクジュン}逆^シ順^シニコレヲ論ズ。タダ神助ヲモツテ^{ガンモク}眼目トナシ、嚙喉^{キンコウ}トナス。

儒士ノ輩、コレヲ知ラズシテワガ國ノ軍法ヲ論ズ。的^{マト}ニ當^{アタ}ラザルノ論ナランカ。ナンヂ、佛呪^{ブツジュ}ヲ輕^{カロン}ジテ、神祝^{シンジュ}ヲ重^{オモン}ズルニ似タレドモ、コノ仏呪ハ神天コレヲ重ズ。ユエニ神前ニオイテ、法樂^{ハフラク}ニ經^{キヤウジュ}呪^{ソラン}ヲ誦ズ。古今ノ傳記ニコレヲ載^ノス。ナンヂ、アニコレヲ見ザルヤ。嗚呼^ア、痛^アキ^{イタマシ}

²⁹² The *okurigana* say *suru*, but in view of the auxiliary of the causative *wo shite* behind *akuju*, it should be *kinji-seshimuru* or *kinji-sasuru*. We have emended accordingly.

²⁹³ In the first instance (*Honkoku*, p. 2:23b, lines 7-8) no particle *no* is inserted between 物 and 用, and between 神 and 助. Neither is the particle inserted between these characters *ibid.*, p. 2:24a. It is, however, inserted between the repeat signs. We assume that this was done routinely, and have, therefore, decided to ignore the particle when it occurs in this position.

ヤ。

(2 : 24ウ) 林氏、『隨筆』ニ曰ク、「花山院^{クラザンイン}ハ、十九ニテ出家^{シュツケ}シ、
本朝^{ホンテウ}、梁武^{リヤウ}トナス。イカンゾ^フ浮屠^トニ惑^{マド}ヘルコト、カクノゴトク甚シキ
カナ」、ト。

余モマタ謂ハン、林氏カクノゴトク、ソレ儒ニ惑ヘルコト、甚シ
キヤ。天竺ニオイテ、釈尊^{ワウキ}、王位^スヲ棄テ、十九ニテ出家ス。ワガ朝ハ、
花山院、ソノ後蹤^{アト}ヲ慕^{シタ}フモノナリ。讚嘆^{サンタン}ヲ加ヘズ、モツテ、詆訾^{テイシ}ヲナス
コト、ナンゾヤ。モシ、王位^ツヲ繼ガザルヲモツテ、カク謂ハバ、漢土ニ
オイテ許由^{キョユウ}、太伯^{タイハク}、天下ヲ讓^{ユヅ}リ王位ヲ受ケズ。シカルトイヘドモ、孔孟、
コレヲ罪セズシテ、コレヲ賢トナシ、コレヲ聖トナス。

《天下ノ佛書ヲ焚^ヤク》

林氏マタ曰ク、「願^{ネガ}フハ天下ノ佛書ヲ挙ゲテ、コレヲ聚メテ焚^{アツ}キ
テコレヲ棄テン。カクノゴトキノ大害^{ダイガイ}、イマダコレ(2 : 25オ)アラ
ザルナリ。アア、天子、佛^{イン}ニ淫ス。悲^{カナ}キカナ²⁹⁴。ソレ、千歳ノ後ノ余ガ
一笑ヲ貽スコトナリ²⁹⁵」、ト。

林氏、ナンヂ、厩戸^{ウマヤド}ノ朕^{チン}ノ一字ヲモツテコレヲ評^{ヒヤウ}ス。モシ、ナ
ンヂガコノ悪言、天子ヲ誹謗^{ヒバウ}スルガゴトキヲモツテ²⁹⁶、モツテコレニ
比^{ヒヘイ}並セバ、九牛ノ一毛ナリ。逆罪^{キウギウ}、イヨイヨ、天^{イチモウ}、コレヲ誅^{ギャクサイ}スルニト
コロナシ。

294 For this reading, cf. *Honkoku*, note 486.

295 Read according to the *okurigana* and *kaeriten* in *Bunshū* vol. 2, p. 362a.

296 We have decided to read the character 将 as *wo motte* instead of *masa ni subeshi*.

ソレ、コノ國ニオイテ、皇子^{クワウシ}出家、天下^リヲ利スルアリ。シカルヲ、ナンヂ、大イニ忌^{キシ}訾^シ297ス。ヨ、ナンヂガタメ、天下^リヲ利スルコトアルノコトヲ論ゼン。ソレ、代々^{ヨヨ}、帝王ノ皇子、モシ出家セズシテ^{リヤウチ}々領地ヲ^{タマ}賜ハバ、スナハチ、武家ノ領地、恐クハ寸土ナカランヤ。今、百口^{イマ ヒヤッコウ}、出家セズシテ、妻女^{サイジョ}ヲ對シ^{ツイ}兒子^{ジゴ}ヲ産^{サン}セバ、一人オノオノ三子ヲ産セン。一生^{イッシャウ}（2：25ウ）三百口ノ人ヲ増^{フヤ}サン。親子トモニ、コレ、四百ノ人ナリ。悉^{コトゴト}ク田地^{デンチ}ヲ與^{アタ}ヘ屋宅^{オクタク}ヲ造ラバ、許多^{キョタ}ノ費^{ツイヘ}ヲナサン。シカルニ、出家ハ、子ナキトキハ、スナハチ、ワレ^{イツコ}一個、何ノ大ナル費^{ダイ}アランヤ。

天下ノ佛書ヲ聚^{アツ}メテ焚キテ、コレヲ棄テントイフハ、實ニ、コレ、ナンヂハ秦世ノ李斯、ワガ朝ノ守屋ト一般、惡逆^{モリヤ イッパン アクギャク}ノ人ナリ。モシ、ナンヂヲモツテ国家ヲ治^{オサ}メシムルトキハ、スナハチ、国制^{コクセイ}ヲ破リ^{ヤブ}国法^{コクハフ}ヲ乱^{ミダ}リ、人ヲシテ塗炭ニ逢^{トタン}ハシム。ユエニ近世以来、国王大臣、ナンヂガ^{マウセツワウダン}妄說横談ヲ聞キテ、佛寺ヲ破却スルモノ、コレ、^{オビタダ}夥^{ヒトヘ}シ。偏ニナンヂ^{ジャケン}ガ邪見ヨリ出ヅ。

推古天皇以来、代々ノ天子、仏法ヲ崇敬^{スウケイ}シタマフ。悉ク天（2：26オ）下ニ弘通ス。東照權現、^{コウツウ}両部^{トウセウゴンゲン}ヲモツテ神トナリ、永ラク兒孫^{リヤウブ}ヲ^{ナガ}守ル。將軍、世々、佛法ヲ皈敬ス。シカルニ、ナンヂ、カクノゴトキノ^{ジソン}悪口^{マモ}ヲナスモノ、天子ヲ欺^{アザム}キ、將軍ヲ^{ナイガシロ}蔑^{マド}ニシ、國王ヲ惑ハシ、臣民

297 The compound *ki-shi* is not attested in the dictionaries.

ヲ亂^{ミダ}リ、ナンヂニ過グルモノハアルベカラザルナリ²⁹⁸。」

扶桑護佛神論卷之中終」

²⁹⁸ This section is also partially transcribed and commented upon by Sonehara; see his "Edo-jidai no shūgō shisō," pp. 326-328.

(3 : 1 オ)

扶桑護佛神論卷之下

リンシ ^{サンワウ} ロン ^{イハ} シウ ^{レイワウ} ケウ ^{イツタンセン} サ
林氏、『山王ノ論』ニ曰ク、「周ノ靈王ノ太子喬、一旦仙シ²⁹⁹去ル³⁰⁰。

テンダイサン ^イ ジャウテイ ^{ジャウカイ} クワンブ ^{メイ} ドウハク ^{シンニン}
天台山人ル。上帝、コレヲ上界官府ニ入レ、命ジテ桐柏ノ真人

ユウヒツワウ ^{ベツショウ} ベウ ^{ガウ}
右弼王ニス。桐柏ハ天台ノ別稱ナリ。ソノ廟ヲ山中ニ建テ、號シテ真

君トナス。コレヲ祭ルニ ^{シルシ} 效アリ、コレヲ祈ルニ ^{イノ} 必ズ ^{カナラ} 應ズ。俗、呼ビテ

^{トチ}
山王土地トス。」

^{シラヒゲ}
《白鬚ノ神》

マタ曰ク、「白鬚ノ神ハ、^{カウシウセイコ} ^{レイ} 杭州西湖ニ靈アリ。コレヲ ^{コクワウ} ^イ 湖光ト謂フ。

キジン ^ヨ ^{ウチウ} ^{セウセウ} ^{コスイ} ^{ナナタ} ^{ヘン}
鬼神ノ山水ニ憑ルハ、宇宙ノアヒダ昭々タリ。ソレ、湖水、七ビ變ジ

^{アシハラ} ^マ ^コ ^{トウカイ} ^{ミタ} ^{サウデン}
テ芦原トナルヲ見ルト云フハ、麻姑ガ東海、三ビ (3 : 1 ウ) 桑田トナ

ルヲ見ルヲ ^カ 假リテ、^{マウ} コノ説ヲ設ク」。

ケダシ、山王、^{ヒヨシ} ^{ミワ} ^{カクベツ} ^{カラダ}
日吉、三輪ノ三神ハ、各別ニシテ體、スナハチ、

^{イチ} ^{オホアナムチノミコト} ^{ヒヨシノカミ}
コレ一ナリ。イカンゾ、三神ノ體トハ、大己貴尊、トクニ日吉神ハ、

オホヤマクヒ ^{タイシ} ^{ジンジャホンギ} ^{カクツチ}
大山咋ニアラザルナリ。白鬚ノ神ハ、太子ノ『神社本紀』、焔着塵ノ

オホカミ ^{セイコ} ^{キジン} ^{ブンメイ}
大神³⁰¹ト謂フトキハ、スナハチ、西湖ノ鬼神ニアラザルコト分明ナリ。

トウセウゴンゲン ^{サンワウイチジツ} ^{ジソン}
東照権現、山王一實ノ神道ヲ慈眼大師ニ傳授シテ、権現トナリテ、兒孫

299 The character 仙 as a verb is not attested in the dictionaries, but in view of the *okurigana* it has to be read this way.

300 If we follow the *okurigana* in Razan's *Bunshū* (vol. 1, p. 289a), we would read *sarite*.

301 The god is located in the Hira-jinja 日浦神社 in Ōmi; see *Taisei-kyō* 71, ZST vol. 4, p. 334. In the edn of 1679 (71/72, frame 18 left), the *furigana* Kakutsuchi no ōkami are given. In the ZST edn, the god is also mentioned vol. 4, p. 359, where the name is written with the characters 焔着塵神. There is no corresponding passage, however, in the edn of 1679.

ヲ守ル誓願アリ。本地ハ薬師、垂迹ハ権現ナリ。

《山王一實神道》

ソレ、山王一實ノ神道ハ、吉田家ノ宗源ニアラズ、習合ニアラズ、
縁起ニアラズ、ナンヂガ建ツルトコロノ理當神道ニアラズ。昔日、
行圓、直ニ（3：2オ）山王ニ傳兼スルノ神道ニシテ、スナハチ、コ
レ社家儒士ノ識ルトコロニアラザルナリ。ナンヂガ仕へ奉ルトコロノ東
照権現ノ尊敬シ玉フトコロノ神佛ヲ³⁰²謗シテ、胡鬼ト謂ヒ、異神トナス
ハ、大逆不忠ノ人、古今見ルコト少キナリ³⁰³。

林氏ミツカラ謂ク、「^{シヤクモン}釈門ノ^{シヤウムテイ}聖武帝、^{ミナモト}源ノ^{ヨリトモ}頼朝、^{トヨトミ}豊臣父子、^{オホトノ}大殿ヲ
造リテ、大像ヲ鑄ル。国家、大ク費エテ、民生ニ益ナシ」、ト。

シカルトキハ、スナハチ、儒家、昔日、大唐ニオイテ聖廟ヲ造リ
テ聖像ヲ鑄、ナンヂラ、近世、扶桑ニオイテ聖廟ヲ^{イトナ}宮ミ聖像ヲ^{テウ}彫ス。
国家ノ費ニシテ民ニ益ナキカ。儒ハ費ナクシテ益アリ、佛ハ費アリ益
ナシト謂フ。不当ノ論ニシテ、我ヲ立テテ他ヲ損スル（3：2ウ）モノ
ナリ。ナンヂ、モシ、廟像ヲ造鑄スルハ、功ヲ報ジテ徳ニ酬イテ、モッ
テ至テ、後世晩学ニ、聖道ヲ敬ヒ儒風ヲ慕フコトヲ教ンガタメナリト

³⁰² The reading ... *sonkei-shi-tamau tokoro no shinbutsu wo* is indicated by the particle *no*, but conflicts with the grammar of the Chinese.

³⁰³ This section is also transcribed and commented upon by Sonehara; see his "Edo-jidai no shūgō shisō," pp. 328-329.

謂ハバ³⁰⁴、^ニ釈門ニモマタシカルナリ。アニソレ^ニアランヤ。ソレ、釈門

ニ^{デンザウ}殿像ヲ^{ザウジュ}造鑄スルコトハ、^{クドク}タダ、^{ホウシュウ}功德ヲ^{フツダウ}報酬シ^{シヤクフウ}佛道ヲ敬ヒ^{ホドコ}釈風ヲ慕フ

ガタメノミニアラズ³⁰⁵、^{キセン}マタ、^{スス}貴賤ヲ^{ゼンシン}勸メテ^{ハツ}^{キンコク}^{ホドコ}306善心ヲ^{ホドコ}発シ^{ホドコ}金穀ヲ^{ホドコ}施シ

^{フクトク}福德ノ^{タネ}種ヲ^{レイハイネンケフ}植エ、^{チジュ}礼拝念經シテ^{イン}智壽ノ^マ因ヲ^マ蒔カシメンガタメナリ。

ナンヂラ、^{ゲンザイイツセ}現在一世ヲ^{サンゼインガ}論ジ、^シ三世因果ヲ^{ヒヨウ}知ラズ。タダ、費用ト想

フコト、^{モット}最^{コトハリ}モ^{トウゼン}理ノ^{コクワウ}當然ナリ。^{ダイジン}国王、^{ユウリョク}大臣、^{ダンゴ}有力ノ^{デンザウ}檀護、^{ザウジュ}殿像ヲ^{ザウジュ}造鑄

スルトキハ、^{キンコク}スナハチ、^{ナガ}金穀、^{サガ}流レ^{モロタミ}下リテ、^ト諸民、^トオノヅカラ^ト富ム。モ

シ、^{キンコク}造鑄ナキトキハ、^{ツモ}スナハチ、^{バンカ}金穀、^{バンカ}上ニ^{バンカ}積リテ、^{バンカ}萬家、^{バンカ}(3 : 3オ)

^{ヒンキョウ}貧窮ス。スナハチ、^{シゼン}コレ、^{コトハリ}自然ノ^{コトハリ}理ナリ。モシ、ナンヂガ見ルトコ

ロニ^{テンジクシンタンフサウ}因ラバ、^ヨ天竺震旦扶桑、^{ショコク}ソノ^{トモガラ}餘、^{トモガラ}諸國古今、^{トモガラ}殿像ヲ^{トモガラ}造鑄スルノ^{トモガラ}輩

ハ、^{ムシキ}コトゴト^{チジン}く^{ヒト}無識ノ^{ヘンケン}痴人ニシテ、^{ヘンケン}ナンヂ^{ヘンケン}獨り^{ヘンケン}智アリト^{ヘンケン}思フカ。^{ヘンケン}偏見ノ

^{イササカ}邪儒、^{ヘリクダ}些ノ^{カヘリミ}悞^カリヲ^カ省^カルハ^カ可ナリ。

《片岡餓人》

^{リンシ}林氏、「^{カタオカ}片岡ノ^{ガジン}餓人、^シ死シテ、^{ハカ}墓ヲ^{キツ}築キテ^{ハウム}コレヲ^{カツ}葬ル。ソノトキ^{カツ}曾テ

^{ダルマ}モッテ^{ダルマ}達磨トスルコトナシ。^{コウジン}後人ノ^{テラ}禪ニ^{フクワイ}銜フモノ、^{フクワイ}附會シテ^{フクワイ}モッテ^{フクワイ}コレ

ヲ^イ言フ。^{コクワン}虎関、^{シヤクショ}『^{ヘン}釈書』ヲ^{デン}編シテ、^{デン}コレガ^{デン}傳ヲ^{デン}ナシ、^{デン}スナハチ、^{デン}イヨ

304 The *kaeriten* and *okurigana* in our manuscript are a mess. Evidently, the phrase 「聖道ヲ敬ヒ儒風ヲ慕フ」 depends on 教, which in turn depends on 為. The main clause is 釈門亦爾; everything in front is a conditional clause. For consistency, we have also changed the particle *wo* to *ni*, and inserted *koto wo*.

305 Again, the *kaeriten* given in our manuscript are incorrect. We have emended them.

306 The particle *wo* makes no sense here. We have, therefore, decided to emend it to *-te*, parallel to the *-shite* after *reihai nenkyō* in the following clause.

イヨ真^{シン}ヲ乱^{ミダ}ルナリ。ワレ想^{オモ}フニ、ソノ餓^{ガヘウ}葶^ハハ、マタ當^{タウジ}時^{イジンナラクノミ}ノ異人而巳。
ナンゾモツテ磨^マトナサンヤ」。

林氏ハ、（3：3ウ）世ヲ惑^{マドハ}シ君ヲ誣^シフ。狂妄^{ギャウバウ}ノ士ナリ。ミツ
カラコレヲ好^スカザルヲモツテ、カノ『日本紀』、『大成經』、
『釈書』、オヨビ墓^{ボジ}寺、コレヲ附^{フガフキョセツ}合^カ虚^{ノコ}説^トト謂^{ヒテ}ヒテ、書ヲ筆^カキテ世ニ遺
ス。モシ、人アリテ、『史記』ノ「孔子ノ世家」オヨビ魯^ロノ城^{ジャウホク}北^ノ
泗^{シジャウ}上^{ボシヨ}ノ墓^{ボシヨ}處^{ボシヨ}ヲモツテ、コレヲ附^{バウダン}合^{バウダン}妄^{バウダン}談^{バウダン}トナサバ、ナンヂ、アニ、コレヲ
イ容^イレンヤ。

ケダシ、聖徳太子、真人^{シンジン}、至人^{シジン}ナリ。ユエニ、神通^{シンツウリキ}力^{ソナ}ヲ具^フフ。カ
ノ餓^シ人、達磨ナルコトヲ知^シラズシテ、コレニ御衣^{オンゾ}ヲ贈^{オク}ランヤ。昔年^{セキネン}、ナ
ンヂノゴトキ邪^{ジャギ}疑^ギノ人アリ。ユエニ、太子、人ヲ差^{ツカ}ハシテコレヲ開^{ヒラ}カシ
ムルトキハ、スナハチ、全身^{ゼンシンダツキョ}脱^{タマ}去^{タマ}ス。タダ、賜^{タマ}フトコロノ御衣^シノミアリ。
使臣^{シシン}、御衣^{オンゾ}ヲ取^{タテマツ}リテ太子ニ献^{タテマツ}ル。太子、ミツカラソノ御衣^シヲ服^スス。

（3：4オ）達磨ニアラズシテ、餓^{ガヘウ}葶^ハノ異人、アニカクノゴトキ神威^{シンキ}ア
ランヤ。ナンヂ、聖賢^{セイケン}常^{ジャウダウ}道^{チロン}ノ治^シ論^シノミヲ知^シリテ、真人^シ至人^シノ大神通^シヲ
具^{ソナ}フルヲ知^シラズ。ジツニ、夏^{ナツムシ}虫^{タイ}ニ對^{フユユキ}シテ冬^{カタ}雪^{カタ}ヲ語^{カタ}リガタキモノカ。

聖徳太子、九品^{クホン}ヲ分^ワケテ、上^{ジャウサンボン}三^{サン}品^{ボン}ハ、日^{ニチ}ク真人^シ、日^{ニチ}ク至人^シ、日^{ニチ}ク聖人^シ、

チュウ 中 三品ハ、曰ク賢人、曰ク大人、曰ク善人、下三品ハ、曰ク記人³⁰⁷、
セウジン セウジン アクニン ヨ ヒトトナリ カウシ
曰ク小人、曰ク悪人。余、林氏ノ為人ヲ考視スルニ、記人ニシテ小人
ナリ悪人ナリ。

ユエンハナントナレバ、林氏、『禪徒ニ告グル』ノ文ニ曰ク、
ダイトウコクシ キツジン ゴデウハシ キ
「大燈國師、初メ、乞人ニシテ五條橋ノ下ニ居」、
サイシ オンアイ ヨク タ ツマ サケ カ ヨ
ウ) 妻子アリ。恩愛ノ欲ヲ断タンガタメ、妻ヲシテ酒ヲ買ハシム。因リ
テ、戸ヲ閉ヂテ、ソノ二歳ノ兒ヲ殺シテコレヲ串灸ス³⁰⁸。妻、還ルニオ
ヨビテ、コレヲ見テコレヲ恠ム。スナハチ、灸カレル兒ヲ噉ヒテ
ダイトウコクシ
《大灯國師灸ル兒ヲ噉フ》

イン ツラツラ ミ ケウクワン トウ スナハチ イ
モツテ飲ス。妻、熟ト視テ、大キニ叫喚シテ出ヅ。灯モマタ便出
ヅ」。「アア、佛氏ノ蔽心ココニ至ル。酷イカナ。虎狼ノ仁ヤ、ソノ子
クラ ジンリン ホロボ ギリ タ
ヲ食ハザルヲモツテノユエナリ。カレ³⁰⁹、人倫ヲ滅シテ、義理ヲ絶ツ。
アツモノ スス カゴ ハナ オヨ
糞ヲ啜ルハ、鹿兒ヲ放ツニ及バズ。イハンヤココニオイテヲヤ。ソノ
タイギワタシ ショシャウ ハハ テンサツ ダイザイ アイダ オナジ
大義渡³¹⁰ニソノ所生ノ母ヲ擲殺スルモノト、大罪ヲ天地ノ間ニ同ク
ス。マコトニ懲ラスベシ³¹¹」、ト。

林氏、ミヅカラ一代ノ儒宗ト稱ス。書傳ニ因ラズシテ、妄ニ

307 This compound is not attested in the dictionaries; the reading may also be *kijin*.

308 If we would follow the reading marks of Razan's *Bunshū*, we would read ... *koroshi, kushi ni shi, kore wo iru*. So, "to roast" instead of "to bake," which is hardly a relevant difference. The strangest choice is the character 灸, which is usually read as *yaito* (< *yaki-to[koro]*) and means "the place where the moxa is put on somebody's skin." To read it as *yaku* is strange.

309 Our manuscript inserts the particle *no* at this place, but as it cannot really be accommodated, we have decided to ignore it.

310 Place name: The Crossing at Dayi.

311 For this emendation, following Ise Bunko *bon* and Razan's *Bunshū*, vol. 2, p. 227b, see *Honkoku*, note 564.

セケンマンラン^{モチ}ノ説ヲ用ユ。コレヲ記シ、世ニ傳フ。^{ツタ}（3：5オ）釈氏ヲ排シ
テ儒家ヲ興隆^{コウリュウ}サセントホリス。ジツニ憐愍^{レンビン}スベシ。ソレ天下古今ノ書
ヲ閱スルニ、ソノ子ヲ殺シテコレヲ食フモノアラザルナリ。^{ダイトウ}大燈、釈氏
ニシテ、コノ悪業ヲ作ランヤ。林氏、釈氏ヲ嫌ル。^{イヤガ}偏小ノ見、大悪心、
ココニ見ルベシ。アニ、イハユル記人ニシテ小人ナリ、悪人ナルニアラ
ザンヤ。^{アア}晒、^{コノヒト}モシ、^ナ斯人ヲ微クセバ、^{バツゼツゴク}ダレカ拔舌獄ニ墮ン。^{オチ}イマ、ソノ
^{ジソン}兒孫タルモノ、^{ハナハダ}甚シクシテ、コノ邪説ヲ關ケザルヤ。

林氏、カツテ、宋儒ノ涎唾^{ヨダレ}^ナヲ嘗メテ謂ク、「^{フト}浮屠ノ^{ソウカウ}宗杲³¹³、一日、
^{チャウナンケン}張南軒ニ謁シ、^{エツ}『一以貫之』ノコトヲ問フ。南軒曰ク、^{イチクワン}『一貫
ハ、（3：5ウ）ナンヂト言フハ³¹⁴易カラズ。シバラク忠恕イカント
^イ道ヒ^{モチ}將テ^{キタ}来レ³¹⁵』。杲³¹⁶、言フコトアタハズシテ去ル。^{カレ}渠³¹⁷、^{シセウ}子韶ヲ
^{ソハナハ}唆シ³¹⁸了ル。^{ヲハ}忽、^{タチマチ}南軒ニ遭ヒ、^ア觀破^{クワンパ}³¹⁹シ了ラル³²⁰」、ト。

312 A compound *sen-da* does not seem to exist, so we read *yodare*. We also have emended the *okurigana* no to *wo*.

313 We have emended the second character of the name following *Bunshū* vol. 2, p. 413b; see *Honkoku*, notes 569 and 570.

314 The *okurigana* in *Bunshū* vol. 2, p. 413b, make clear that 不易 must be read *yasukarazu*. This means that the *okurigana wo* cannot be correct. The possibilities that remain are *iu wa yasukarazu* and *ii-yasukarazu*. Unfortunately, the text in the *Bunshū* does not supply the *okurigana* necessary to settle the matter.

315 The reading of the last three characters is based on the *okurigana* in *Bunshū* vol. 2, p. 413b. The character 將 will be used according to *baihua* conventions, and indicate that the action of the preceding verb is extended.

316 Our manuscript writes 果, but that will be a mistake. Cf. *supra*, note 313.

317 The *kaeriten* 'ニ' is mistaken; it should have been added to the next character.

318 For the reading, see *Honkoku*, note 571.

319 Our manuscript has the character 覩 (*chu*; J. *sho*; Mor. X: 34945). It is a very rare character, but the compound *shoha* is attested in *Mumonkan* 無門関 ("The gateless barrier") no. 47, the famous collection of Chan *kōan*'s by Wumen Huikai 無門慧海 (1183-1260). In *Bunshū* vol. 2, p. 414a, the character 觀 is used. The dictionaries do not list a compound *kanpa* with this character, either, but they do carry the

イチラクサク コノ一絡索、メンボク 儒家ノ面目トシテ、ブンシフ 文集ノナカニ處々ニコレヲ論ズ。

タメ 試シニ、ナンヂガタメニ、コレヲ 辨^{ワキマ}ヘム。ダイエ 大慧禪師、忠恕ヲ知ラズシテ、南軒^{タイ}ニ對シテ言ハザルカ。知リテ、ユエニ言ハザルカ。チュウジョ 忠恕ノ義ハ、スウソウ 雛僧、コレヲ知リ、シウサイ 秀才、コレヲ 辨^{ワキマ}フ。大慧、アニ知ラズシテ答ヘザランヤ。

ケダシ、南軒ガタメニ一語ナキハ、痛キトコロニ針錐^{シンスキ クダ}³²¹ヲ下スモノナリ。ナンヂラ 聰明ニ自負^{ソウメイ ジ フ}シテ、大慧、「一貫」、「忠恕」ヲ知ラズト抑視^{ヨクシ}³²²ス。ミヅカラ 井中ニ坐シテ天ヲ見テ、別ニ天ナキヲ想^{オモ}フナリ。ハナハダ 甚 (3 : 6オ) 笑フベシ。

イマ、ココニ、人アリ、大虚空ヲ撮^{ダイキョクウ ト}リ、モツテ 両片トナス。一片ヲ貴^{クキ}ト、一片ヲ賤^{セン}ト謂ハン。ソレ、コレヲ智ト謂ハン、マタ、不智ト謂ハンヤ。林氏曰ク、「翠竹、真如ニシテ、黄花、般若ナリ。見レバ、スナハチ、高キナリ。シカレドモ、ソノ實^{ジツ}ナシ。鳶飛^{トビト}ビ魚躍^{ウヲオド}ル、道ソノナカ

compound 看破, which comes down to the same. Note, that the auxiliary of the passive is not attached to the main verb, but to the auxiliary *owaru*. *Kanpa-serare-owaru* or *kanpa-serare-owannu* would have been the usual construction. This is also the construction indicated in the *Bunshū* (vol. 2, p. 414a).

³²⁰ The *okurigana* in *Bunshū* vol. 2, p. 414a, indicate the reading *Nanken ni kanpa-serare-owarinu* (the final *okurigana su* must be a mistake for *nu*). The character 遭 is used as a kind of auxiliary of the passive. The *okurigana* in our manuscript also indicate a passive, but they read 遭 separately: *Nanken ni ai, kanpa-shi-owararu*.

³²¹ For the reading of this compound, see Mor. XI: 40667-33.

³²² The compound 柳視 is not attested, and on the face of it, it is a highly unlikely combination. Assuming it is a mistake, the most likely intended character combinations would be 仰視 (*gyōshi > aogi-miru*) and 抑視 (**yokushi > osae-miru*). Though the latter compound is not attested, its putative meaning (“to look down upon”) would fit the context better than “to look up to.” 抑視 is also the compound used in Ise Bunko *bon*. We have emended accordingly.

ニアリ。上下、明察シ、活キテ{魚+發}³²³々地ナリ。萬物、ワレニ備ル、
 皆、實理ナリ。アア、大ナルカナ。モシ、ソレ、イハユル『翠竹黄花』
 ハ、スナハチ、アニタダ見解ノ虚遠ノミナランヤ。本工夫ノ實用ナシ
 324。イハンヤ「世間常住」^{セケンジャウヂュウ}、「満月青山」^{マンゲツセイザン}ヲカ。異端ニ淫スルモノ、
 カクノゴトキカ」、ト。

余、林（3：6ウ）氏ガコノ説ヲ見ルニ、虚空ヲ撮り両片トナシ、
 貴賤ヲ諍フ。心見³²⁵、聾盲ノ人ナリ。イカントスレバ、「翠竹真如、
 黄花般若」ハ境ナリ。「鳶飛魚躍」ハ人ナリ。人ニ會フトキハ、スナ
 ハチ、境ニ會ヒ、境ニ會フトキハ、スナハチ、人ニ會フ。人境、不二
 ナリ。ユエニ曰ク、「色即是空、空即是色」、ト。マタ曰ク、
 「諸法實相」、ト。儒ニ曰ク、「一草一本、天理、悉ク備ル」、ト。マ
 タ曰ク、「春風駘蕩、家々ニ到リ、天理流行、日日新ナリ」、ト。シ
 カルトキハ、スナハチ、林氏、佛理ヲ會セザルノミニアラズ、儒理モ
 マタ大イニ暗シ。

マタ曰ク、「イハンヤ『世間相常住。満月青山』ヲヤ」、ト。ソ
 レ、コノ二句、一句ハ佛説ナリ、一（3：7オ）句ハ祖語ナリ。モシ、

323 The intended character is Mor. XII: 46485 {魚+發}. It is not in the font.

324 Read according to the *kaeriten* and *okurigana* in Ise Bunko *bon*. The *okurigana* in *Bunshū* vol. 2, p. 402a, also read *nomi naran ya*. It is unclear, however, what the function or meaning of the *furigana toru* next to the character 遠 would be.

325 There is a line connecting the characters 心 and 見, indicating that the copyist regards the two as a compound, which would imply the translation "a person whose 'heart-see' (mind's vision?) is deaf and blind." This interpretation would also best fit the (lack of) *kaeriten*. 心見 is attested as a compound (see Mor. IV: 10295-131), but the reading given is *kokoro miyu* (-/2), with a *locus in Makura sōshi* 12. This interpretation conflicts with the Chinese sentence order. A third interpretation, that would fit the grammar of the Chinese sentence, is to take Chōon as the subject and to translate "[My] heart sees >) In my heart I see ..." Our translation is based on this last interpretation

ナンヂガ見ルニヨラバ、スナハチ、「翠竹真如、黄花般若」ヲ高キトナシ、「世間常住、満月青山」ヲ低^{ヒク}キトスルモノナリ。マタ、コレ、虚空^{コクウ}ヲ撮リテ両片トスルノ上ニオイテ、眼花^{ガンクワ}ヲ生^{シヤウ}スルモノナリ。ナンヂ、モシ、儒^{クワイ}ヲ會スルトキハ、スナハチ、佛ヲ會セン。儒ヲ會セザルユエニ、特^{トク}ニ異論ヲ生ス。儒佛、入門^{ニフモン}、異ナリトイヘドモ、奥室^{オクシツ}ニ到ルトキハ、スナハチ、コレ同ジ。イハンヤ儒門ノ聖人、果滿^{クワマン}ノ如来^{ニョライ}ニ及^{オヨ}バザルコト、天壤^{テンジャウ}ノ隔^{ヘダタ}リナリ。ナンヂラノ見ルトコロノ及バザルトコロノモノカ。

林氏³²⁶、『八耳^{ヤミミ}ノ太子^{ベン}ノ辨』ニ曰ク、『春秋^{シュンジュウ}』ノ法ニヨルニ、鄭^{テイ}ノ公子^{コウシ}歸生^{キセイ}、君夷^{キミイ}ヲ殺^{コロ}ス³²⁷。實ハ公子^{ソウ}宋^{ソウ}コレヲナセリ。八耳ノ太子、天皇ヲ殺ス。實ハ直^{アタヒ}（3：7ウ）駒^{コマ}、コレヲナセリ。林氏、直駒ヲモツテ天皇ヲ殺シ、アルイハ蘇馬子ト謂ヒ、アルイハ《八耳太子、逆罪^{ギャクザイ}ヲナス》

八耳ノ太子ト謂ヒテ、逆罪^{コンボン}ノ根本^アニ當ツ。

余、ソノ意ヲ較^{クラ}ブルニ、八耳ノ太子、馬子、佛法ヲ興隆^{コウリュウ}スルヲモツテ³²⁸忌悪^キ³²⁹ニシテ、太逆^{ダイギャク}ヲ二公^オニ負ハス。

326 As the subject evidently changes, a new section should have begun here, putting 林氏t at the a new line. We consider this a scribal error, and have decided to begin a new section here.

327 The reading *yoru ni* is based on Ise Bunko *bon*. Furthermore, we have decided to read 殺 as *korosu*, and not as *koroshite*, which reading is indicated by the *okurigana* in our manuscript. Reading *koroshite* would make the verb subordinate to *naseri*. However, the following *jitsu ni* makes clear that the two verbs are adversative, not coordinated.

328 The sentence comes out nicely in Japanese, but if it were Chinese, Yatsumimi-taishi and Umako, being the subjects, should have been put *in front of* the verbal compound 興隆.

崇峻^{スシユン}天皇ノ悪^{アクギヤク}逆、還^{カヘ}ッテ紂^{チュウケツ}桀^{マサ}ニ勝レリ。シカルヲ直駒コレヲ殺

ス。モシコレヲ佛法ノ罪ト謂ヘバ、湯武^{タウブ}、紂桀ヲ殺スコト、ナンヂ、イ
カガトナサンカ。曾子^{ソウシ}ノ曰ク、「好^ヨケレドモソノ悪^{ワル}キコトヲ知り、悪ケ
レドモソノ美^ヨキコトヲ知ル」、ト。シカルトキハ、ナンゾ、悪ケレドモ
ソノ美キコトヲ知ラズ、好ケレドモソノ悪キコトヲ知ラザルヤ。孔孟^{コウマウ}ハ
聖賢ナリ。太子ハ真^{シンシ}至³³⁰ナリ。シカルニ聖賢ヲモツテ真至ヨリ勝レリ³³¹
トナセバ、譬^{タト}ヘバ（3：8オ）銅鐵^{ドウテツ}ヲモツテ金銀^{キンギン}ヨリ勝ルトスルガゴト
シ。人、ダレカコレヲ信センヤ。

ソレ應神^{オウジン}天皇ノ朝、儒書、始^{テウ}メテ本朝ニ渡^{ハジ}ル。シカリトイヘドモ、
ワガ朝ニコレヲ讀ムモノ少シ。ユエニ音語^{オンゴ}ヲ用キルノミ。和訓^{ワクン}ヲ辨ヘズ。
推古^{スイコ}ノ朝ニ到リテ、八耳ノ皇子、始^{テウ}メテ漢字一万三千字ニ和訓シテ、
以^イ往^{ワウ}、ワガ朝ノ人、漢土ノ文字^{モジ}ヲ知り、漢朝ノ儒理^{ツウ}ニ通ズ。

林氏、ナンヂラ、八耳ノ太子ノ文字造化^{ザウクワ}ノ餘澤^{ヨタク}ヲ蒙^{カウム}リテ、漸^{ヤウヤク}文
字ヲ知り儒理ニ通ジテ、還^{ヘンハク}ッテ太子ヲ貶^{ヘンハク}剝^{ヘンハク}シテ大逆ノ人トナス。逢蒙^{ハウモウ}、
射^イヲ羿^{ゲイ}ニ學^{マナ}ビテソノ師^{ガイ}ヲ害ス、ト。一般ノ人ナリ。

（3：8ウ）林氏、『光明^{クワウミヤウクワウゴウ}皇后ノ辨』ニ曰ク、「林氏、アル説ニ托^{タク}

329 This compound is rare, if it exists at all. In *Taisei-kyō* 6 we read 「是於神樂庭、忌惡者人來、引注連繩、其法元也」, but if we follow the *okurigana* given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 6:20a, this phrase is to be read as: *Kore, gagakutei ni oite, saganaki hito-mono kitaru wo imite, shimenawa wo hiku, sono hō no moto nari*. So, the two characters do not form a compound. On the other hand, as in our manuscript 悪 is used as a verb, the reading *wo* seems indicated.

330 *Shinjin* 真人 and *shijin* 至人 are the two highest categories of human beings. For the complete list of nine, see *Gobusshin-ron* 3:4a.

331 In this and in the following instance, we emend 劣 to 勝. For the reasons, see *Honkoku*, note 585.

シテ曰ク、光明皇后、^{ヲンシツ} 温室ヲ^{マウ} 設ケ、^{ユアミ} 浴ヲ^ト 取ラセ³³²テ千人ノ^{アカ} 垢ヲ^サ 去ル。

^{ホトケ} 佛ヲ^{コノ} 好ムノ^{ツミ} 罪ナリ。^{ソト} 外ガ佛ニアリ、^{イン} 内ガ淫ニアリ」、ト。

孔子ノ^{イハユル} 所謂「君子ハ^{サト} 義ニ^{セウジン} 喻リ、小人ハ利ニ^{セウジン} 喻ル」、アニソレシカラザランヤ。林氏、^{ヘイゼイ} 平生、^{カウシヨク} 心、^カ 好色ニアリ。ユエニ他ノ^{ゼンカウ} 善行ヲ見テ、却テ、淫乱トナス。ソレ、^{エイ} 衛ノ^{ナンシ} 南子ハ^{レイコウ} 靈公ノ^{フジン} 夫人ニシテ淫行アリ。孔子、コレニ^{マミ} 見え、^シ 子路、^{ヨロコ} 悦バズ。^{フシン} 不審タル南子ノ淫行ハ、孔子ニ見ユルヲ^{コノ} 好ムノ^{ツミ} 罪カ。

ワガ光明皇后ハ、^{バンネン} 晩年ニ^{ダイセイガン} 大誓願ヲ^{ハツ} 発シテ、^{コンリフ} 温室ヲ建立シテ、貴賤ノタメニ垢ヲ取ル。ユエニ最後ニ^{アシュク} 阿闍^{ブツ} (オ) 佛ノ^{ライゲン} 来現ヲ^{カン} 感ジ、^{アラタ} 新ニ^{ガラ} 伽藍ヲ^{カマ} 構ヘテ^{アシュクデラ} 阿闍寺ト^{シヤウムクワウミヤウ} 號ス。^タ 聖武光^{ザウ} 明ノ、^イ 大伽藍ヲ建テテ大佛像ヲ^イ 鑄、^{トモ} 共ニ^{ボサツダイカイ} 菩薩大戒ヲ^{サンカイダン} 受ケ、^{サンコクジュウ} 始メテ三戒壇ヲ^{アマネ} 三國中ニ^{アマネ} 建テテ、^{アマネ} 普ク伽藍ヲ六^{アマネ} 十六州ニ^{ツク} オイテ^{セキジツ} 創ルト^{リヤウジュセン} キハ、^{クワイジャウ} 昔日、靈鷲山³³³ノ^{クワイジャウ} 會上ニ^{クワイジャウ} オイテ、佛ノ^{フシヨク} 佛法國王大臣有力ノ^{ジュキ} 檀那ニ^{ナン} 付囑スルノ^{ナン} 受記ヲ^{ナン} 蒙ルニアラズンバ、^{ナン} 奚³³⁴ゾ^{ナン} 得テカクノゴトキ大勝事ヲ^{ツク} 作ランヤ。ナンジラガ得テ識ルトコロニアラザルナリ。

林氏、^{ジフシチデウ} 『十七條³³⁵ 憲法ノ^{ケンパフ} 辨』ニ曰ク、「ソノ十六ハ可ナリ。三宝ソノ一、

332 The causative is inspired by the use of the auxiliary 令 in the parallel passage in *Bunshū* vol. 1, p. 294b; cf. *Honkoku*, note 588.

333 靈山 is short for 靈鷲山, which is the Chinese name for the Grdhrahakūṭa, a mountain to the north-east of the capital of the Indian country of Magadha, where the Buddha preached *i.a.* the Lotus Sutra.

334 The *okurigana no* given in our manuscript makes no sense. As the particle 奚 is to be read as *nanzo*, no probably is a mistake for *zo*. We have emended accordingly.

335 Following *Bunshū* vol. 1, p. 292b, we have inserted the character 條 into the title of the disquisition.

フカ
不可ナリ。ワレ、佛老ノ三宝ノ危^{アヤフ}キヲ捨^ステテ、孟子ノ土地、人（3：
9ウ）民、政事ノ三宝ノ安^{ヤス}キヲ取ル、」ト。

ココロ
試ミニ林氏ニ問ハン、ナンノトコロカ、穉老ノ危キトコロ、ナン
ノトコロカ、孟子ノ安キトコロ。ナンヂ、記人ニテ小^{セウアクシツ}悪質ナルガユエニ、
ニンマ
恁^マ麼³³⁶ノ説ヲナス。タダ聖賢ノ書ヲ讀ミ、曾^{カツ}テ真至ノ書ヲ知ラズ。ミツ
カラ謂ヘリ、「孔孟ノ政道ハ古今無^ム雙^{サウ}ナリ。ユエニ太子ノ憲法ヲ^{パウ}謗シテ
不可トナスナリ」、ト。孔孟ハ漸^{ヤウヤ}ク聖賢ナリ。ナンヂ、謗スルトコロ
ノ太子ハ、真至大聖皇太子ト^{オクリナ}諡^ナスルモノナリ。孔孟、一代モ一國ヲ^{ヲサ}治
メズ、イハンヤコノ天下ヲヤ。太子ハワガ朝、^{セツシャウ}摂政関白ノ始メニシテ、
天下ヲ^{ヘイチ}平治スルノ人ナリ。アニ孔孟ト日ヲ^{オナジ}同^{ナジ}ウシテ論ズベケンヤ。

孔孟ノ政道ハカノ（3：10オ）國ニ^{ヨロシ}宜クシテコノ國ニ宜カラ
ズ、コノ國ノ政道ハカノ國ニ宜カラズシテ、コノ國ニ宜シ。國々ノ政道、
自然ニ^{サウヘン}相變スルモノナリ。^{タト}譬^ヘバ、醫ノ陽國陰國ノ人ヲ^チ治スル^{ヤクハウ}藥方、同
カラザルノゴトキモノナリ。ケダシ、ナンヂガコノ辨ハ、シュンアン³³⁷
^{ダイホウ}ノ大鵬ヲ笑フノ^{イハ}謂レカ。

リンシ
林氏、『^{ジンムテンノウ}神武天皇ノ^{ロン}論』ニ曰ク、「^{ヒガシヤマ}東山ノ^{エンゲツ}圓月、カツテ『^{ニホンギ}日本紀』ヲ
シウ
修ス。朝^{テウギ}議^{カナ}³³⁸協^ハハズシテ果^{ハタ}サズシテ、ツヒニソノ書ヲ^ヤ火ク。余、ヒソカ
ニ^イ円月ノ^{オモ}意ヲ^{アン}惟フニ、諸書ヲ^ゴ按^{タイハク}ジテ、日本ヲ^{アト}モツテ^{トス}呉ノ太伯ノ後トス」。

336 This compound is a *baihua* (“spoken Chinese”) expression, glossed as *konna, sonna*.

337 See 9588. As the characters are not in the font, we give the transcription in *hiragana*.

338 See *Honkoku*, note 601. Following *Bunshū* vol. 1, p. 280a, we have emended 儀 to 議.

アルイハ「三讓^{サンジャウリヤウジ}兩字ヲモツテ、伊勢皇太神宮ニ掲^{イセクワウタイジンクウ カカ}グ。ソノ牽^{ケンガフ}合

附會^{フクワイ}、カクノゴトシトイヘドモ、(3:10ウ)シカモ、ソノ理^{コトハリ}アル
ニ似^ニタリ」。

マタ林氏^{シンジョ}『晋書』ヲ引キテ曰ク、「日本ハ、ケダシ、夏后少康^{カコウセウカウ}ノ
裔^{エイ}ナリ」。「太伯ノコト、スナハチ、古人^{コジン}、多クコレヲ言フ。余、始^{ハジ}メ
テコレヲ言ハズ。少康ノコトハ、『晋書』ニ姑^{シンジョ}一説ヲ備フ。マコトニ、
コレ上世^{ジャウセイ}ノ遠^{トホ}キナリ。詳^{ツマビラカ}ニ知ル^ニ、ヤスカラザルナリ」。

マタ、林氏、アル説ヲ引キテ曰ク、「『吾邦、八咫ノ鏡^{ワガクニ ヤタ カガミ}、草薙^{クサナギ}
ノ劍^{ヤサカニ}、八坂瓊ヲモツテ、三種^{サンシュ}ノ神器^{ジンギ}トス。灵神^{レイジン}、天ニ繼^ツギテ、宇内^{ウダイ}ヲ馭^{ギョ}
339シテヨリ、固^{マコト}ニ三器^{サンギ}アリ。コレ鏡^{カガミ}、コレ劍^{ツルギ}、コレ璽^{シルシ} 340、スナハチ、
天成^{テンセイ}ニ出^イデテ、歴代^{タカラ}、コレヲ寶トス。イマ、モシ、子ガ言フノゴトク
ンバ³⁴¹、スナハチ、コレモマタ異邦^{イハウ}ノ寶器^{ホウキ}ニシテ、人為^{ジンキ}ニ出ヅルナリ。

イカン』。對^{コタ}ヘテ曰ク、『太(3:11オ)伯ノ逃^{ノガ}レ去^サルトキ、アニ

器物^{キブツ}ノ提携^{テイケイ}襲藏^{シフザウ}スベキハアラザランヤ。ソノ祖^ソ、公劉^{コウリュウ}、干戈^{カンクワ}戚揚^{セキヤウ}マデ

ニ、モツテ行^{カウ}ヲ啓^{ヒラ}クアリ。太伯、ナンゾ、スナハチ、祖ノ法^{ハウ}ニ則^{ノット}ラザ

ランヤ。タダ、天下^{ユズ}ヲ讓^{オモ}ルノミ。想^{タイハク}フニ、太伯、匹夫^{ヒツブ}ノ行³⁴²ヲナサザラ

339 Following *Bunshū* vol. 1, p. 281a, and Ise Bunko *bon* we have emended the character 劍 to 馭. Cf. *Honkoku*, note 612.

340 Following *Bunshū* vol. 1, p. 281a, and Ise Bunko *bon* we have emended the character 璽 to 璽, which undoubtedly is the character here intended. Cf. *Honkoku*, note 613.

341 Both our manuscript and Ise Bunko *bon* clearly write have the *okurigana* -ki-n-ha, and *Bunshū* vol. 1, p. 281a, only has *n-ha* as *okurigana*. Nevertheless, the usual expression is *gotoku-n-ba* ("if it is like ..."), which would also fit the context better. We have, therefore, decided to emend *gotokinba* to *gotokunba*.

342 See *Honkoku*, note 615. For the reasons given there, we have emended the particle *ka* to *wo*.

ンヤ』」。

マタ、呉^ゴニ李札^{キサツ}ガ^{ツルギ} 劔^{フサ}、夫^{シヨクル}差^{シウ}ガ^{セキトウ} 屬^{ダイクン}鏤^{コウヘキ}、周ノ赤刀、大訓、弘璧、
琬琰^{エンエン}、五瑞^{ゴズイ}ノ類^{ルイ}ヲ引^ヒキテ、モツテ三^{サンシュ}種^{ジンギ}ノ神器^{シンコク}トス。アア、林氏^{リンシ}ハ、神國
ノ人^{イコク}ニシテ、異^{ジンクワウ}國^{タツト}ノ人^{クニ}皇^{シンメイ}ヲ貴^{イヤシ}ブ。ワガ邦^{タイギヤク}ノ神明^{カニ}ヲ鄙^ヒトス³⁴³。大逆
不道^{フダウ}、刑罰^{ケイバツ}アマリアリ。コノ邦^{クニ}、開^{カイ}闢^{ビヤク}以^イ往^{ワウ}、イマダカクノゴト^{クニ}キ大逆
ノ人^{クニ}ヲ見^カザルナリ。

トクニ、僧^{ソウ}ノ円月^{エンゲツ}ガ意^イニ托^{タク}シテ、ミヅカラノ臆^{オク}（3：11ウ）説
ヲ述^{セツ}ベテ、日本^{ニッポン}ヲモツテ呉^ゴノ太伯^{タイハク}ノ後^{アト}トス。横説^{ワウセツ}ノ罪人^{ザイニン}ナリ。ナンヂ、
博識^{ハクシキ}強記^{キヤウキ}ノ人^{ニッポン}ニシテ、日本^{ニッポン}三部^{サンブ}ノ神書^{シンショ}ニ因^ヨラズ、他^{ホカ}ノ邪説^{ジャセツ}ヲ引^ヒキテ、ミ
ダリニ、カクノゴト^{ジュソウ}キ邪説^{ヒイキ}ヲナスコトハ、儒宗^{ニッポン}ヲ負^{ベツシ}シテ、神道^{ニッポン}ヲ蔑視
スルガユエナリ。

ナンヂ、太子^{タイシ}ノ『旧事本紀』^{クジホンギ}、偽書^{ギショ}ト謂^オフコトハ、置^オキテ論^オセズ
シテ、重^{カサ}ネテコレヲ論^オズ。『旧事紀』^{クジキ}、『古事記』^{コジキ}、『日本紀』^{ニホンギ}、コト
ゴトクモツテ日^{ニッポン}ノ神^{ニッポン}トナス。シカルニ、太伯^{タイハク}トスルコト、アル説、知ル
ベシ。ナンヂガ所説^{ショセツ}ニ因^ヨラバ、呉^ゴノ太伯^{タイハク}ハ、正保^{シャウホウ}二年^{ニッポン}ヨリ、二千八百
六十六年^{ニッポン}ナリ。ワガ国^{ニッポン}ノ開^{カイ}闢^{ビヤク}、アニタダ二千八百六十六年^{ニッポン}ノミナラン
ヤ。『日本紀』^{ニッポン}ニ因^オリテ謂^オフトキハ、スナハチ、天神^{テンジン}（3：12オ）
七代^{シチダイ}ヲ論^オゼズシテ、地神^{チジン}五代^{ゴダイ}ノ年數^{ネンスウ}、天照^{アマテラス}太神^{オホミカミ}二十五萬^{ニッポン}歳^{ニッポン}、
忍穗^{オシホミ}耳尊^{ミミノミコト}三十萬^{ニッポン}歳^{ニッポン}、瓊々^{ニニギノ}杵尊^{ミノミコト}三十一萬^{ニッポン}歳^{ニッポン}、彦火^{ヒコホ}火出^{ホデ}見尊^{ミノミコト}六十三萬^{ニッポン}七千^{ニッポン}

343 Our text has 鄙ス; we have inserted the particle *to*. The alternative to *iyashi to su* would be to read the character as *hi-su*, but that reading is not attested.

八百九十二歳、^{ウガヤフキアエズノミコト} 鷓鴣草葺不合尊八十三万六千四十二歳ナリ。カクノゴト

ク、^{ネンダイ} 年代、^{シンエン} 深遠ニシテ、^{サンスウ} 筭數ニ及バズ。シカルニ、呉ノ太伯トシテ、ヤ

ウヤク二千八百六十六年ト謂フトキハ、スナハチ、^{パウダン} 邪説妄談、分明ナリ。

マタ、^{サンシュ} 三種ノ神器、^{ジンキ} 神造トセズシテ、^{ジンザウ} 人造ト謂フ。マタコレ林氏

^{オクケン} 臆見ナリ。『日本紀神代』ニ因リテ謂フトキハ、スナハチ、天照

(3 : 1 2 ウ) 太神、^{イハト} 磐戸ヲ閉シテ^{トザ} 幽居ス。^{イウキョ} 六合常闇ニシテ、^{リクガフトコヤミ} 昼夜ノ^{チウヤ}

^{アヒガハ} 相代ルコトヲ知ラズ。^{オモヒカネカミノミコト} ユエニ、思兼神ノ命、^{アマノコヤネノミコト} 天兒屋ノ命、^{アマノフトダマノミコト} 天太玉ノ命、

^{カミツエダ} 上ツ枝ニ^{ヤサカニ} 八坂瓊ヲ^カ 懸ケ、^{ナカツエダ} 中ツ枝ニ^{ヤタノカガミ} 八咫鏡ヲ^カ 懸ケ、^{シモツエダ} 下ツ枝ニ^{アヲニキテ} 青和幣、

^{シロニキテ} 白和幣ヲ^カ 懸ク。コノコトニ^{ドウ} 同ゼズシテ、^{ハナハダシ} 甚クシテ、^{ジンザウ} 人造ノ^{ホウキ} 宝器トス

ルヤ。三種ノ神器ノコト、^{クハシ} 委ク太子ノ『旧事本紀』ニ^{イデ} 出タリ。ココニ、

コレヲ^{リヤク} 略ス。林氏、^{キョウタジャセツ} 許多邪説ヲ^{ツク} 造リテ、天下古今ノ^{キセン} 貴賤ヲ^{クキヤウワク} 誑惑ス。

《三敵》

ジツニ、^{シンテキ} 神敵ナリ、^{ブツテキ} 佛敵ナリ、^{クワウテキ} 皇敵ナリ。ナンヂノ^{ジソン} 兒孫、^{サンテキ} 三敵ノ^{ツミ} 罪ヲ

モッテ、^{オン} 恐ラクハ、^{サウゾク} 相續セズ。モシ、ナンヂノ^{オン} 兒孫、^{イマン} 相續セバ、ワガ邦

ノ^{オン} 神明日神、コレナカランカ。(3 : 1 3 オ) ^{イマン} 恐ルベク、^{イマン} 戒ムベシ。

^{オホヨソ} 大凡、ワガ心ノ^{コノ} 好ムトコロ、^ゼ 是トシ、^{キラ} 嫌フトコロ、^ヒ 非トス。天下古今、

^{ボンジャウ} 凡情ノ^{ツネ} 常ナリ。林氏、『欽明天皇ノ^{キンメイテンワウ} 辨』ニ^{ベン} 曰ク、「欽明ハ、^{テウ} ワカ朝ノ

^{コウメイ} 孝明カ。^{イナメ} 稻目ハワカ朝ノ^{ソエイ} 楚英カ」。ワカ朝ノ^{イテウ} 欽明、^{ブツボフ} 異朝孝明、初二佛法

ヲ^{ワタ} 渡スヲ^{イナメ} モッテ、ユエニ^{ソエイ} 暗シトシ、ワカ朝ノ^{イナメ} 稻目、^{ソエイ} 異朝ノ^{ソエイ} 楚英、佛像ヲ

拜セザルヲモツテ、ユエニ^{アカル}明シトス。シカルトキハ、スナハチ、^{カンド}漢土
ノ孝明、ワガ邦ノ^{クニ}欽明^{イワウ}以^{シンケイ}往、佛法ヲ信敬スルモノ、暗シトナスカ。楚英、
稻目^{イゴ}以後、佛法ヲ尊信セザルモノ、明シトナスカ。

ソレ^{ゴカン}後漢ノ孝明帝ノ（3：13ウ）トキ、^{ブツザウキヤウクワンハジ}佛像^{クワイジン}經卷初メテ漢土
ニ^{ワタ}渡ル。「^{シヤクダウ}釈道、^{ヒカク}比較ス。經ヲ^ヤ焚ク。諸子ノ^{シヨシ}道書、^{ダウシヨ}ミナ灰燼ト^{アラタ}成³⁴⁴ル。
ツギニ、^{ボンボン}梵本ヲ^モ將テス。火、^モ然エテ^{カクエキ}赫奕³⁴⁵トシテ、^{アタカモ}宛鼎ノ如ク³⁴⁶新
ニシテ、サラニ^{コウケツ}光潔ヲ増ス。ココニ、^{ダウシ}道士、六百二十八人、^{カンザシ}簪ヲ^ヌ抽キ
テ^{ラクハツ}落髮ス。明帝、^{オホキ}大ニ^{ゲンソウ}玄宗ヲ^{ヒラ}啓キテ、^{ヒロ}廣ク僧尼ヲ^ド度ス。高ク十寺ヲ^{アガ}崇
ム。寺ノ名ヲ得ルコト、コレヨリ^{ハジマ}始ル」。

「本朝ノ^{ホンテウ}欽明帝ノ世、^{クダラ}百濟ノ^{シヤカ}聖明王、^{キンザウ}釈迦ノ^{ハンガイ}金像、幡蓋、經論ヲ
^{ケン}献ズ。^{ソガ}蘇我ノ^{そう}稻目、^{シヨコク}奏シテ曰ク、『^{ヒト}西蕃³⁴⁷ノ諸國、一ヘニ、ミナコレヲ
^{レイ}礼ス。豊^{トヨアキツ}秋^ヒ日ノ^{モト}本、^{ソム}アニ^{モノノベ}独り背^{オホムラジ}カンヤ』。物部ノ^{オコシ}大連^{ナカトミ}ノ尾輿ト中臣連
^{カマコ}鎌真ト、一同ニ^{ソウ}奏シテ曰ク、『ワカ国（3：14オ）、^{モトツノリ}元則ハ、^{アマ}天ツ
^{ツチ}神、地ツ^{シュンジウ}祇、^{マツ}春秋、^{ウヤマ}祭り拜フ。マサニ、今、コレヲ^{アラタ}改メテ^{バンシン}蕃神³⁴⁸ヲ
^{イヤマ}拜フハ、^{オン}恐ラク、カナラズ^{クニツカミ}国神、^{イカ}怒リヲ^{イタ}致シ^{ワザハヒ}災ヲ^{ツク}作ラン』。天皇
ノ^{ノタマ}タマ曰ク、『^{フタリノコトハ}兩断リ、^キ決メカタシ。ヨロシク、^{ココロ}情ノ^{ネガ}願フ人ニ付クベ
シ』。稻目^{イナメノスクネ}宿、^{ヒザマツ}跪^ウキ受ケテ、^{ヨロコ}忻悦ビテ^{ヲハリダ}小墾田ノ家ニ^{アンチ}安置ス」。

344 See *Honkoku*, notes 622 and 623. *Fozu lidai tongzai* has 滅 (*horobiru*, *horobosu*) instead of 成, but *Genkō shakusho waga* has 成, as has our manuscript. There is no need to emend.

345 We have emended the character 奔 to 奕; cf. *Honkoku*, note 625.

346 We have emended 妙 to 如, and 昇 to 鼎; cf. *Honkoku*, note 626.

347 We have emended 番 to 蕃; cf. *Honkoku*, note 629.

348 We have emended 番 to 蕃; cf. *Honkoku*, note 631.

クニヂユウ ハナハダ エキキ ハヤ
「国中、甚、疫氣ガ行ル。物部ノ尾輿、中臣ノ鎌真、奏シテ
ミコトノリ ホウ シュウ ヒキ ヲハリ ダ ムカ ト
曰ク³⁴⁹、詔ヲ奉ジテ、衆ヲ将キテ小墾田ニ向ヒテ、釋迦ノ像ヲ取り、
タダラ フ ツヒ ト チカヅ カナヅチ
鞆ヲモツテコレヲ吹ク。終ニ融解ケズ。火モ、サラニ近カズ。鐵鎚ヲ
ウ コキズ ツ オホオミ アヤシゴト アゲ
モツテ撃ツニ、小疵ヲ附ケズ。大臣稻目、コノ妙事ヲ見テ、声ヲ舉テ
オホイ サケ マ ロ ナゲ ダイオン サイガイトホ
大ニ号ビ、顛身ビテ大ニ哭キ、大音ヲモツテ言ク、『災害遠カラズ』。
オホムラジ ナニ ハ
コレニオイテ、大連スナハチ佛像ヲモツテ、浪（3：14ウ）花ノ
ホリエ ソコ ナガ ス ガラン ハナ ヤ モヘ
堀江ノ深底ニ流シ棄ツ。ノチ、火ヲ伽藍ニ縦ツテ、焼キ燼ヌ、モツテ、
ノコ カザグモ ライカ
サラニ餘ルナシ。コレニオイテ、天、風雲ナクシテ、タチマチニ雷火
トドロ ヤ ショグウ エキキ
動キ、スナハチ、大殿災ケヌ³⁵⁰。諸宮、殘ルコトナシ。疫氣イヨイヨ
サカ
盛ンナリ。死スルモノ多シ」。

カン ワテウ ダイイゲン
漢國、和朝、カクノゴトキ大威験アリ。ユエニ、孝明、欽明、佛
デンダウ シャウボフ グヅウ イ
像殿堂ヲ興隆シ、正法ヲ弘通ス。シカルニ、林氏謂ハク、明欽ノ暗キ
ナルハ、ナンゾヤ。ワレマタ謂ハン、林氏ガ暗キナリ、ト。何³⁵¹ゾ晒。

ソ バ シ ベン ア、 マコト
林氏、『蘇馬子ガ辨』ニ曰ク、「嗚呼、馬子ノ君ヲ殺スコト、誠ニ佛
ノ罪ナリ。モシ、馬子ヲシテ、ソレ、五典ヲ知ラシムレバ、スナハチ、

³⁴⁹ The impression is given that what follows is a quotation from the oral report made by Okoshi, while in fact it is a description of the actions he and others undertook. The quotation itself, which is introduced by the characters 奏曰, is given in *Taisei-kyō* but omitted in *Gobusshin-ron*.

³⁵⁰ 災 is an *itaiji* of 災. The *furi-* and *okurigana* leave no other choice than the reading *yakenu*, but it is strange to see that what are transitive verbs in the Chinese text become intransitive verbs in the Japanese *yomikudashi*. In the Chinese text, evidently "Heaven" is the subject that makes thunder roar and burns the palace, but this does not carry over into the Japanese.

³⁵¹ We have emended 荷 to 何. If we would also emend {口+酉} to 晒, the characters might mean something like "Why laugh? What's so funny?" Cf. *Honkoku*, notes 637 and 638.

アニ、カクノゴトキカ。人トシテ（3：15才）^{ゴテン}五典ヲ知ラザルハ、人
ニアラザルナリ。馬子、^{アタヒコマ}直駒、^{ジンメンジウシン}トモニコレ人面獸心ノミ。^{テイシ}程子ノ曰ク、
『^{ブツシ}佛子ノ言、^{ヤウボク}コレヲ楊墨ニ比スレバ^ヒ352、^{モット}尤モ理ニ近キトナス。コノユ
エニ^{ガクシヤ}353ソノ害尤モ甚キトナス。学者、^{インセイビシヨク}マサニカナラズ、淫声美色ノゴト
ク、^{トホ}モッテコレヲ遠ザクベシ。^{シカ}爾ラザルトキハ、^{シンシンゼン}スナハチ、駸々然トシ
テソノ中ニ入ル』。馬子、^{カミ}タダ^{ワカ}駸々トシテソノ中ニ入ルノミニアラズ、
ソレノ上ヲ^{イタ}犯シ、^{ツヒエ}乱ヲ好ムノコトニ至リテハ、^{イマシ}スナハチ、佛法ノ^{イジャウ}敵³⁵⁴
タルコトヤ、^{ダイ}大ナリ。コレヲ^{イマシ}戒メズンバアルベカラズ」。〈^{イジャウ}已上林
氏〉

林氏、馬子、五典ヲ知ラズ天皇ヲ殺スコト、人面獸心ナルコト、
誠ニ佛ノ罪ナリト論ズルナリ。スナハチ、コレ、^{ホゴ}過當ノ論ナリ。畧、ナ
ンヂガタメニコレヲ^{ワキマ}辨ヘム。ワガ国ノ崇峻天（3：15ウ）皇ノ惡逆
無道ハ、^{イン}還テ^{チウ}殷ノ^カ紂、^{ケツ}夏ノ桀ニ勝レリ。シカルヲ、直駒、馬子ノ^{ココロ}意ヲ
^{ウカガ}窺ヒテ、スナハチ、天皇ヲ殺ス。馬子、^{タダチ}直ニ直駒ニ命ジテ天皇ヲ殺サ
シムルニアラズ。ソノ後、馬子、^{ザイクワ}駒ガ^{カゾ}罪過ヲ^{ミヅカラ}數ヘテ^{シャサツ}親コレヲ射殺ス。

^{イン}殷ノ^{タウワウ}湯王、^{シウ}周ノ^{ブワウ}武王ヨク五典ヲ知ル聖人ニシテ、^{クン}君ノ^{チウ}紂、^{ケツ}君ノ桀
ヲ殺ス。コレヲ人面獸心ト謂ハンヤ。湯武ノ不忠ヲ忘レテ、^セタダ馬子ノ
罪ヲ^{オヨボ}責ムルノミニアラズ、罪カヘッテ^{フツギ}仏ニ及ストキハ、スナハチ、湯
武ノ逆罪モマタ伏羲ニ及サンヤ。ケダシ、神武ヨリ推古ニイタリテ、ワ

352 Read according to the *furigana* in *Bunshū* vol. 1, p. 293b.

353 Read according to the *furigana* in *Bunshū*, vol. 1, p. 293b.

354 Here, we follow the reading specified in *Bunshū* vol. 1, p. 293b.

ガ国^{アクワウ}ノ悪王^{ブレススシュン}ハ武烈^ニ崇峻^{クハシ}ノ二ナリ。委^{クハシ}ク『大成経』ニ出ヅ。ナンヂラ、スベカラクコレヲ視ルベシ。

マタ、程子、学者、佛法ヲ^{トホザ}遠^{トホザ}クルコトマサニ（3：16オ）
淫声^{インセイビシヨク}美色ノゴトクスベキト云フコトヲ引ク³⁵⁵。ワレ、マタ、道^イハン、邪儒ヲ遠クルコト、學者、スベカラク淫声美色ノゴトクスベシ。ユエンイカントスレバ、仏道ヲ知ラズシテ、無理^{ムリ}ニ仏法ヲ^{ハイバウ}排謗ス。貴賤ノ信心、
退轉^{タイテン}シテ、因果^{イングワハツム}撥無^{ズイザイ}ノ見ニ隨在^{ズイザイ}セシム³⁵⁶。大罪ト謂フベキナリ。

マタ謂ハク、仏法ハ上ヲ犯シ乱ヲ好ムコト、仏法ノ^{ツヒエ}敵ナリ、ト。
ワレ想フニ、上ヲ犯シ乱ヲ好ムモノ、汝^{ナンヂガハイ}輩^{ジャジュ}ノ邪儒ニ過ギタルモノアラズ。タトヒ、君、仏法ヲ^{タフト}尊^{タフト}ブトイヘドモ、オノレ、コレヲ好マズ。悪口^{オウセツ}横説^{ヒツ}シテ、コレヲ筆^{ノコ}シテ世ニ遺^{ノコ}ス。アニコレ上ヲ犯シ人ニ^{サカラ}逆^{サカラ}フニアラザラン³⁵⁷ヤ。

マタ曰ク、馬子五典ヲ知ラザルナリ。林氏ミヅカラ謂ヘリ、^{ゴリン}五倫^{ゴリン}
五常^{ゴジャウ}ハ、^{ヒトリ}独^{ヒトリ}漢土ノ儒ノミアリ、餘国ハコレ無キ、ト。ナンヂ、（3：16ウ）
異儒^{イジュ}吾儒^{ゴジュ}ノ二道ヲ知ルヤイナヤ。異儒ト云フハ、漢国ノ儒ナリ。
吾儒ト云フハ、コノ國ノ儒ナリ。異儒ハ、王仁^{ワニ}、儒書ヲ^{ジュシヨ}携^{タズサ}ヘテ應神天皇ノ世ニ始^{ニフテウ}テ入朝ス。儒書アルトイヘドモ、推古ノ朝、太子始^{グヅウ}テ弘通ス

355 The *okurigana* -te in our manuscript does not make sense. At best, the two phrases are equivalent, so a *ren'yōkei* would be indicated. The first phrase can hardly be constructed as subordinated to the second. , As it is, moreover, absent from Ise Bunko *bon*, we have chosen for the *shūshikei hiku*.

356 The compound *zuizai* is not attested in the dictionaries. However, the *okurigana seshimu* exclude the possibility of reading *shitagai-arashimu*, and imply that the verb should be placed at the end of the sentence, as *seshimu* is a *shūshikei*.

357 As far as the Chinese is concerned, 不是 is the negation of the copulum. Moreover, there is no other verb to which the negation 不 could be attached. Hence, we have decided to read 不是 as *ni arazaran*.

ルモノナリ。

ワガ國、應神天皇ヨリ^{イゼン}358已前ハ、アニ^{ジュハフ}儒法ノ^{ゴリン}五倫^{ゴジャウ}359五常ナキヤ。

《儒道ノミ、五倫五常アルノ^{タンセキ}彈斥》

^{ココロ}試ミニ五倫五常アルコトヲ論ゼン。五倫ハ^{フウフ}夫婦アルトキ、スナハチ、父子アリ。父子アルトキ、スナハチ、^{キヤウダイ}兄弟アリ。兄弟アルトキ、スナハチ、^{ホウイウ}朋友アリ。朋友アルトキ、スナハチ、君臣アリ。コノ五倫アルトキハ、スナハチ、^{シゼン}自然ニ夫婦、礼アリ、父子、仁アリ、兄弟、知アリ、朋友、信アリ、君臣、義アリ。鳥^{テウ}(3 : 17才) ^{ジウ}獸スラオノヅカラ五倫五常ノ道アリ。イハンヤコレ人間ヲヤ。

五常、^{ゴキヤウ}五行ニ^ア當ツルトキハ、スナハチ、木ハ仁ナリ、火ハ智ナリ、土ハ信ナリ、金ハ義ナリ、水ハ礼ナリ。天地、五行アルトキハ、スナハチ、人倫、ナンゾ五常ナキヤ。ナンヂノ謂フ、漢國ノ儒道ノミ五倫五常アルハ、大ナル^{アヤマ}錯リナリ。」

林氏、^{ゲンバウ}『玄昉ガ辨』に曰ク、「^{トウ}藤ノ^{ヒロツグ}廣嗣ガ^{ツマ}妻、美シ。玄昉、^{クラテウ}花鳥ノ^{ツカヒ}使ヲ^{カヨ}通ハス。廣嗣コレヲ^{ニク}噫ム³⁶⁰」。廣嗣、^シ死シテノチ、ソノ^{リヤウ}靈、玄昉ヲ殺ス。マタ、コレヨリ先ニ、玄昉、^{ツウ}光明皇后ニ通ズ。「昉ガ^{インラン}淫乱ヤ、久シ。宜カナ、ソノ^{ウベ}天ニ^{エウ}遭フ^ア361コト」。悉ク佛法ノ罪ニ^ア當ツ³⁶²、ト。

358 However strange this may seem from the point of view of Chinese, we see no other option then reading 寄 as *yori*.

359 For this emendation, see *Honkoku*, note 649.

360 For the reasons specified in *Honkoku*, note 653, we prefer the reading *nikumu* to the reading *ikarite* that is suggested by the *okurigana* in our manuscript.

361 The usual reading of the character is *au* (4), which is also the reading indicated in *Bunshū*, vol. 1, p.

林氏、唐ノ韓退之、（3：17ウ）宋ノ歐陽子、程子、朱子ソノ
 餘ノ小儒ノ、釈氏ヲ排スルニ效ヒテ³⁶³、ナンヂモマタ釈氏ヲ排セント欲
 ス。ヨモマタ、ナンヂニ輦^{ヒン}メン。上古ノ儒士ノ大犯悪罪ハ置キテ論ゼズ、
 カツ近世ヲモッテソノ一ニヲ挙ゲン。堀田氏、奸佞ニシテ国ヲ領セント
 欲ス。ナニガシノ人ニ弑サルルニ遭フ³⁶⁴。山本大順、盜葉³⁶⁵、露頭ス。
 官家ニ梟セラル。洛陽ノ菅ノ得庵、悪心僂行ニシテ門弟ニ殺サル。尾陽
 ノ浦ノ新兵、脚ヲモッテ僕子ヲ踏ミテ僕子ニ殺サル。

コノ四人ハ、近世、儒ヲ學ビテ聞ヘアル³⁶⁶ノ士ナリ。シカルトキ
 ハ、スナハチ、釈氏ノミ悪罪アリテ亡滅スルニアラズ、儒氏モマタコレ
 アリ。古徳ノ偈ニ曰ク、「他ノ非、頻々ト（3：18オ）^{キョ}挙スルコトヲ
 用キズ、己ガ過^{オノレ}チ、マサニスベカラク^{アヤマ}旋々^{センセン}367ニ除クベシ」。アニソレ
 シカラザランヤ。

《コノ段ニテ和ノ神、異ノ神ノ立ツ意ヲ知ル。黑白ノ品アリ。》

林氏、『隨筆』ニ曰ク、「三種ノ神器、璽ハ仁ニ象ルナリ、劔ハ勇ニ

296a, by the *okurigana fu*. The *okurigana ru* in our manuscript could only be accommodated if we would read *sō-suru*. On the whole, however, *au* seems preferable. We have emended accordingly.

³⁶² The preceding sentences are loosely based on the second of the disquisitions; see *Bunshū* vol. 1, p. 296a. The characters between 「」 are more or less correct direct quotations. The conclusion (“This is all the fault of Buddhism”) is not in Razan’s text.

³⁶³ There are no *kaeriten* that prescribe this reading, but neither are there any that prevent it, while the *okurigana ni* behind 排スル strongly suggests it.

³⁶⁴ If the phrase had been 遭某人弑之, it would have been much clearer; the present construction is strange. Nevertheless, the best solution still seems to be to interpret 遭 as an auxiliary of the passive, and to cast 某人 as the agent.

³⁶⁵ This compound is not attested in the dictionaries. It probably refers to the stealing of silk, for which Tajun was convicted; see Translation, note 667.

³⁶⁶ A compound *yūbun* does not seem to exist; hence, the proposed reading *kikoe aru*.

³⁶⁷ For the compound *sensen* see Mor. V: 13656-38. The gloss given there is *yaya*.

象ルナリ、鏡^{カガミ}ハ智^チニ象ルナリ。モト、コノ三徳ヲ具^グスルモノハ、神明^{シンメイ}ナリ。ソレ、心ハ神明ノ舍^{ヤド}ナリ。ステニ三徳ヲ具スルトキ、スナハチ、神^{カミ}³⁶⁸、アニ遠ランヤ。方寸ノ間、^{ハウスン}方^マ寸^{ゲンゼンシュクジ}ノ間、^{ゲンゼンシュクジ}嚴然肅爾ナリ」、ト。

林氏、コノ三種ノ神器ノ説ハ、漢土ノ儒士、王仁ガ解^{カイ}ニシテ、ワガ国ノ神道ノ正説^{セイセツ}ニアラズ。ユエニ、菟道ノ太子、訓解^{クンカイ}ヲ造リテ王仁ニ教ユ。惜^{オシ}キカナ、林氏、菟道ノ太子ヨリ後^{ノチ}ニ生^ウマレテ、ワガ邦ノ神道ヲ聞カズシテ、邪人^{ジャニン}トナルコトヤ。

林氏曰ク、「心ハ（3：18ウ）神明ノ舍ナリ。三徳、具^グスレバ、神、遠カラズ。方寸ノ間、嚴然肅爾タリ」、ト。ナンデ、解^トクトコロニヨラバ、神明ハ、タダ、人々ノ方寸ノ間ニアリ、嚴然肅爾タルノミ。スナハチ、コレ、タダ理^{ニントク}ヲ認得シ、事ヲ知ラザルノ論ナリ。

ユエニ太子ノ曰ク、「寡人^{クワジン}、古老ニ聞クニ、天地ノ有^{イウ}スルトコロノ物ハ、事ト理ト相共ニ具^{グイウ}有シテ、微小ナリトイヘドモ、コレニ欠ケテ片^{カタ}ヲナスコトナシ。理ニ偏^{カタヨ}ルコト、コレヲ邪ト名ク。事ニ偏^{ナツ}ルコト、コレヲ愚^グト名ク。理ト事ト俱^{ソナハ}ルコト、コレヲ正ト名ク」。

「マタ曰ク、異人^{アダシビト}ノ神ヲ思フヤ、タダ理氣無形^{ムケイ}ノ虚^{キョ}ニアルノミニシテ³⁶⁹、イマダ^{キクワイセイシツ}奇怪生質ノ實^{ジツ}ヲ知ラズ。ワガハイノ神ヲ知ルヤ、ソノ、生質^{メウク}妙軀^{キヘンクワイヨウ}ヲモツテ^{トドマ}奇怪用^{クニ}ノ實ニアルヲ見ル。カレハ、ソノ住ル國、人ノ國ニシテ神ノ（3：19オ）國ニ非アラズ、ワレガ、ソレ、住ル國

³⁶⁸ We insert the character 神 on the basis of *Bunshū* vol. 2, p. 419a; see *Honkoku*, note 660.

³⁶⁹ Our rendering here is based on *Taisei-kyō*, edn 1679.

ハ神国ニシテ人ノ国ニアラザルユエンナリ。シカモ、スナハチ、ソノ神ヲ知ルヤ、人ノ国ノ人ノ見ルトコロハ³⁷⁰、タダ、量^{ハカ}リ看^ミテ虚ナリ。神国ノ人ノ見ルトコロハ、直^{チキ}ニ視^ミテ實ナリ」。

マタ菟道ノ太子、王仁^{オン}ニ訓^{ユビサ}ヘテ曰ク、「ナンヂ、ワガ指^{ユビサ}スヲ見ヨ。アノ^{ヒノミコト}371日尊ハ、コレ、コノ天照太神ナリ。アノ神ノ尊^{オンメイ}ノ御命ジ玉フトコロノ性^{セイ}、ココニアリ。ナンヂコレヲ得^{メイトク}テ、コレヲ明^{メイトク}徳ト云フ。ナンヂ、明^{ゲンザイ}徳ハ、見^{ケウ}在スルコト希有ナリトイヘドモ、天ノ日ノ尊ハ日々ニ見^{ケウ}在シ玉フトコト、見ザルヤ。コレ見ザルヤ。

《理事^{タウゼン}當然神道》

コレ、ナンヂ、ナンノ偏理ノ推語ゾヤ」。

聖徳太子、菟道ノ太子、理^ト宜^ト當然ノ神道ヲ説^トキテ正トナス。ナンヂラ、解^トクハ、タダ、(3 : 19ウ)理^{ミト}ヲ認^{ミト}ムルノミ。ユエニ邪トナス。コノ三種ノ神器ハ、水^{スイグワン}灌^{ヒデン}ノ秘^{デンジュ}傳^{デンジュ}ヲ傳受スル人アラズンバ³⁷²、誰カ得テコレヲ知ルヤ。吾ガ国、三種ノ神器ハ、秘々中ノ秘ナリ。

林^{リンシ}氏、『隨^{ズイヒツ}筆』ニ曰ク、「丁^{テイコウ}侯、周^{シウ}ニ叛^{ソム}ク。太^{タイコウ}公、ソノ像^{ザウ}ヲ圖^ズシ、屢^{シバシバ}コレヲ射^イル。丁^{シツペイ}侯、疾^{カウ}病^コシテ、降^{ジツカン}セント請^ヒフ。太^{ジツカン}公、十^ヒ干ノ日ヲモッテ、

370 Again, our rendering here is based on *Taisei-kyō*, edn 1679.

371 The first time, the *furigana* in our manuscript indicate the reading *ano kore no* or *ano kono* for 唯之, but further down the same line, the two characters together are glossed as *ano*. In *Taisei-kyō*, edn of 1679, fasc. 44, frame 48 left, 唯之 is twice glossed as *ano*, and 維之 as *kore kono*. As 唯 and 維 were used as (pseudo-)copula only in the very ancient language, the intent, here, probably was to create an archaic impression.

372 不^イ有人 means "there is no person." 有 is the full verb "to be (there)," and not the copulum "to be (something)," though a copulum would have been welcome, here. The *okurigana* -n in our manuscript, and -n *ba* in Ise Bunko *bon* are minimal. However, the reading *hito (no) arazu n ba* is not completely unfathomable, so we will follow the reading of our manuscript.

ソノ矢ヲ拔ク。矢、ミナ拔キ畢リテ、丁侯、病愈ユ。後世ノ巫蠱咒詛
ノ術、ココニ権輿スルカ。頗ル妖妄ニ近シ。豫讓、趙ノ襄子ノ衣ヲ斬
リテ、襄子死ス。玄宗、閩州ノ太守ノ像ノ頸ヲ刎ネテ、閩守、斃ル。
ソノ眞偽（3：20オ）イマダ知ルベカラズ。王莽、劉續ガ像ヲ射テ、
莽、先ヅ死ス。高駢、呂用ガ術ヲ信ジ、神兵ヲシテ敵ヲ拒ガシム³⁷³。ソ
ノ祭、イマダ止マザルニ、敵、襲ヒ來リテ、駢ヲ殺ス、ト。嗚呼、愚
カナルカナ」。

林氏、丁侯ノコトヲ謂ヒテ、妖妄トナス。アルイハ豫讓、閩守ノ
コトヲ謂ヒテ、眞偽、イマダ知ルベカラズトナス。ケダシ、丁侯、豫讓、
閩守ハ、儒書ニコレヲ記シテ、古今、信トナス。千歳後ニ生マレテ、
ナンヂヒトリ信ゼズシテ、妖妄ト謂ヒ、眞偽、イマダ知ルベカラズト謂
フ。

モシナンヂノ所見ニ因ラバ、スナハチ、儒ノ孝傳ニ載ルアリ。
孟宗、筍ヲ生ジ、王祥、鯉ヲ出スノ類、コトゴトク妖妄タラン。シ
カルトキハ、スナハチ、ナンヂ貴ブトコロノ儒典、コトゴトクモッテ
妄説トナス。（3：20ウ）

三界、唯識ノ所變ナルガユエ、一念至切ナルヲモッテスルトキハ、
スナハチ、萬法コトゴトク、コレ感動セズトイフコトナシ。近キ譬ヲ
モッテ、ナンヂヲ暁サン。蜾蠃、菜蟲ヲ取り、巢ヲ造リテ、コレニ安

373 We follow the reading *fusega*(*shimu*) given in *Bunshū* vol. 2, p. 427b; see *Honkoku*, note 673.

ズ。朝暮、コレヲ呪^{ノロ}374ヒテ曰ク、似我々々、と。ソノ尾劍ヲモツテ、コレヲ刺^サストキハ、スナハチ、時至^{イタ}リテ、化^ケシテ螺贏トナル。コレモツテ知ルベシ、小蟲^{コムシ}スラ、ナホ似我ノ明^{ミヤウ}ヲ誦^{ソラン}ジ、尾劍ノ印ヲモツテ菜蟲^{ナムシ}ヲ呪フトキハ、スナハチ、螺贏トナルコトヲ。イハンヤ、コレ、人ハ、万物ノ靈ナルヲヤ。一念一心、コレヲ射^イ、コレヲ斬^キル、アニ、ソレ^キ375、ソノ驗^{シルシ}ナカラシヤ。

マタ、林氏ガ王莽^{ワウマウ}、高駢^{コウベン}ガ先ヅ死シ、来リテ殺ストイフコトヲ引クハ、丁侯^{テイコウ}、襄子^{ジャウシ}、病愈^{ヤマヒイ}エ、ステニ死ストイフコトヲ妄説ナリト謂^イハント欲^{ホリ}シテナリ。ワレマタ云フニ嗚呼、愚カナルカナ。

(3 : 2 1 才) 林氏、『隨筆』ニ曰ク、「國常立尊、一曰^{クニトコタチノミコト} 天御中主尊、古^{イニシヘビトクケツ} 人口訣ニ云ク、『八百万神ハ、スナハチ、一神、一神ハ、スナハチ、八百万神ナリ』。今、按^{アン}ズルニ、万物、五行ヨリ生^{イツシン}ズ、五行、スナハチ、一陰陽ナリ。陰陽、スナハチ、太極ナリ。太極、本^{モト}、コレ、無極^{ムキョク}ナリ。コレニオイテ、コノ尊^{ミコト}ノ奥義^{アウギ}モツテ見ツベシ」、ト。

余、林氏ガコノ説ヲ見ルニ、『日本紀』ニ本^{ニホンギ}キテ、天神七代^{モトツ}ヲ立ツ。ナンヂ、博古智^{ハクコチ}ノ人トシテ、甚^{ハナハ}ダシクシテ、馬子^{ウマコ}ノ『旧事紀』^{クジキ}

374 We have replaced the character 祝 by 呪; see *Honkoku*, notes 677 and 678.

375 The *okurigana no* in our manuscript cannot be accommodated after the first character 其; evidently, it should be placed after the next one.

ニ因^ヨラズ。マタ、太子ノ『旧事紀』ヲ^{モチ}376用キズシテ、『日本紀』ニ因^ヨリ
テ、コレヲ立^タツルヤ。余、コレヲ難^{ナン}ズ。馬子、太子ノ『旧事紀』ノゴト
キハ、最^{モット}モ始^{ハジ}メニ天常立^{アメノトコタチ}（3：2 1ウ）ノ尊^{ミコト}ヲ立^タテテ、ツギニ地^{クニ}
常立^{ノトコタチ}ノ尊^オヲ安^オく。スナハチ、コレ天地相^{テンチサウオウ}応^{コトハリ}ノ理^オナリ。シカルニ、
天常立^{アメノトコタチ}ノ尊^オヲ置^オキテ、国常立^オノ尊^オヲ立^オツルノ理^オ、不相^オ應^オノ論^オナリ。

惣^スベテ、天神七代ノ神ノ各^{オノオノ}、『日本紀』ハ、コトゴトクモツテ
乱^{ランザツ}雑^{ブンメイ}シテ分明^オセズ。太子ノ『旧事紀』ハ、天神七代ノ出^{シュツジャウ}生^{ダウリ}、道理^オ
《『大成経』ハ、理^{アキラカ}、明^{アカシ}ニテ、『日本紀』ハ、證^オトシガタシ》
明^{メイハク}白^オニシテ、コトゴトクモツテ傳^{ツタヘ}アリ。『日本紀』ハ、タダ、天神七
代ノ名^ナノミアリ、傳^オナシ。コレヲ證^{アカシ}トスルニ足^オラザル書^オナリ。太子ノ
『旧事紀』、神社ニ秘^{ヒザイ}在^オス。ユエニ、今^{イタ}ニ至^オリテ、『日本紀』ノ説^{モチ}ヲ用
キルナリ。幸^{サイワイ}ニ、コノ書、人間ニ出^{ゴウガク}ヅ。後^オ學^オ、コレニ因^ヨリテ、スベカ
ラク、ワガ神道^{キウ}ヲ究^カシテハ可^オナルベキヤ。マタ龍^{リュウ}ノ尚^{シヨウ}舎^{シヤ}、国常立
（3：2 2オ）ノ尊^オヲ謂^オヒテ、自^オ心^オナリト説^オク。日本ノ神道、混^{コン}乱^{ラン}見^オル
ベシ。

林^{リン}氏^シ、『随^{ズイ}筆^{ヒツ}』ニ曰^オク、「宗^{ソウ}源^{ゲン}ノ神道^{シントウ}ハ、中^{ナカ}臣^{トミ}、卜^{ウラ}部^ベ、忌^{イン}部^ベ377、コレヲ
習^{ナラ}ヒ傳^{ツタ}フ。兩^{リョウ}部^ブ習^シ合^フノ神道^{シントウ}ハ、最^{サイ}澄^{チヨウ}、空^{クウ}海^{カイ}ラノ沙^{シャ}門^{モン}ラ、佛^オ法^{ホフ}ヲモツテ
神道^オニ合^アハセ、胎^{タイ}藏^{ザウ}、金^{コン}剛^{ガウ}ノ兩^{リョウ}界^{カイ}ヲモツテ陰^{イン}陽^{ヤウ}ニ合^アハセテ、ツヒニモ

376 We have emended the particle *no* to *wo*; cf. *Honkoku*, note 681.

377 We have inserted "Inbe" at this point on the basis of *Bunshū* vol. 2, p. 419a; cf. *Honkoku*, note 685.

ツテ、^{シンブツ}神佛^チ本地^{イツタイ}一體トナス。吁々、^{アアハ、}本^{ホン}迹^{ジャク}縁起^{エンギ}神道ハ、^{ナニガシ}某^{ヤシロ}ノ社、^{ナニガシ}某
ノ神、^{コライ}古來^{ツタ}ノ傳^{キタ}へ來ルノ縁起、コレアリ。378コレヲ^{サンブシンタウ}三部神道ト379謂フ。

コノ上、^{ウヘ}ベツニ^{リタウシンチ}理當心地ト云フモノアリ380。人、^{オホ}多クコレヲ知ルコトア
タハズ」、ト。

ソレ、太子ノ『旧事紀』ニ因リテ論ズルトキハ、スナハチ、三部
ノ神道トハ、^{ヒトツ}一ニハ曰ク宗源^{ソウゲン}（3：22ウ）、^{フタツ}二ニハ曰ク齋元^{サイゲン}、^{ミツ}三
ニハ曰ク靈宗^{レイソウ}。コノ宗源神道、^{ウラベケ}卜部家^{ツタ}ノ傳フルトコロナリ。齋元神道ハ、
忌部家^{ツタ}ノ傳フルトコロナリ。靈宗神道ハ、^{アチ}吾道^{ツタ}ノ家ノ傳フルトコロナリ。
シカリトイヘドモ、忌部吾道ノ二家、イマ^{スイビ}衰微シテ見ヘズ。^{ヒトリ}独、卜部
アリテ存ズ。コレヲ^{ソン}吉田^{ヨシダ}ト謂フモノナリ。三部ノ祖神ハ、^{アマノコヤネノミコト}天ノ物梁命、
^{カハチ}河内^{ヒラオカ}ノ平岡^{ヤシロ}ノ社ニ在リ381、^{アマノフトダマノミコト}天ノ太玉ノ命、^{アハ}畔輪^{ヤシロ}ノ々々社ニ在リ382、
^{アマノオモヒカネノミコト}天ノ思兼命383、^{シナノ}信濃^{トガクシ}ノ戸隱^{ソバ}ノ社ノ傍ニ在ルモノナリ384。

《『説法明眼論』、^{チンジ}朕字ノ評》

378 *Bunshū* inserts the character 右 at this point (cf. *Honkoku*, note 686), in the sense of "the above," but it is not an improvement on the text of our manuscript. We have therefore decided not to use it in our translation.

379 We replace the *okurigana wo* of our manuscript with *to*, following the text in *Bunshū* vol. 2, p. 419b.

380 This reading follows the *okurigana* of *Bunshū* vol. 2, p. 419b. If we would follow the *okurigana* of our manuscript and of Ise Bunko *bon*, we should read *ritō shinchishintō aru mono nari*, which is an awkward and obscure reading.

381 The name is read according to the *furigana* given in *Taisei-kyō*, edn 1679, 9:16a. The location of his shrine is given *ibidem*, 16b, as 凡河内平岡大社, which is read as *Ōshikōchi Hiraoka no ōmiya*.

382 In *Taisei-kyō*, edn 1679, 9:16a, the location of the shrine is described as 在畔輪國畔輪大社. *Kaeriten* and *furigana* indicate that this should be read as *Awanokuni no Awa no ōmiya ni ari*.

383 See *Honkoku*, note 689, for the emendation of the character 恩 to 思. Contrary to the two other deities, the location of Ama no Omoikane's shrine is not mentioned in *Taisei-kyō*, edn 1679.

384 This section is also transcribed and commented upon by Sonehara; see his "Edo-jidai no shūgō shisō," pp. 323-324.

林氏、『随筆』ニ曰ク、「^{ウマヤド}厩戸ノ皇子、『^{セツポフ}説法^{ミヤウゲンロン}385明眼論』ニ云ハク³⁸⁶、『^{フレ}南天ノ祖師、^{シメ}朕ニ示シテ³⁸⁷曰ク』」、ト。林氏、皇子、朕ノ一字ヲ^{ソシ}謗
 リテ曰ク³⁸⁸、「^{シン}秦ノ^{シクワウテイ}始皇帝、^{セイ}制シテ曰ク、『天（3：23オ）子、
^{ミヅカラ}自稱シテ朕ト謂フ』。シカルトキハ、スナハチ、厩戸、^{ミヅカラ}自朕ト謂ヒ
 テ、漢ノ^{ワウマウ}王莽ガ朕ガ^{オトウトセウシフウ}弟^{イッパン}少子封ト一般ニシテ、^{ツイ}竟ニ^{サンラン}篡乱³⁸⁹ノコトヲ致
 ス」、ト。

余、コレヲ^{ワキマ}辨ヘン。王莽ハ^{カシン}家臣ナリ。厩戸ハ太子ナリ。推古天
 皇、再三王位ヲ^{ワウキ}讓^{ユヅ}レドモ、コレヲ受ケズ。摂政ノ権ヲ柄チテ天下ヲ^モ平治
 ス。特ニ朕ノ字、上古ハ上下^{キセン}貴賤トモニ朕ト^{トナ}稱フルヲヤ。林氏、厩戸、
 佛法ヲ^{コウラク}弘樂スルヲ^{キラ}嫌フ³⁹⁰。コノ一字ヲモツテ厩戸ヲ^{ツミ}罪セント欲ス。

厩戸皇子、始メテ漢字ヲ^{ワクン}和訓シ、文ノ字ノ造化ヲナス。今ニイタ
 リテ、ナンヂラ、ソノ^{オンシ}恩疵ヲ^{カウム}蒙リ、^{ヤウヤク}漸^{ヤウヤク}儒道ヲ知リテ、カヘツテ、
 句々言々コレヲ^{テイシ}詆訾ス。ナンヂ、アニ^{ホウモウ}逢蒙ニアラズヤ。（3：23ウ）
 今、儒士アリ、^{フクギサウケツ}伏羲蒼頡、^{ケジ}卦字ヲ^{セイ}製スルヲモツテ、後世、儒士、ソノ
^{オンクワウ}恩光ヲ^{ヒバウ}蒙リ、儒理ニ通ズ。コレヲ^{ヒバウ}誹謗セバ、可トナスカ、不可トナス

385 See *Honkoku*, note 690. We have inserted the two characters 説法 on the basis of the text in *Bunshū* vol. 2, p. 361b.

386 See *Honkoku*, note 692. We have inserted the character 云 on the basis of the text in *Bunshū* vol. 2, p. 361b, and read it according to the *okurigana* given there.

387 *Bunshū* vol. 2, p. 361b, respectively gives the *okurigana re* and *shite* after 朕 (hence: *ware*) and 示 (hence: *shimeshite*).

388 The word order of the Chinese sentence is incorrect: 皇子 should have been *behind* 謗.

389 The compound *sanran* is not attested, but compare Mor. VIII: 26330-4, -5, -20.

390 The compound *kōraku* is not attested in the dictionaries. We assume that it means something like "to propagate and take pleasure in (Buddhism)." The *kaeriten* given in *Ise Bunko bon* indicate the reading *buppō wo kōraku-suru wo kirau*, which seems to be correct. Evidently, "Mr Hayashi" should be the subject of *kirau*, and "Umayado," of *kōraku-suru*, in which case the order of the characters in the Chinese sentence is wrong. We have emended accordingly.

カ。ナンヂ、^{ウラ}怨ミヲモツテ^{ムク}恩ヲ報ユルモノナリ。

林氏、『隨筆』ニ曰ク、「『^{リクタク}六韜』ハ周ノ文武、^{タイコウバウ}太公望ト^{アヒモンタイ}相問對シテ、モツテ、兵ヲ論ズ。ソノ實ハ、スナハチ、偽作ナリ。タダシ、ソノ内ニ古語一兩句、三四句アリ。間^マソノ書ニアルモノナリ。コレモ^{エラ}マタ擇ブトコロアランカ。モシクハ、^{グンキ}軍器ノ^{タグヒ}屬^セ 391、攻ムルトコロノモノ、守ルトコロノモノ、野ニ戦フモノ、風雨ニ^{ソナ}備フルモノ、^{カイリクセンクワウ}海陸川隍ニ^{ソナ}具フルモノアリ、コレヲ言フコト^{シャウ}詳ナリ。シカレドモ、（3：24才）昔ニ宜シク、今ニ宜カラザルモノニテ、カノ地ニ用キ、コノ地ニ用キルベカラザルモノアリ。スベカラク、ソノ理ヲ知りソノ變ニ通ズベクシテ、可ナリ。柱ニ^ヂ膠^{ニカハ}シ^{シツ}瑟ヲ^コ鼓スベカラズ」、ト。

^ア、[、]嗚呼。林氏ハ何ノ人ゾヤ。宋儒ノ『^{ソモン}素問』ヲ偽作ト云フニ^{ナラ}效ヒテ 392、『^{リクタク}六韜』ヲ偽作ト謂ヒ、『先代旧事本紀』ヲ偽作ト謂フ。タダ、ソノ書ノ中、^{ミヅカラ}自、^{ニク}好マズシテ、^{ニク}悪ムトコロノモノアレバ、^{ワキマ}邪正ヲ辨ヘズ、是非ヲ^{ワカ}分タズ、^{ホシイママ}恣ニ説キテ偽作トナシ、妄説トナス。タダ、コレヲ口ニ談ズルノミニアラズシテ、コレヲ書ニ^{ヒツ}筆シ、モツテ、世ニ^{ノコ}遺シテ、後學ノ^{ギワク}疑惑ヲ^{シャウ}生ズ。罪、コレヨリ^{ダイ}大ナルハナシ。

ソレ『^{リクタク}六韜』ハ、^{タイコウバウ}太公望ノ實書ナリ。スナハチ、ソノ證ヲ出サン。

391 This reading is based on the *okurigana hi* given in *Bunshū* vol. 2, pp. 433b.

392 Again, taken as a Chinese sentence, the word order is wrong. 云 should have been placed in front of 素問, which is the order we find in the two following sentences.

『史記』ニ「張良、少^{チャウリヤウ スクナ}キ^カ393時、下(3:24ウ)邳ノ^ヒ圯上ニオイテ、老人、履^{クツ}ヲ圯下ニ墮スニ^{イカ}遇フ。良ニ謂ヒテ曰ク、『孺子^{ジュシ}、下リテ履ヲ取レ』、ト。良、毆^ウタント欲ス。『後五日シテワレトココニ^ア期ハン。』良、期^キノゴトク往ク。老人、ステニ先ニアリ、怒リテ曰ク、『長者^{チャウジャ}ト期シテ、後ルルコト^{オク}394、何ゾヤ。』後五日ト約シテ往クニ及ベバ、老人マタ先ニアリ。怒リテマタ五日ト約ス。良、半夜^{ハンヤ}ニ往ク。老人、至リテ、スナハチ、喜ブ。授^{サズ}クルニ、一編書ヲモツテシ、曰ク、『コレヲ讀メバ、帝者ノ師トナルベシ。異日、濟北穀城山下ニ見^{イジツ セイホクコクジャウサンカ}ン、^{クワウセキ}黄石ハ、スナハチ、ワレナリ』。且日^{タンジツ}395コレヲ視ルニ、スナハチ、太公望^{ヘイハフ}ノ兵法ナリ。良、コレヲ異^{コト}トス。昼夜^{チウヤ}、習讀シテ、ステニ佐^{タス}ケタリ。」

コレヲモツテコレヲ見レバ、黄石公、張良ニ授^{サツ}クルノ書ハ、太公望^{リクタク}ノ『六韜』ナリ。余、(3:25オ)壯年^{サウネン}ノ時、『七書』^{シチショ}ヲ讀ム。痛嘆^{ツウタン}スルコト、少カラズ。大唐『七書』ノ編者、眼^{ソナ}ヲ具ヘズシテコレヲ編シ、次第^{シダイ}、雜乱^{ザツラン}ス。ユエン、イカントナレバ、『六韜』ハ周ノ世ノ書ナリ。太公望^{ケンジン}ハ賢人ナリ。シカルニ、戰國ノ『孫子』^{ソンシ}、『吳子』^{ゴシ}、最初^{サイショ}ニ安^オキ^オ396、『六韜』ヲ後六ニ置カンヤ。義、安カラザルニ似ルヲモツテ

393 The compound 少時 ("young") is attested; no *okurigana* would have been necessary. If, however, one insists on writing one, *shi* is wrong. The context requires a *rentaikei*, not a *shūshikei*. We have, therefore, emended *-shi* to *-ki*, and read the character as *sukunaki*.

394 The *okurigana no* of our manuscript cannot be accommodated. Ise Bunko *bon* has *koto*, which is no doubt correct. Moreover, as 後 is a verb, in the sense of "to be late," we read *okururu* (-/2).

395 We have emended the character 且 to 且 and added the character 日 on the basis of the text in *Shiji* and *Shibashi lüe*; cf. *Honkoku*, note 704.

396 For the reading of the character 安, see *Honkoku*, note 706.

ナラン。余想フ、『七書』ノ中ニオイテ、兵道ヲ説キテ、聖道ニ合ハスルハ³⁹⁷、コノ書ニ過グルトナスハナシ。

甚クシテ、林氏、コレヲ偽作ト言フヤ。太公望ハ、周ノ世ニ出デ、武王ヲ教ヘテ、桀王ヲ^{ケツワウ}誅^{チュウ}シ、張良ハ、コノ書ヲ讀ミ、漢ノ世ニ出デ、高祖ヲ^{ヲシ}訓ヘ、項羽ヲ^{ホロボ}滅ス。太公、張良、帝者ノ師タリ。孫子、呉子が^{ハイ}輩ハ、（3：25ウ）戰國ニ出デ、漸ク一國ノ師タリ。ソノ^{トクコウ}徳功、日ヲ同クシテ論ズベカラザルナリ。

扶桑護佛神論卷之下終

ジャウトク セイテンキノエウマ ジャウカンビ
正徳四星纏甲午秋八月上浣日

³⁹⁷ The other reading, not allowed by the *kaeriten* in our manuscript, would be 兵道、聖道ニ合フコトヲ説キテ. If we follow the manuscript, 合, being parallel to 説, should be a transitive verb. Hence, the proposed reading *awasuru*.